

春日市障がい福祉に関する アンケート調査結果報告書

令和6年2月

春日市

目 次

第1部	調査の概要.....	1
第2部	調査の結果.....	3
Ⅰ	回答者の基本属性等について.....	3
Ⅱ	外出について.....	17
Ⅲ	日中活動の場について.....	24
Ⅳ	障がい福祉サービスについて.....	35
Ⅴ	災害対策について.....	69
Ⅵ	情報を得ることについて.....	79
Ⅶ	地域での生活について.....	84
Ⅷ	権利擁護について.....	91
Ⅸ	福祉全般について.....	98
X	重症心身障がいの人、医療的ケアが必要な人への質問について..	109

第 1 部
調査の概要

I 調査の目的

障がい者の日常生活の状況や障がい者福祉施策に関する要望等を把握し、「春日市障がい福祉計画及び春日市障がい児福祉計画」見直しの基礎資料とするため。

II 調査の対象

春日市在住の身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の所持者及び障害福祉サービス、障害児通所支援サービスの利用者全員。

III 調査の方法

郵送による配布・回収。

IV 調査の期間

令和5年6月23日から令和5年7月10日まで。
ただし、令和5年7月18日回収分までを集計に含めている。

V 回収結果

配布数：5,493件、有効回収数：2,021件、有効回収率：36.8%

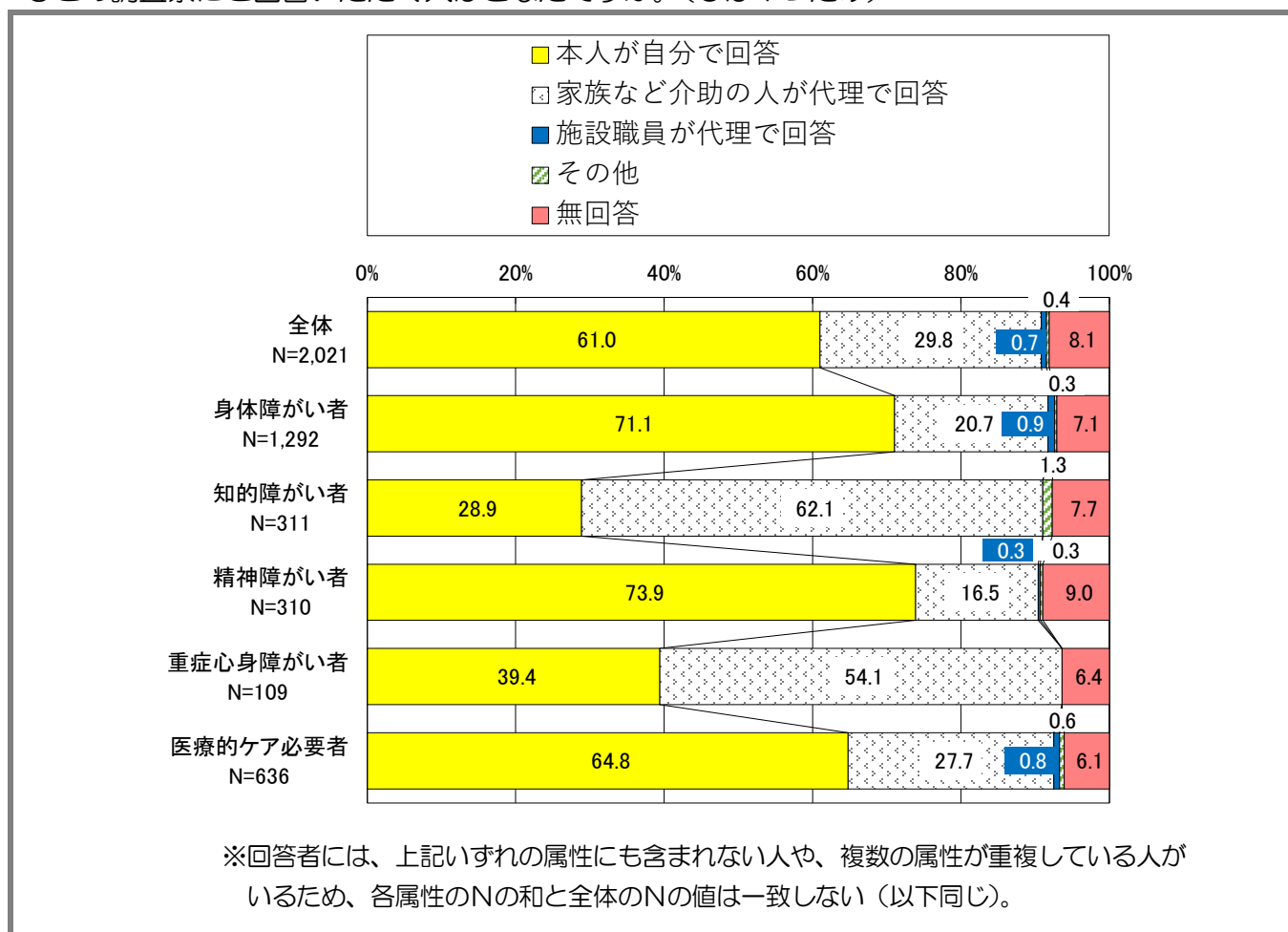
VI 報告書の見方

- (1) 割合については小数点以下第2位を四捨五入しているため、比率が0.05%未満の場合には0.0%と表記している。
また、この四捨五入のため、割合の合計がちょうど100.0とならない場合がある。
- (2) グラフ中の「N」はその項目における回答者を合計した実数値であり、割合算出の基数となる。
- (3) 複数回答を許している項目については、サンプル数を基数として割合算出を行っているため、割合の合計は100%を超えている。
- (4) グラフにおいて、回答選択肢を簡略化して表記している場合がある。
- (5) 調査結果については、障がい種別のクロス集計結果を掲載しているが、便宜上、身体障害者手帳所持者を「身体障がい者」、療育手帳所持者を「知的障がい者」、精神障害者保健福祉手帳所持者を「精神障がい者」と表記している。また、問7で1に○をつけた人を「重症心身障がい者」、2に○をつけた人を「医療的ケア必要者」と表記している。

第 2 部
調査の結果

I 回答者の基本属性等について

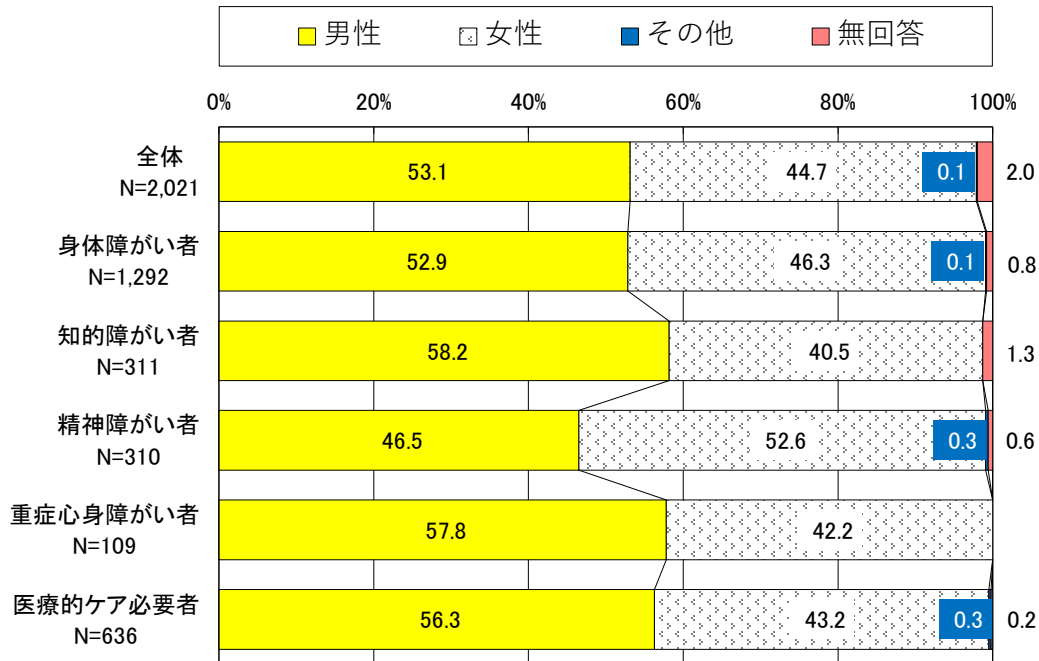
◎この調査票にご回答いただく人はどなたですか。(○は1つだけ)



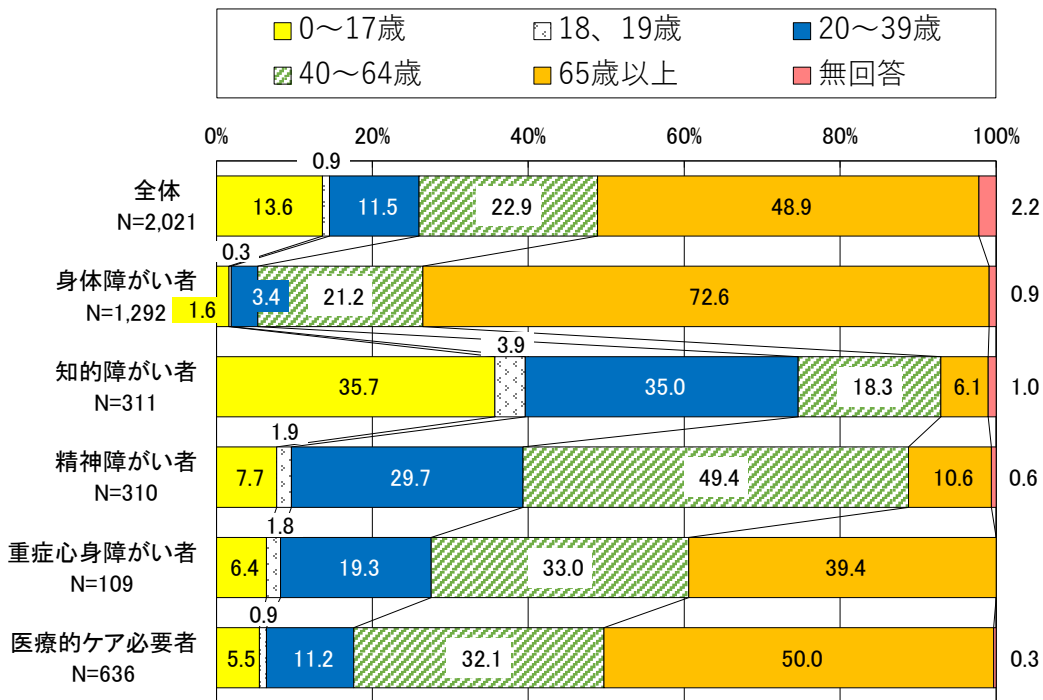
- 全体の 61.0%が「本人が自分で回答」となっているが、知的障がい者や重症心身障がい者については「家族など介助の人が代理で回答」の割合が高くなっている。

問1 あなたの性別と年齢をご記入ください。

【性別】

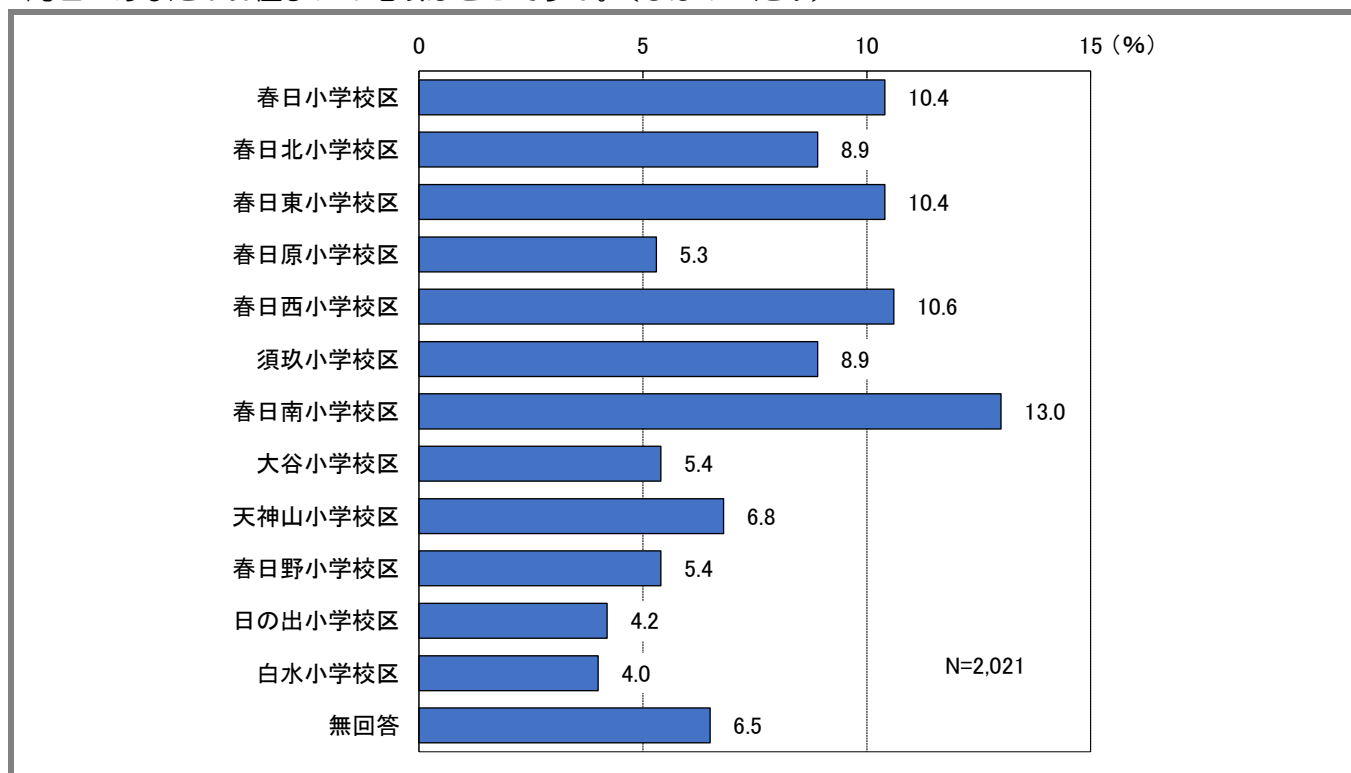


【年齢】



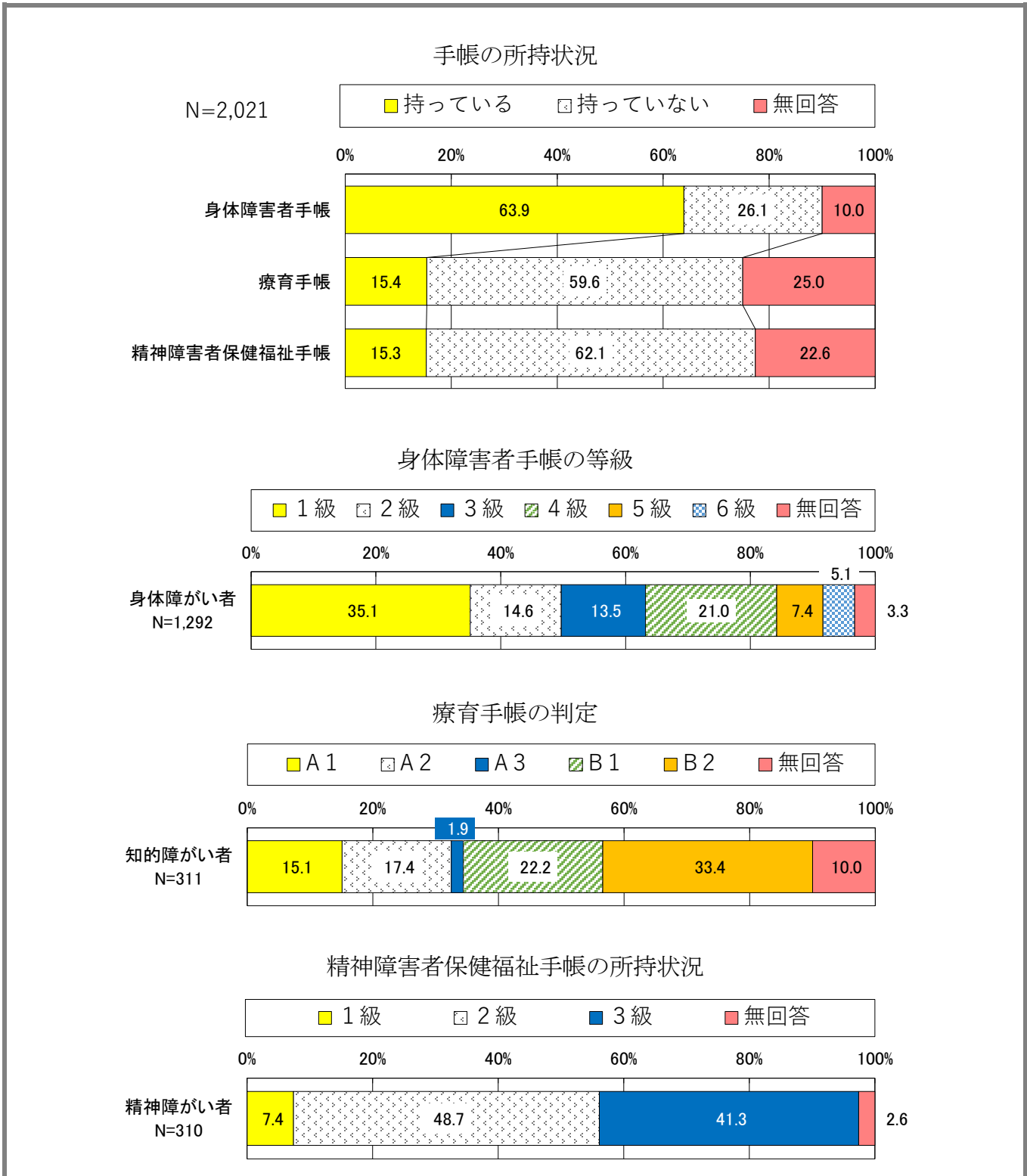
- 調査対象者の性別の分布は上のおりで、全体で見ると、女性より男性の方がやや多くなっている。
- 年齢分布を見ると、全体の48.9%を「65歳以上」が占めているが、これは最も構成割合の高い身体障がい者の72.6%が「65歳以上」であることに起因しており、知的障がい者では「0~17歳」の割合が35.7%と、他の障がい属性に比べ高くなっている。

問2 あなたがお住まいの地域はどこですか。(〇は1つだけ)



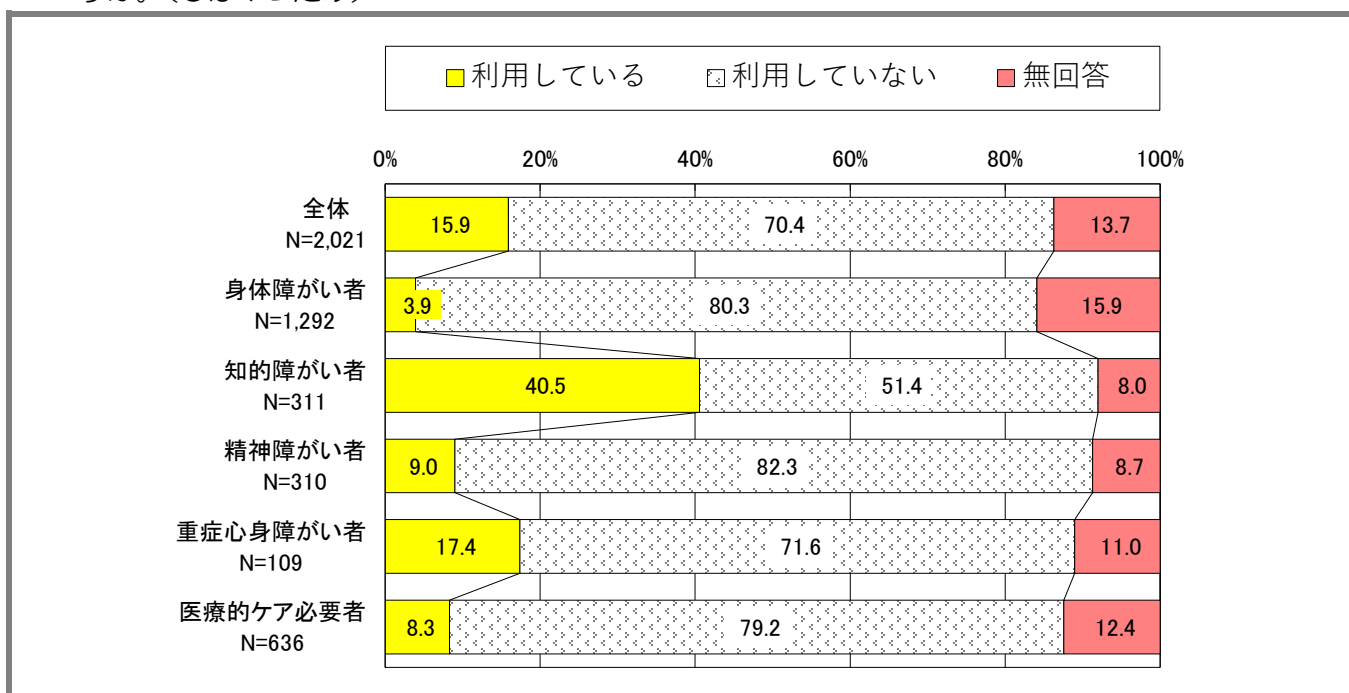
- 調査対象者の居住地の分布は上のおりで、「春日南小学校区」が13.0%と最も高い割合となっている。

問3 あなたは以下の手帳を持っていますか。持っている人はその手帳の等級や程度を選んで○をつけてください。



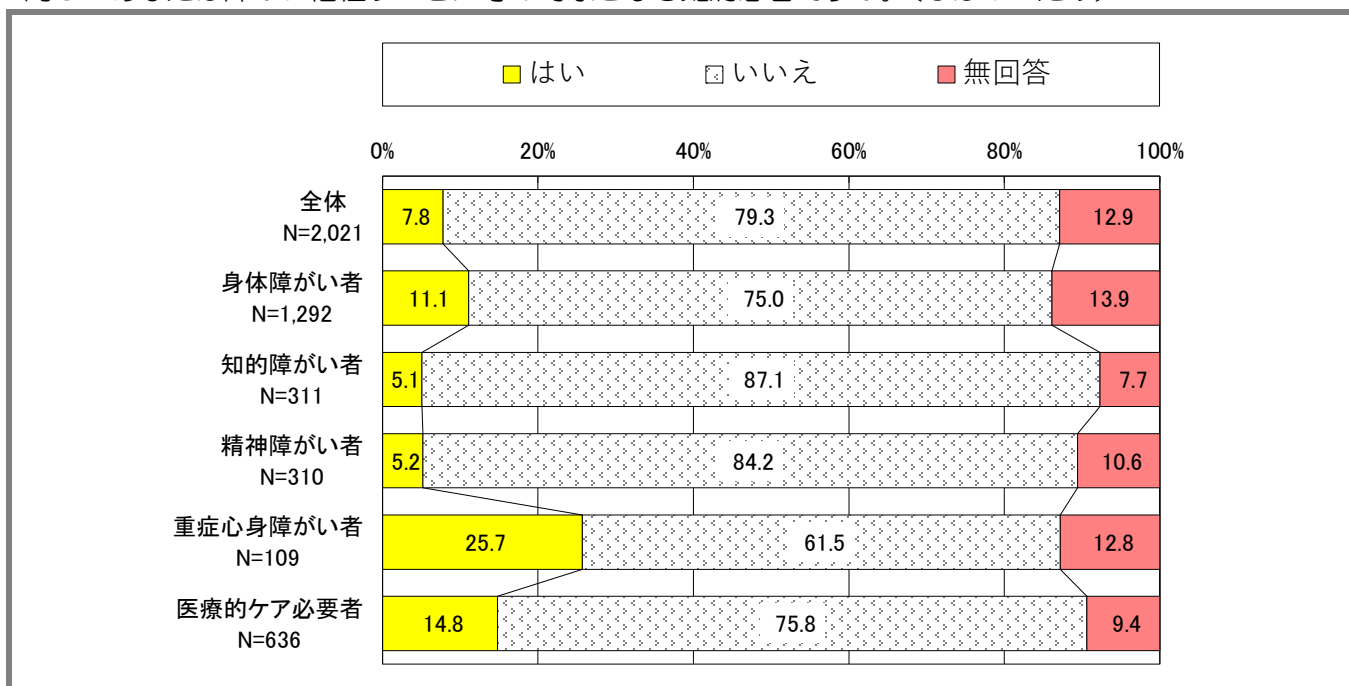
- 身体障害者手帳所持者は全体の 63.9%、療育手帳所持者は全体の 15.4%、精神障害者保健福祉手帳所持者は全体の 15.3%となっている。
- 身体障害者手帳の等級は「1級」(35.1%)、療育手帳の判定は「B2」(33.4%)、精神障害者保健福祉手帳の等級は「2級」(48.7%)がそれぞれ最も多くなっている。

問4 あなたは障害児通所支援サービス（児童発達支援や放課後等デイサービスなど）を利用していますか。（〇は1つだけ）



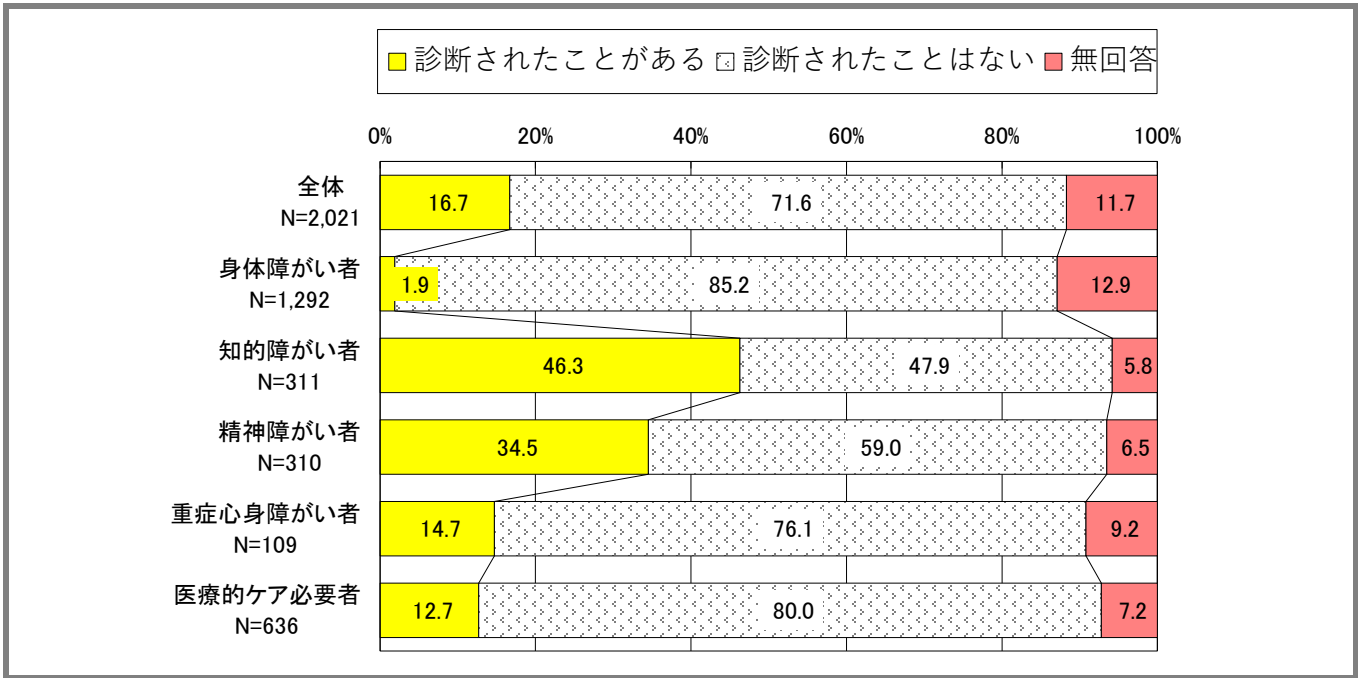
- 障害児通所支援サービス（児童発達支援や放課後等デイサービスなど）を「利用している」と回答した人の割合は全体の15.9%で、障がい属性別に見ると、知的障がい者では40.5%と高い割合となっている。

問5 あなたは障がい福祉サービス等の対象となる難病患者ですか。（〇は1つだけ）



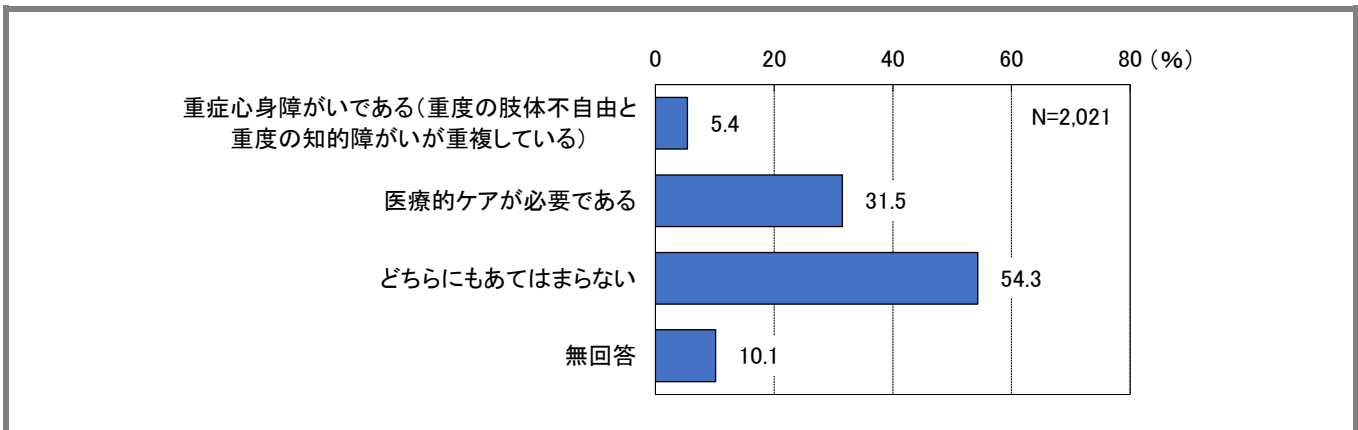
- 障がい福祉サービス等の対象となる難病患者は全体の7.8%となっている。

問6 あなたは、発達障がいとして診断されたことがありますか。(〇は1つだけ)



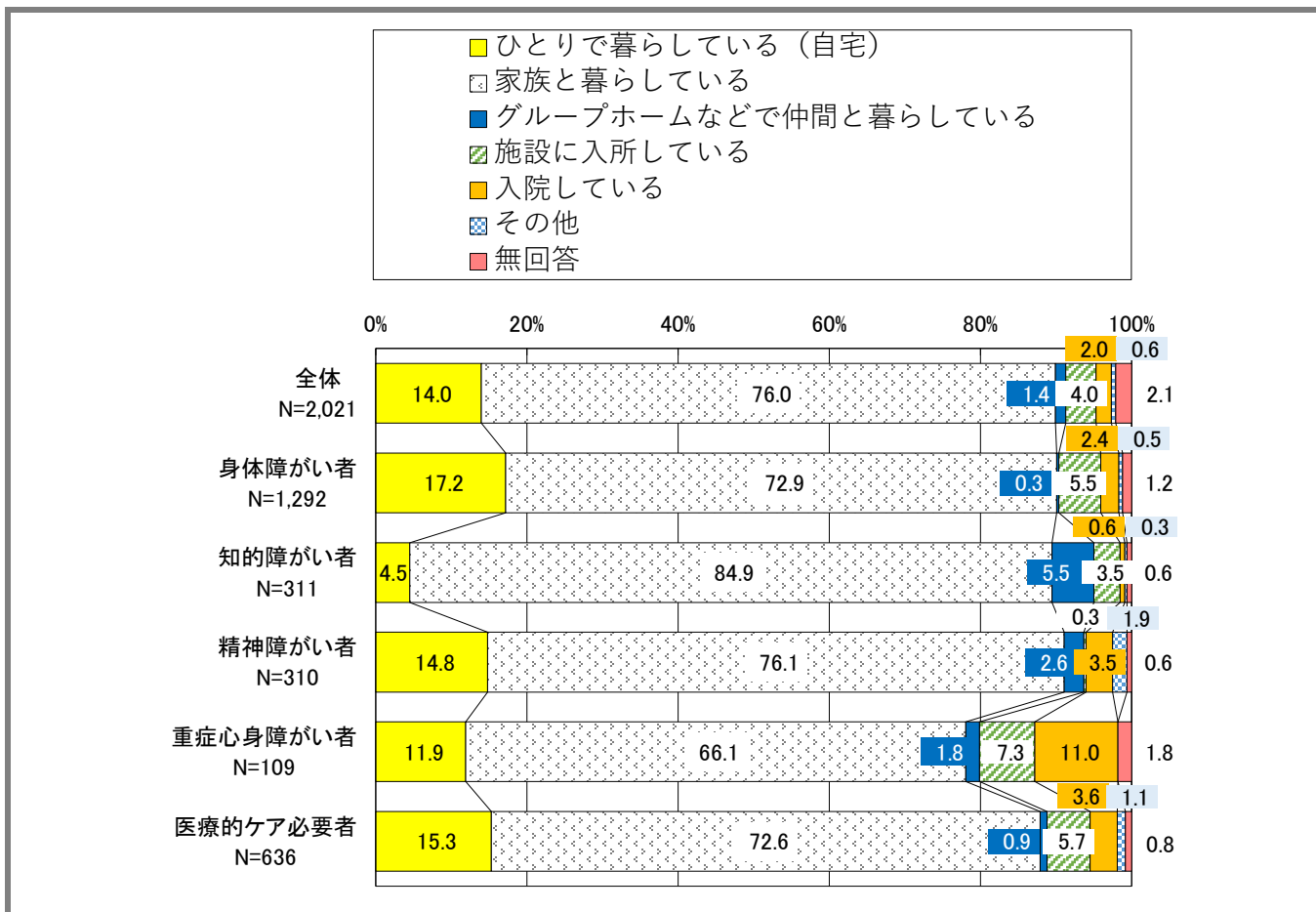
● 発達障がいとして「診断されたことがある」と回答した人は、全体の16.7%となっている。

問7 手帳の所持の有無や等級にかかわらず、あなたの障がいは次のうち、どれにあてはまると感じていますか。(あてはまるものすべてに〇)



● 「重症心身障がいである」と回答した人は全体の5.4%、「医療的ケアが必要である」と回答した人は全体の31.5%となっている。

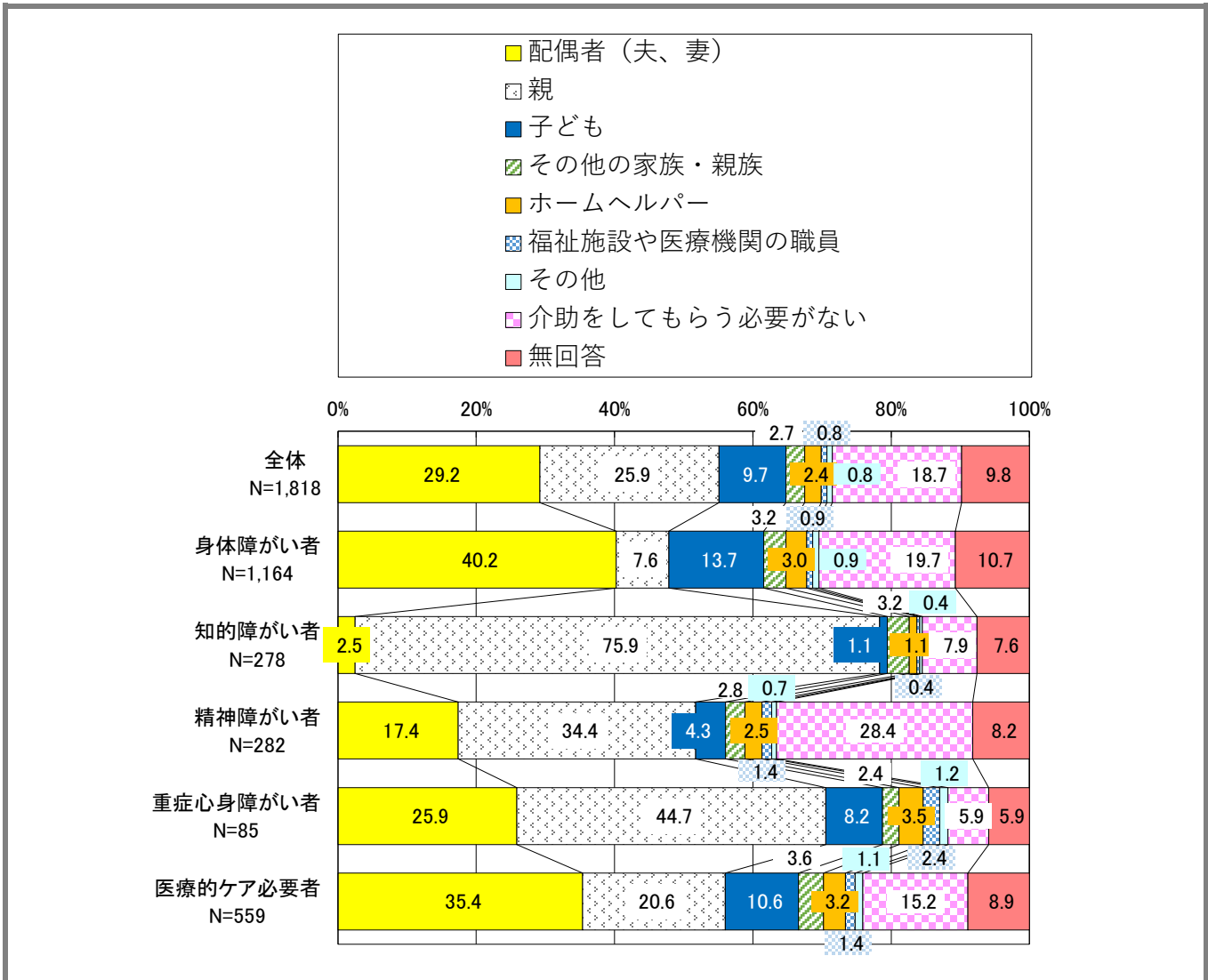
問8 あなたは現在、どのように暮らしていますか。(1つに〇)



● 現在の暮らしについては、「家族と暮らしている」が全体の76.0%と最も多くなっている。

【問8で「1. ひとりで暮らしている（自宅）」または「2. 家族と暮らしている」に○をつけた人のみ
お答えください】

問8-1 主な介助者はだれですか。（1つに○）

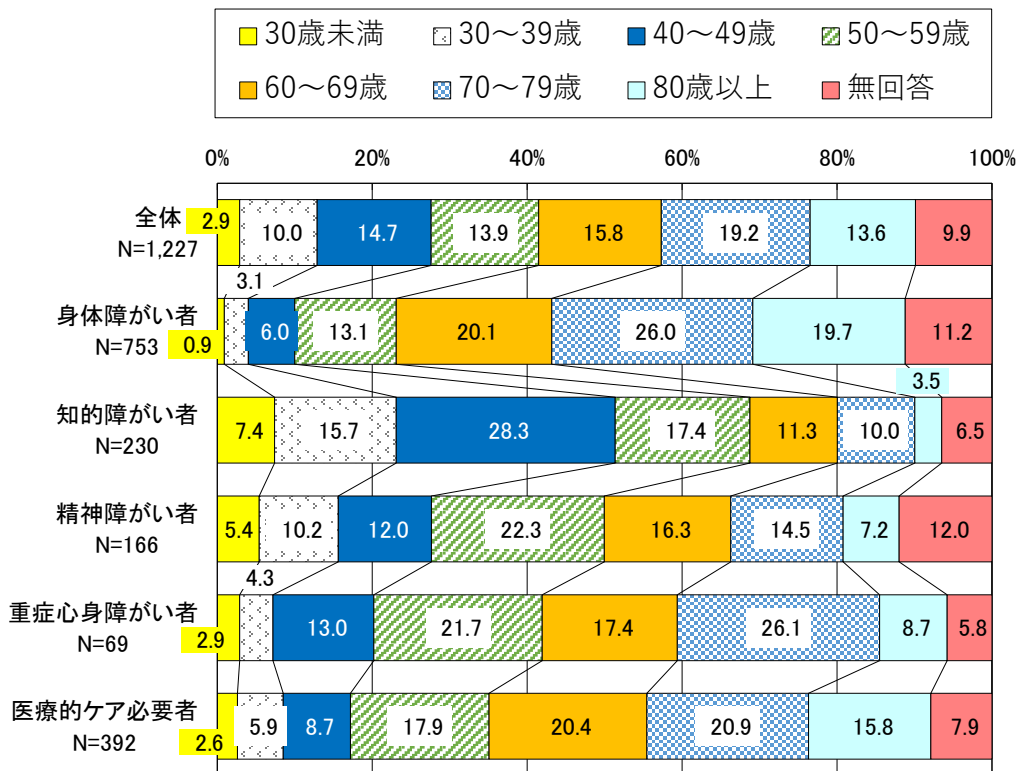


● 問8で「ひとりで暮らしている（自宅）」「家族と暮らしている」と回答した人に主な介助者を尋ねたところ、身体障がい者では「配偶者（夫、妻）」（40.2%）、知的・精神障がい者では「親」（知的：75.9%、精神：34.4%）という回答が多くなっている。

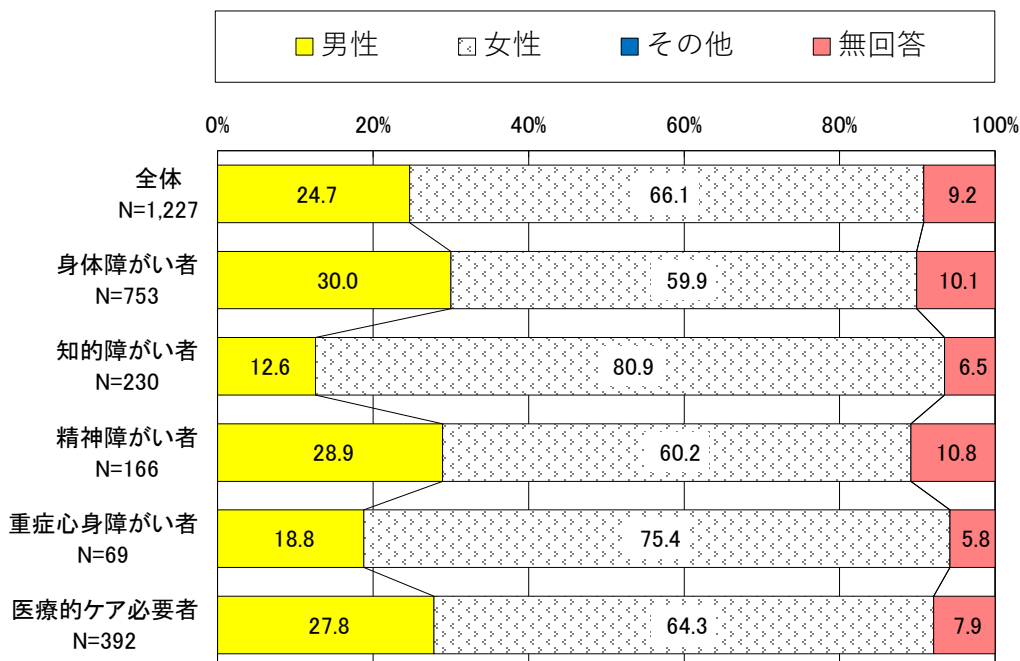
【問8-1で1~4のいずれか（配偶者（夫、妻）、親、子ども、その他の家族・親族）に○をつけた場合は、主な介助者である家族や親族がお答えください】

問8-2 特に中心となって介助をしている家族や親族の年齢、性別、健康状態をお答えください。

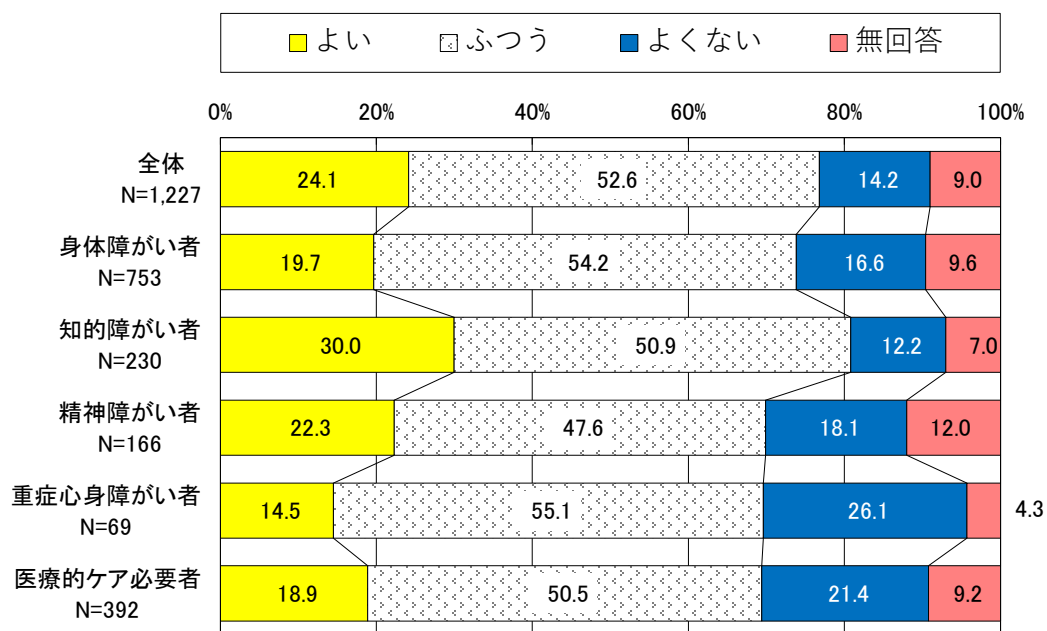
①年齢



②性別

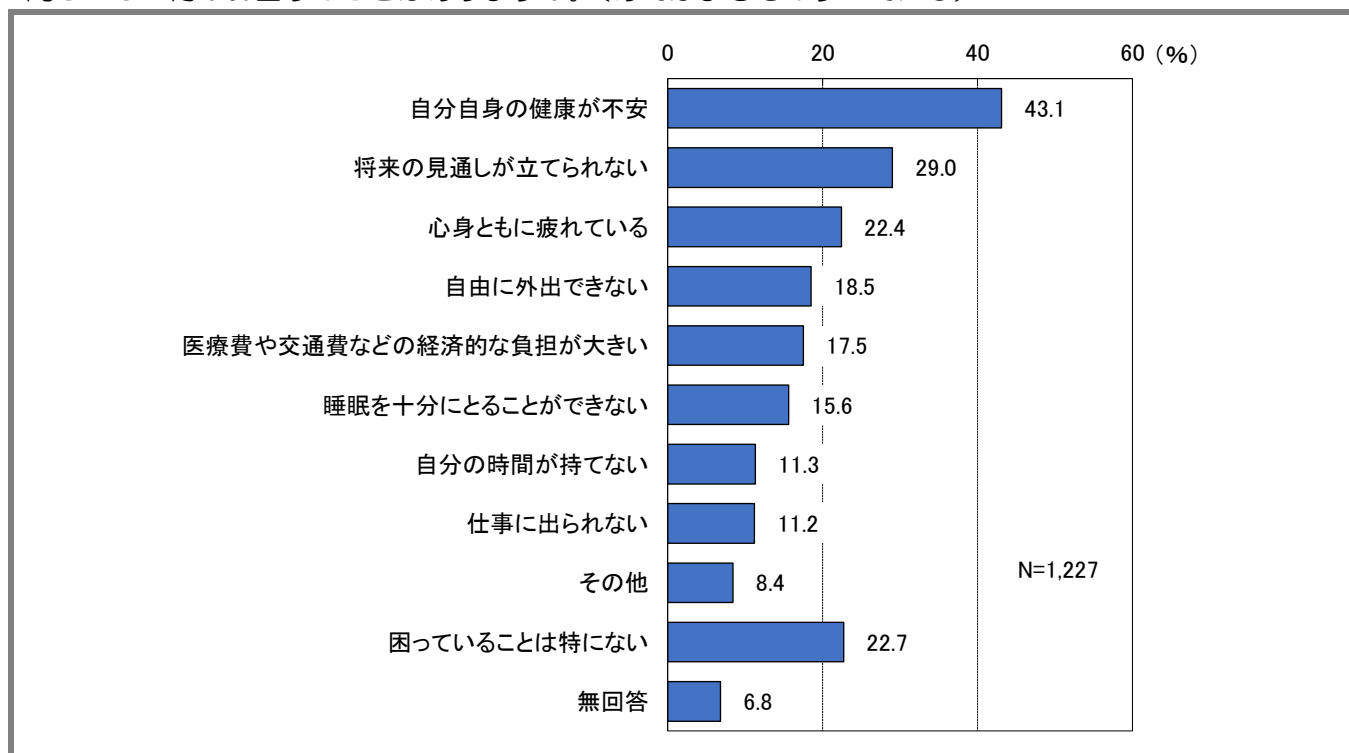


③健康状態（○は1つだけ）



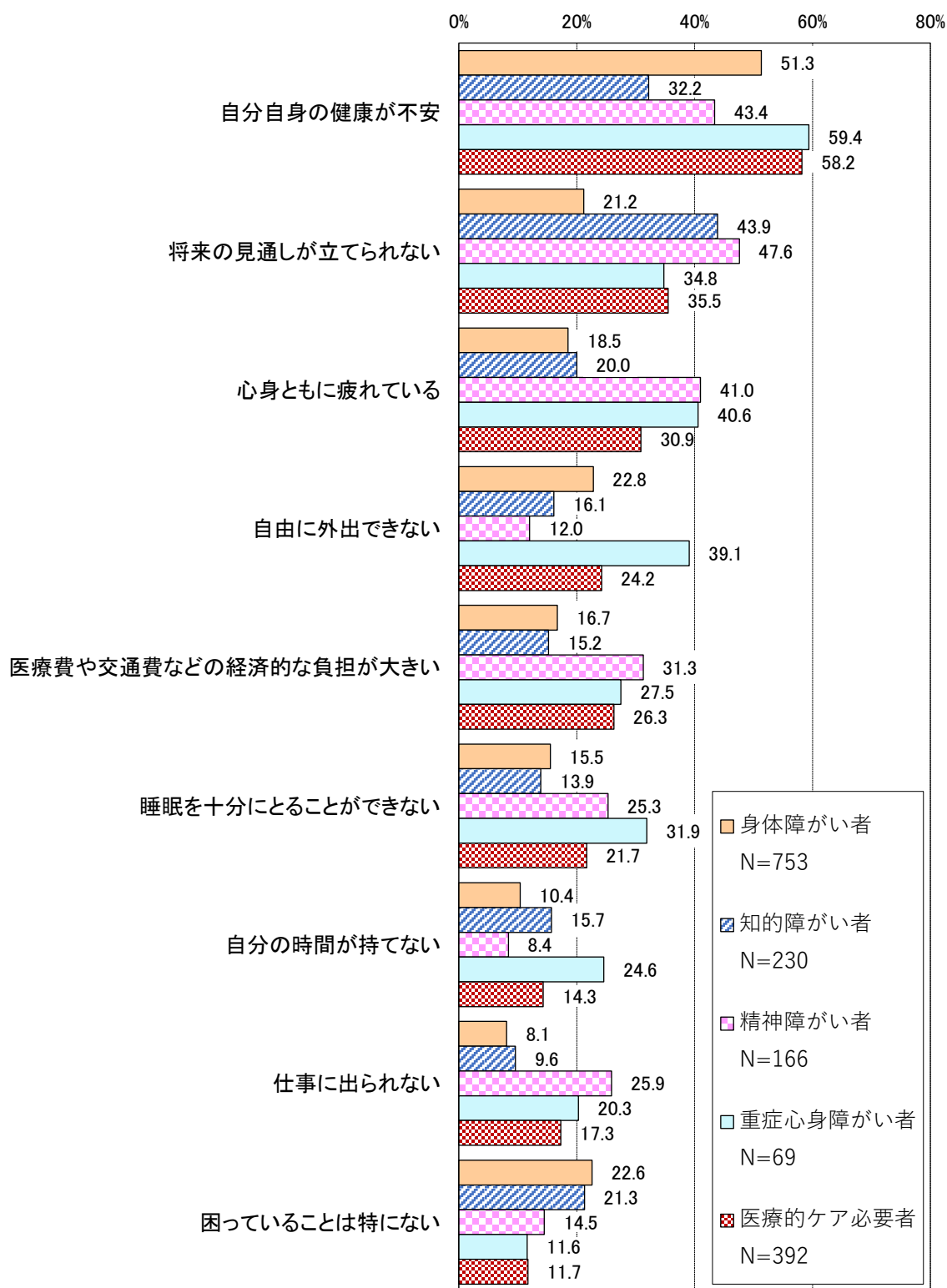
- 問8-1で「配偶者（夫、妻）」「親」「子ども」「その他の家族・親族」と回答した人の介助者の年齢については、60歳以上が全体の48.6%を占め、男性の24.7%に対し女性が66.1%と多くなっている。
- 健康状態について、「よくない」と回答した人は全体の14.2%となっている。

問8-3 何かお困りのことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

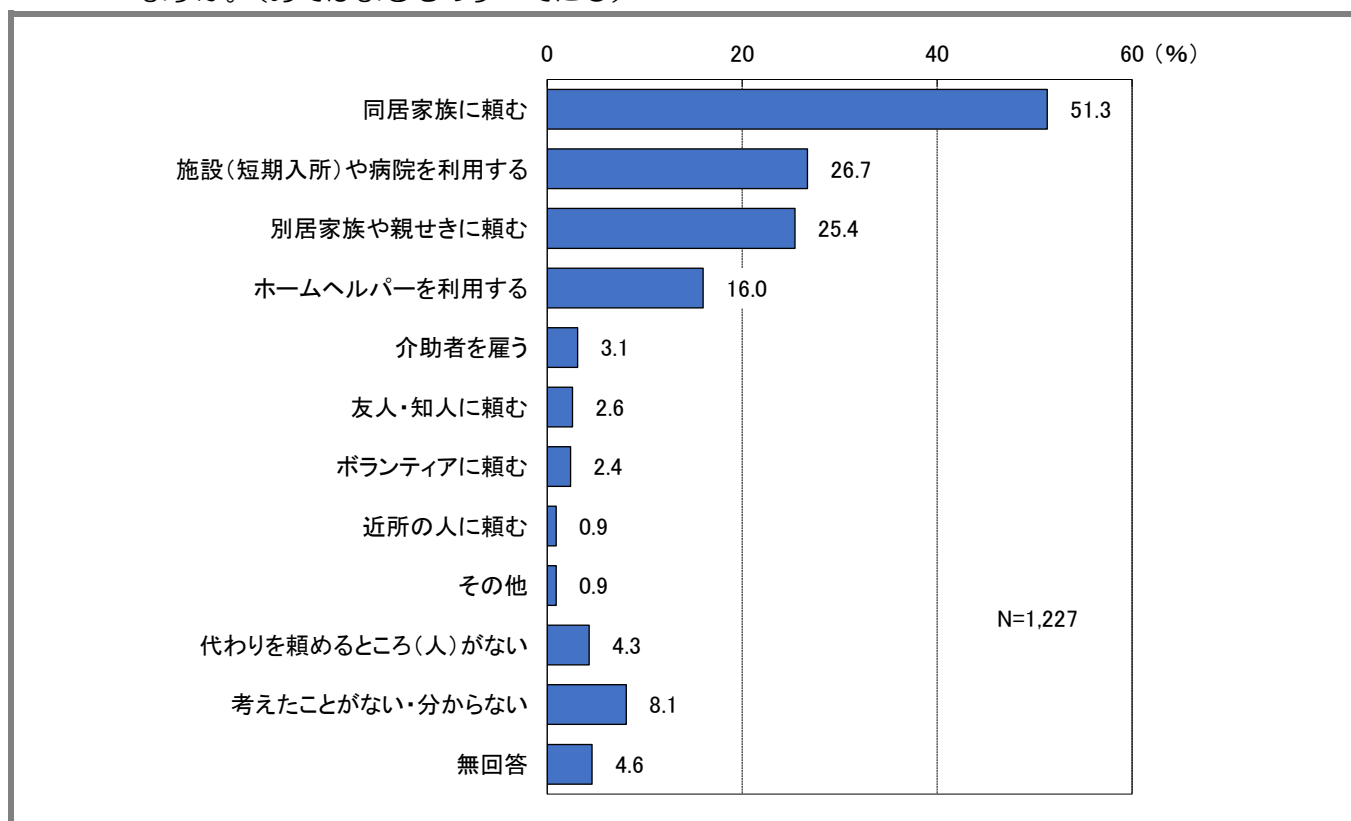


- 主な介助者が困っていることについては、「自分自身の健康が不安」が43.1%と最も多く、以下、「将来の見通しが立てられない」(29.0%)、「心身ともに疲れている」(22.4%)と続いている。
- 本人の障がい属性別に見ると、身体障がい者、重症心身障がい者、医療的ケア必要者では「自分自身の健康が不安」、知的障がい者、精神障がい者では「将来の見通しが立てられない」が最も高い割合となっている(次ページのグラフ参照)。

【属性別クロス集計結果】

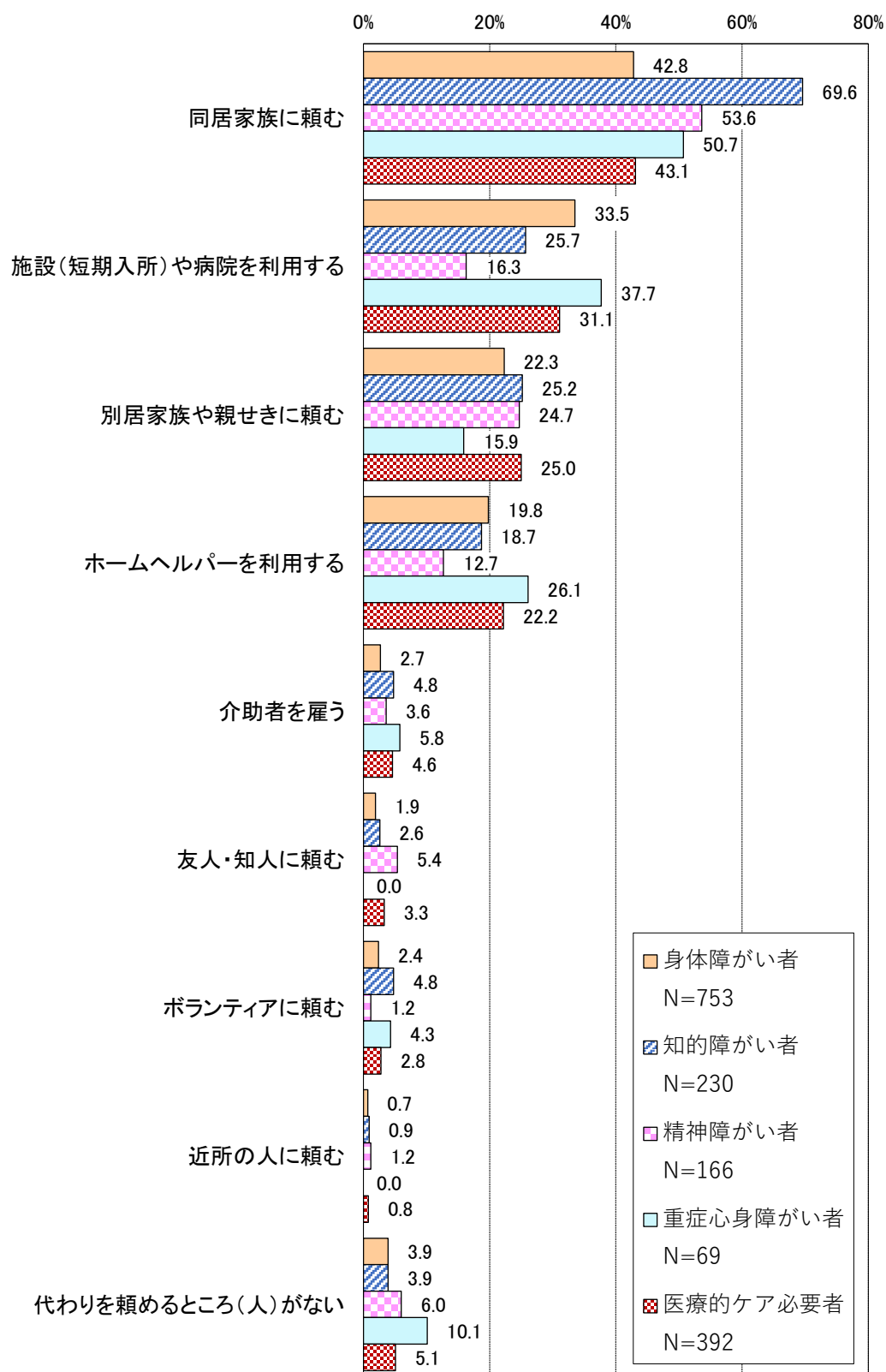


問8-4 あなたが、万一病気や事故等で、一時的に介助をすることができなくなった場合は、どうしますか。(あてはまるものすべてに○)



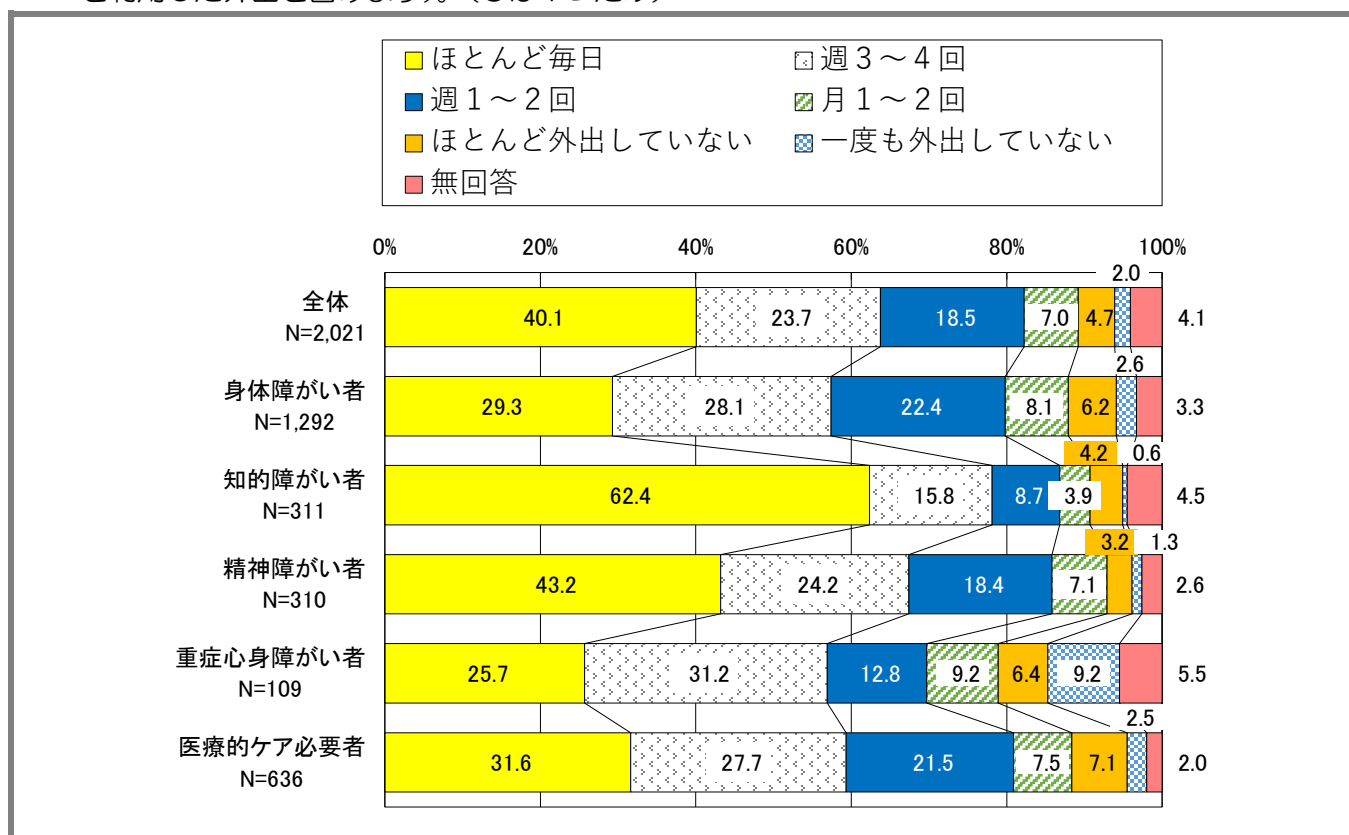
- 介助者が病気や事故等で一時的に介護ができなくなった場合については、「同居家族に頼む」が全体の51.3%と最も多く、次いで「施設(短期入所)や病院を利用する」(26.7%)、「別居家族や親せきに頼む」(25.4%)と続いている。
- 「代わりを頼めるところ(人)がない」と回答した人は全体の4.3%となっている。
- 障がい属性別に見て、「代わりを頼めるところ(人)がない」と回答した人の割合が最も高かったのは「重症心身障がい者」で10.1%となっている(次ページのグラフ参照)。

【属性別クロス集計結果】



Ⅱ 外出について

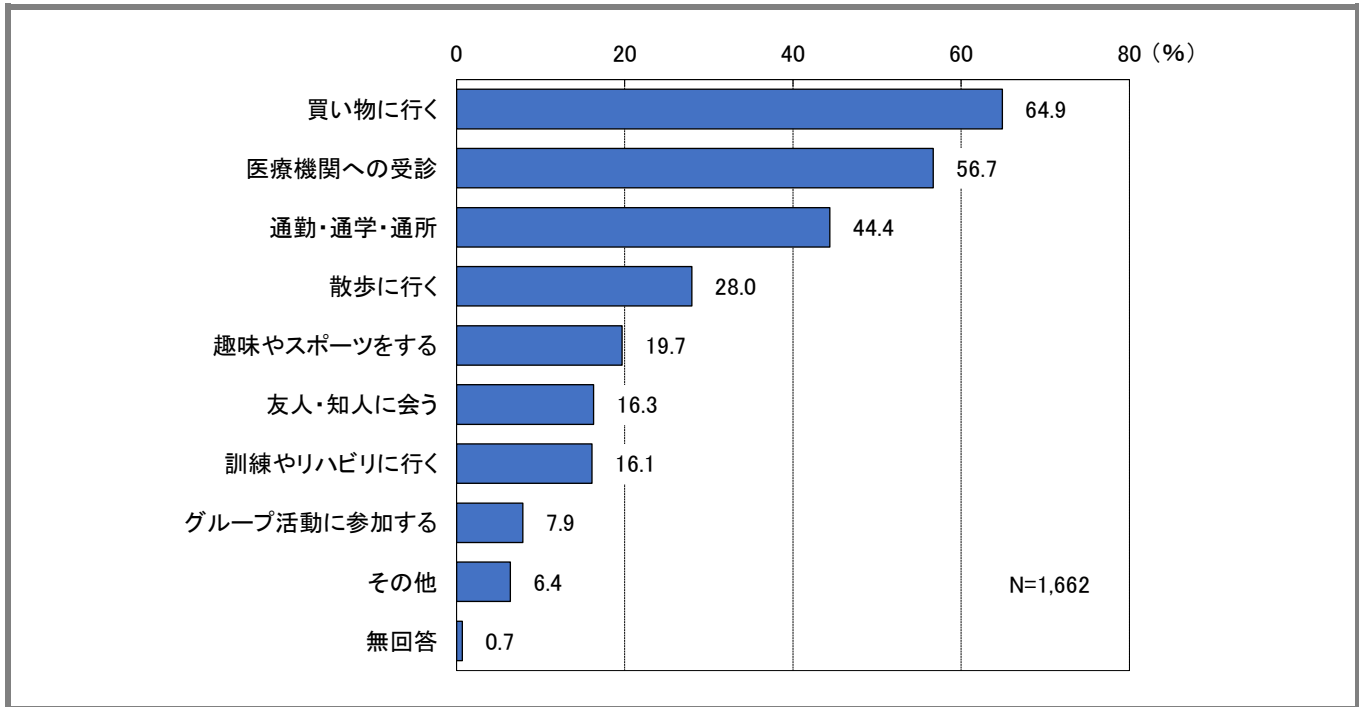
問9 あなたは、この1年間どのくらいの頻度で外出をしましたか（付き添いの人や、移動支援事業等を利用した外出を含みます）。（○は1つだけ）



- 外出の頻度については、全体で見ると「ほとんど毎日」(40.1%)という回答割合が最も高くなっているが、重症心身障がい者については「週3～4回」(31.2%)という回答が最も高い割合となっており、「一度も外出していない」と回答した人も9.2%となっている。

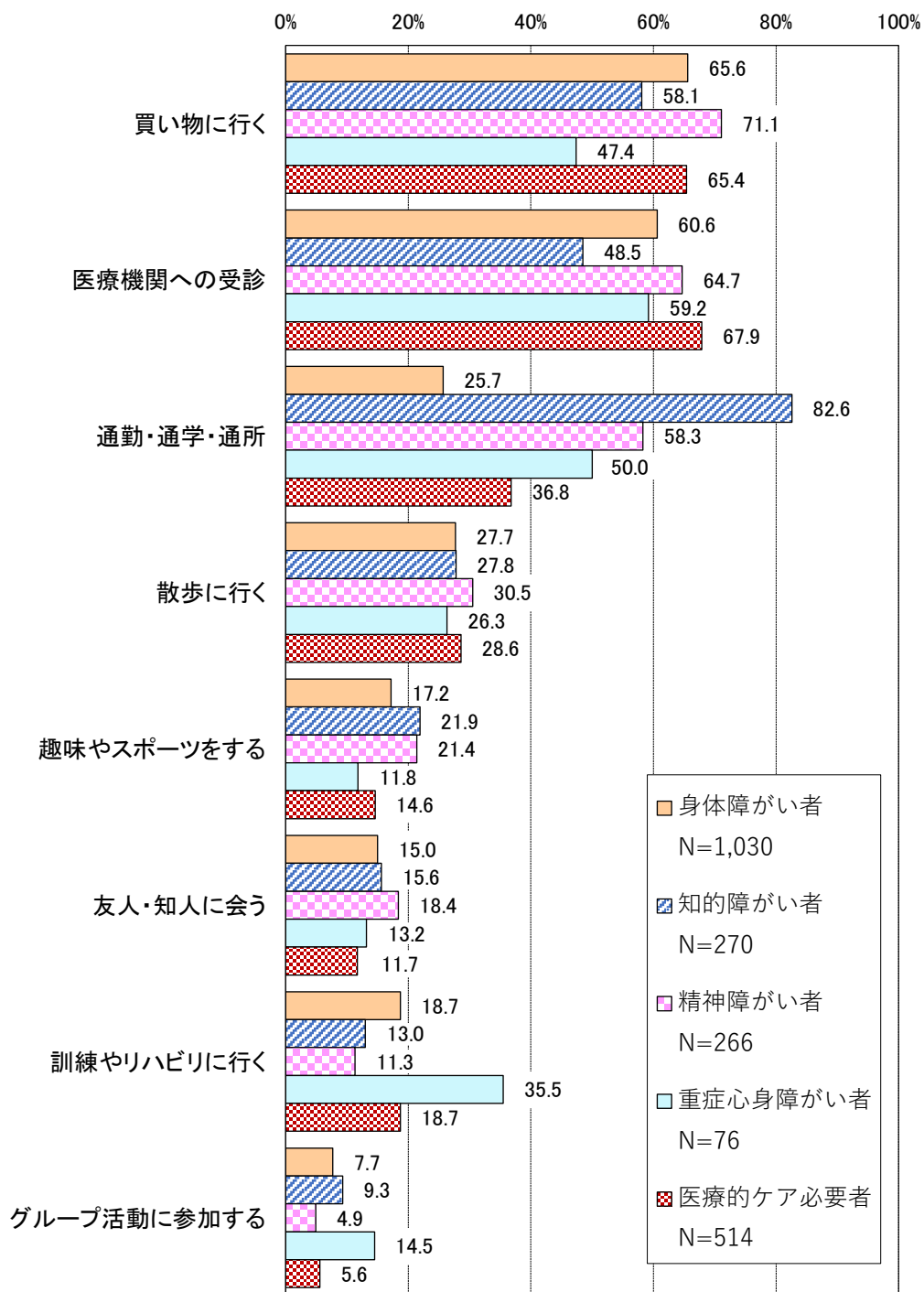
【問9で1～3のいずれか（ほとんど毎日、週3～4回、週1～2回）に○をつけた人のみお答えください】

問9-1 外出の目的は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

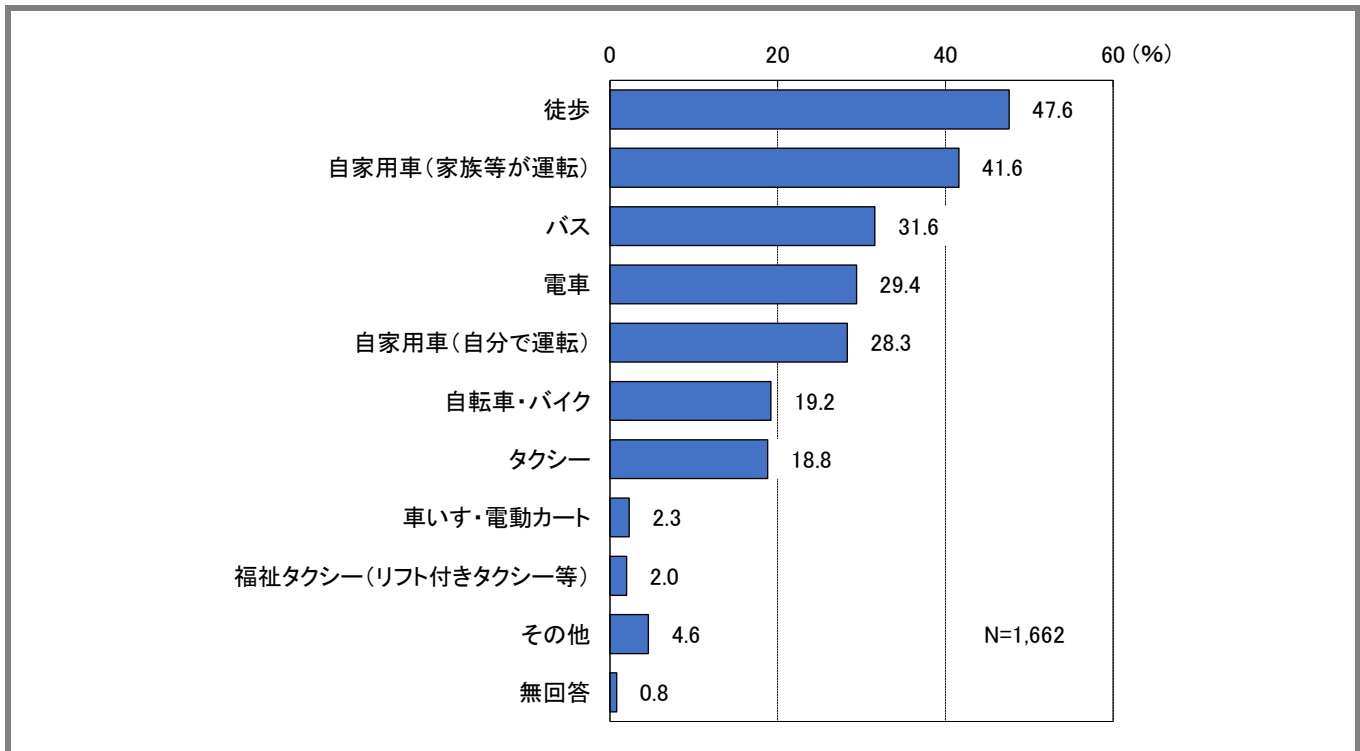


- 問9で外出をしていると回答した人に外出の目的を尋ねたところ、「買い物に行く」が64.9%と最も多く、以下、「医療機関への受診」(56.7%)、「通勤・通学・通所」(44.4%)と続いている。
- 「買い物に行く」と「医療機関への受診」は、いずれの障がい属性でも高い割合となっているが、知的障がい者では「通勤・通学・通所」(82.6%)の割合が最も高くなっている（次ページのグラフ参照）。

【属性別クロス集計結果】

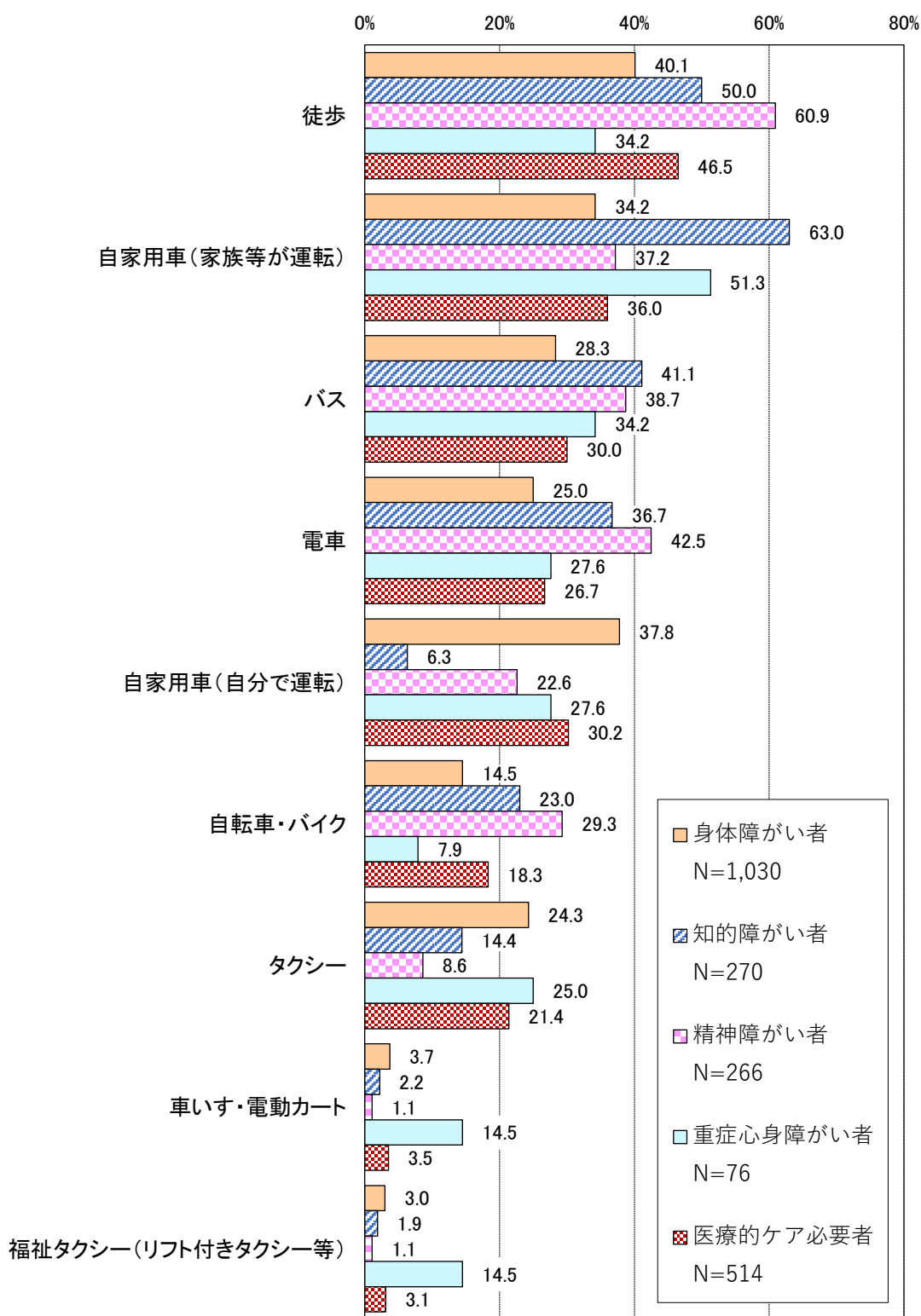


問9-2 外出するときの交通手段は何ですか。(あてはまるものすべてに○)



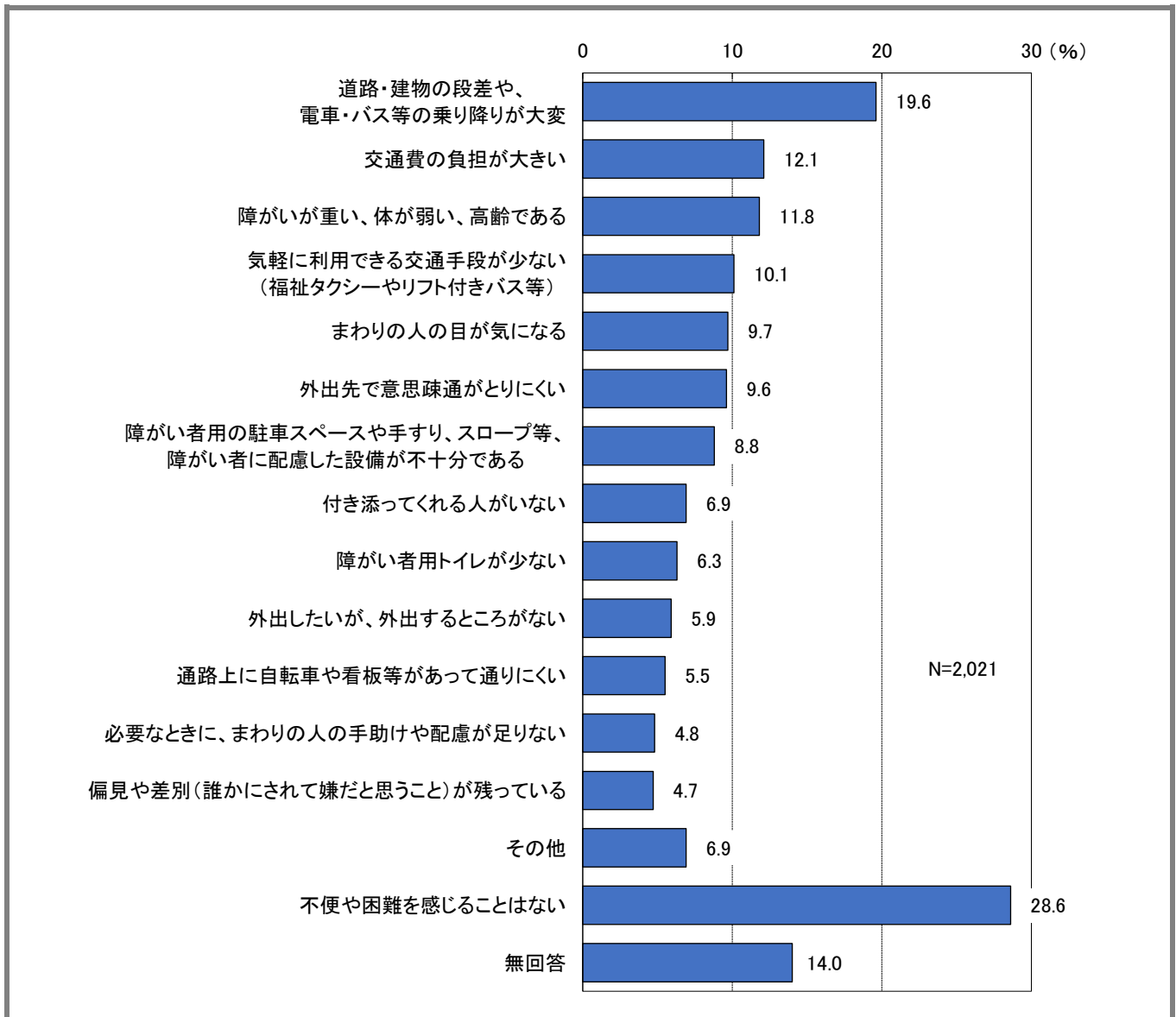
- 問9で外出をしていると回答した人に移動手段を尋ねたところ、「徒歩」が47.6%と最も多く、以下、「自家用車(家族等が運転)」(41.6%)、「バス」(31.6%)、「電車」(29.4%)、「自家用車(自分で運転)」(28.3%)と続いている。
- 障がい属性別に見ると、身体障がい者、精神障がい者、医療的ケア必要者については「徒歩」、知的障がい者と重症心身障がい者では「自家用車(家族等が運転)」が最も高い割合となっている(次ページのグラフ参照)。

【属性別クロス集計結果】



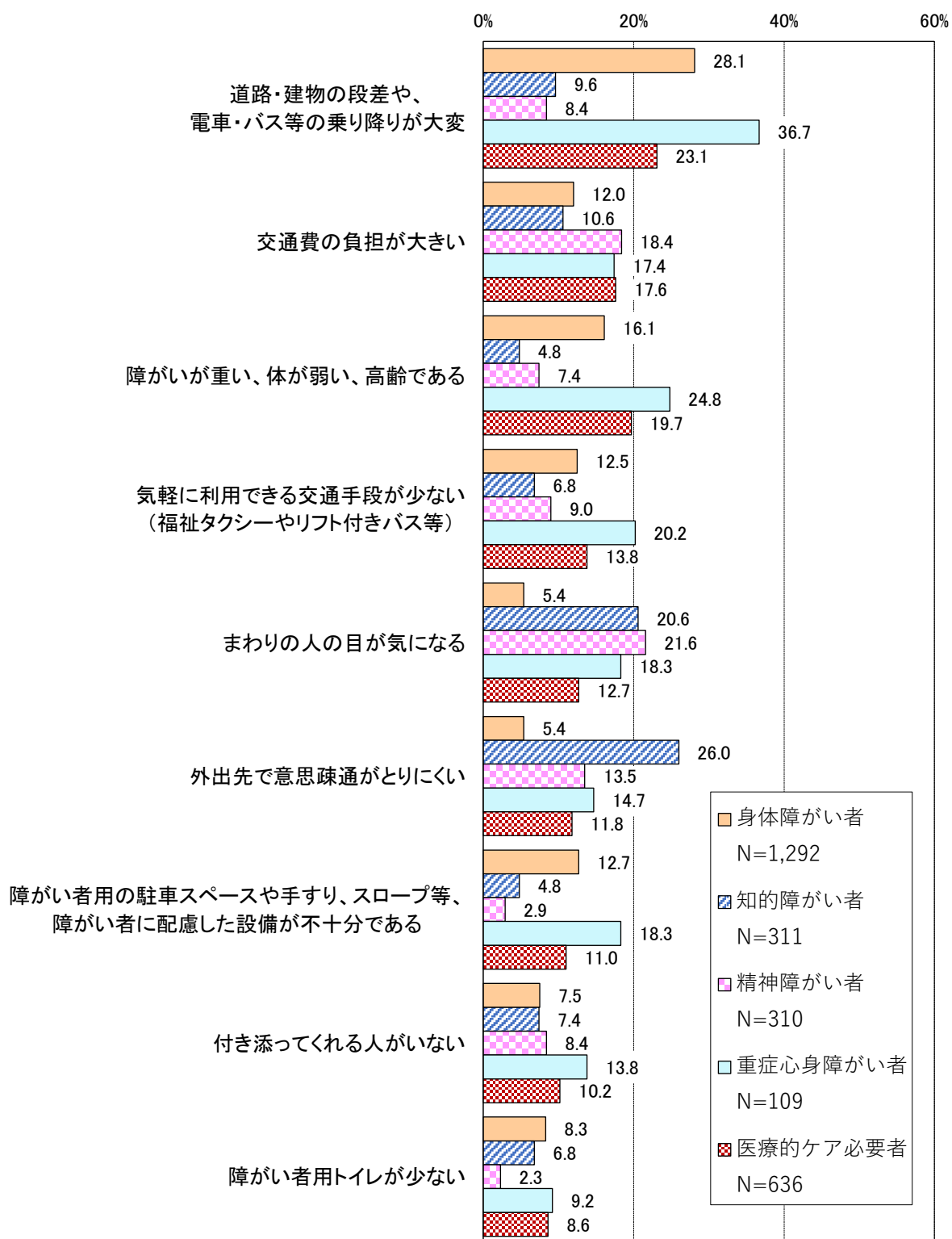
【すべての人におたずねします】

問9-3 あなたは外出に関して、どのようなことに不便や困難を感じることが多いですか。
 (あてはまるものすべてに○)



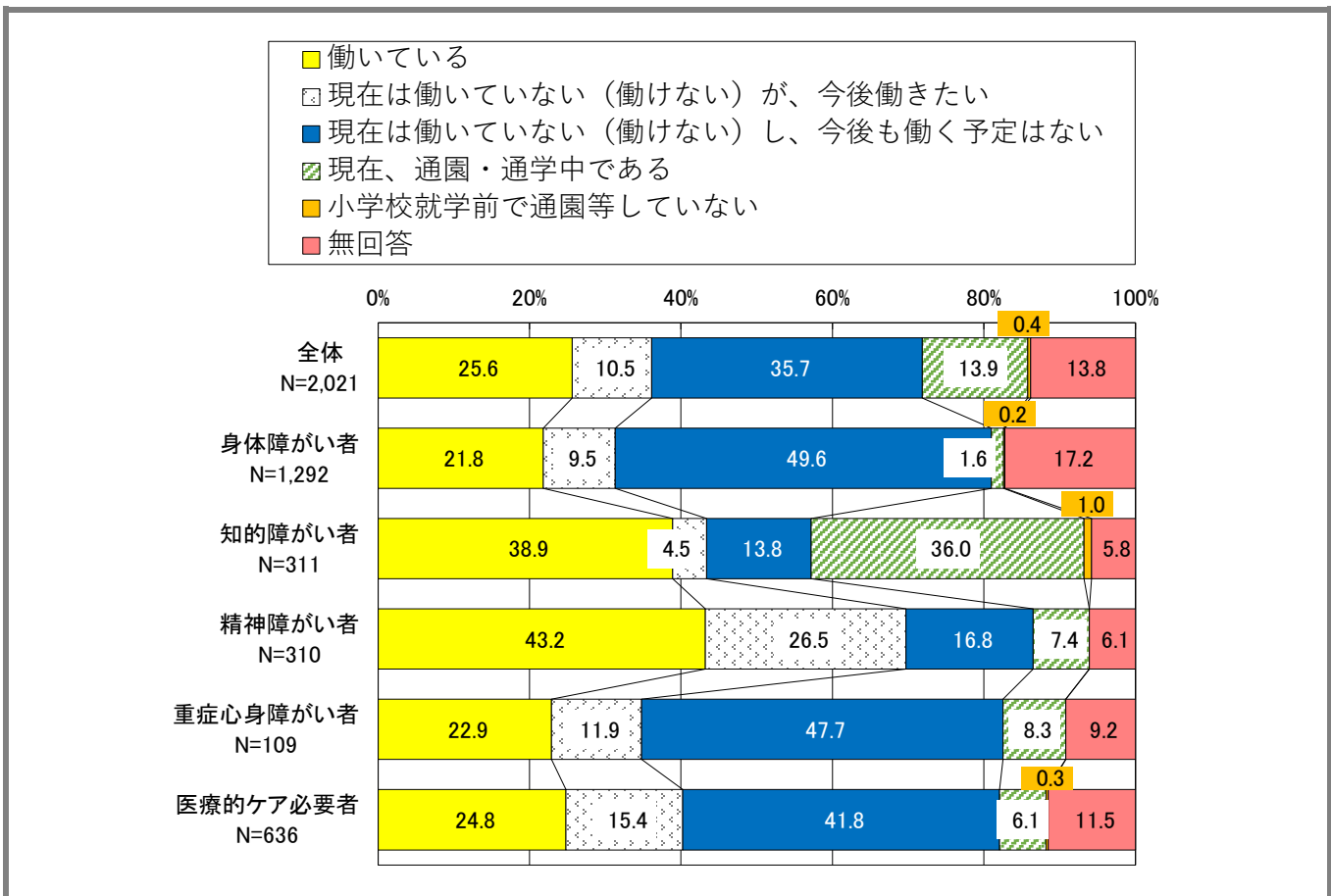
- 外出に関して不便や困難を感じることについては、「道路・建物の段差や、電車・バス等の乗り降りが大変」が全体の19.6%と最も多く、以下、「交通費の負担が大きい」(12.1%)、「障がい重い、体が弱い、高齢である」(11.8%)、「気軽に利用できる交通手段が少ない」(10.1%)、「まわりの人の目が気になる」(9.7%)、「外出先で意思疎通がとりにくい」(9.6%)と続いている。
- 障がい属性別に見ると、身体障がい者、重症心身障がい者及び医療的ケア必要者では「道路・建物の段差や、電車・バス等の乗り降りが大変」、知的障がい者は「外出先で意思疎通がとりにくい」、精神障がい者では「まわりの人の目が気になる」がそれぞれ最も多くなっている(次ページ参照)。

【属性別クロス集計結果】



Ⅲ 日中活動の場について

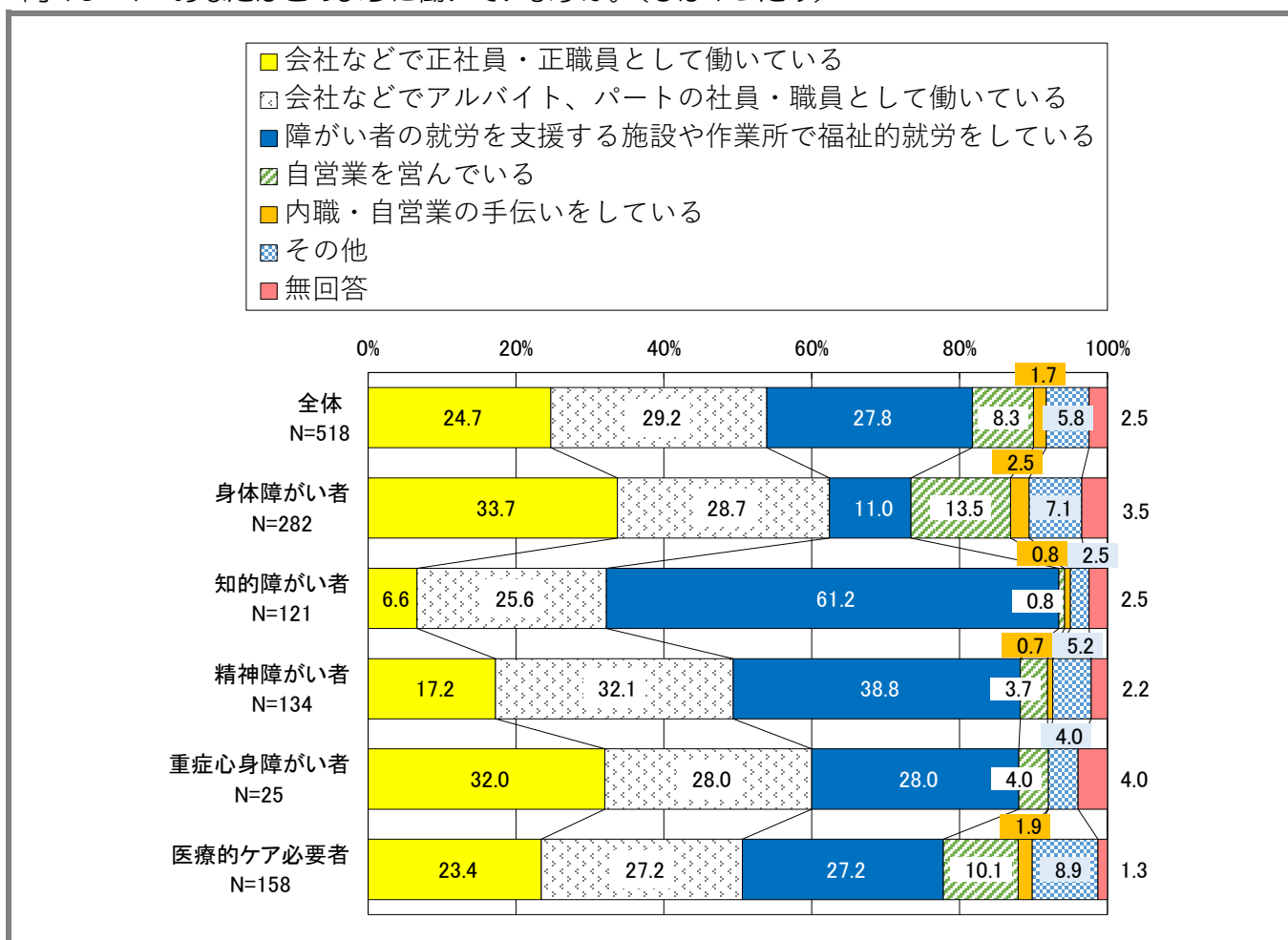
問10 あなたは現在就労・就学中ですか。(1つに○)



- 現在「働いている」と回答した人は全体の25.6%で、「現在は働いていない（働けない）が、今後働きたい」と回答した人は10.5%となっている。
- 障がい属性別に見て、「現在は働いていない（働けない）が、今後働きたい」と回答した人の割合が最も高かったのは精神障がい者で、26.5%となっている。
- 「現在、通園・通学中である」と回答した人は全体の13.9%で、障がい属性別に見ると、知的障がい者では36.0%と最も高い割合となっている。

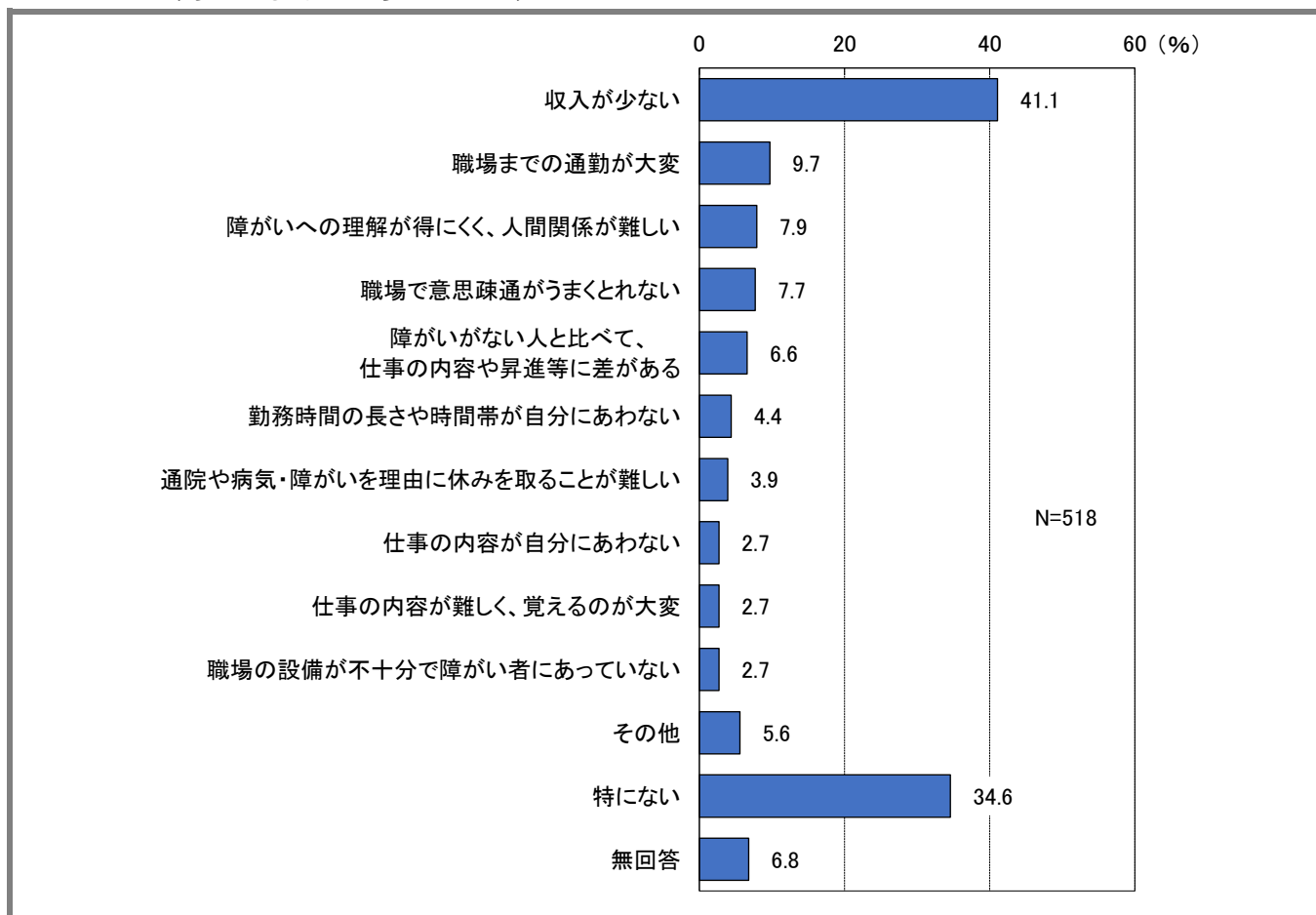
【問10-1・2は、問10で「1. 働いている」に○をつけた人のみお答えください】

問10-1 あなたはどのように働いていますか。(○は1つだけ)



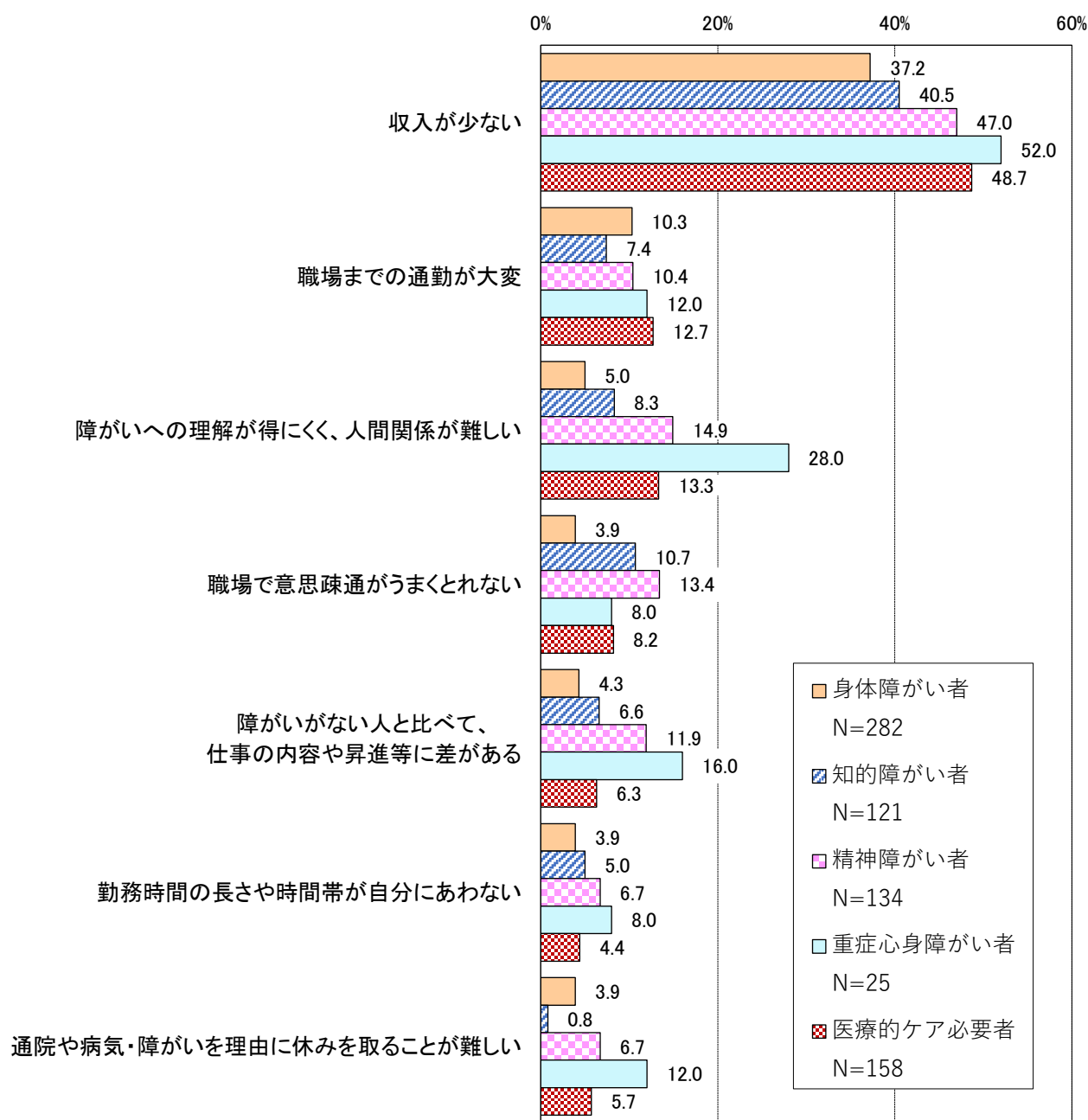
- 問10で「働いている」と回答した人にその就業形態を尋ねたところ、身体障がい者では「会社などで正社員・正職員として働いている」が33.7%と最も多くなっているが、知的・精神障がい者では「障がい者の就労を支援する施設や作業所で福祉的就労をしている」がともに最も高い割合（知的：61.2%、精神：38.8%）となっている。

問 10-2 仕事のことで悩んでいることや困っていることがありますか。
 (あてはまるものすべてに○)



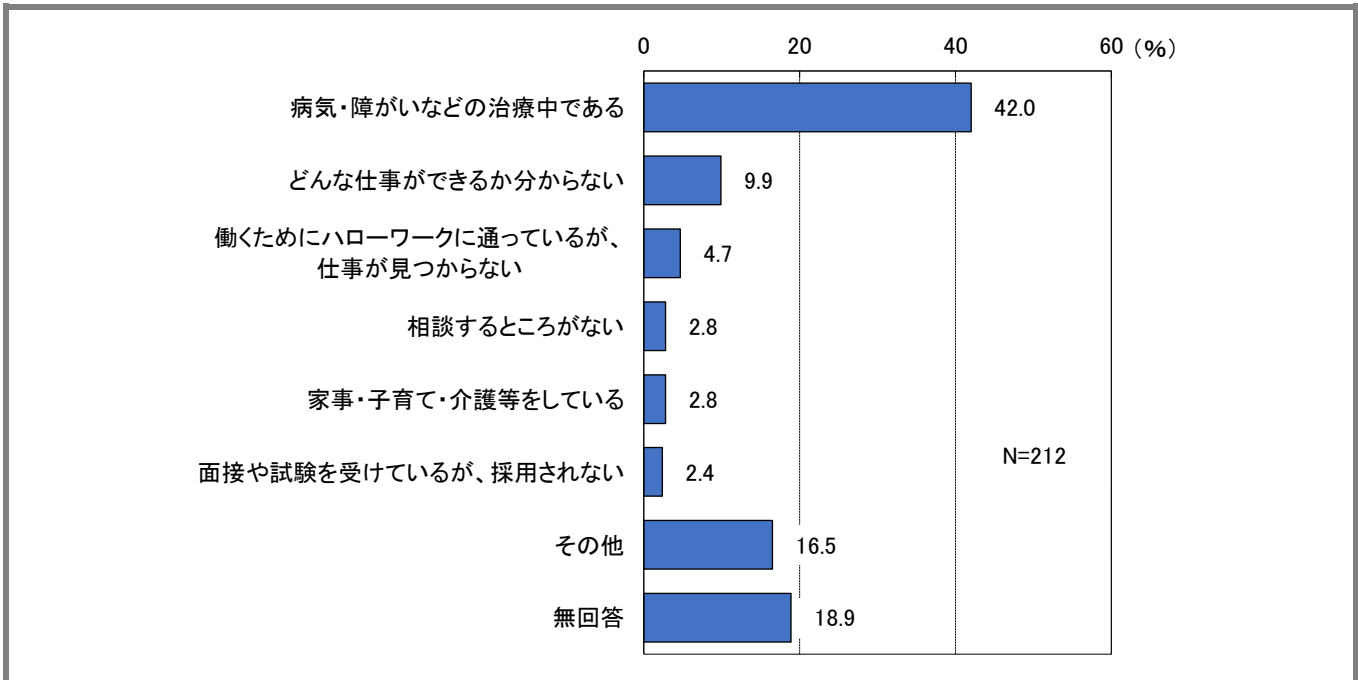
- 問 10 で「働いている」と回答した人に、仕事のことで悩んでいることや困っていることがあるか尋ねたところ、全体の 58.6%は何らかの悩みや困っていることを回答しており、いずれの障がい属性においても「収入が少ない」という回答が最も高い割合となっている（次ページのグラフ参照）。

【属性別クロス集計結果】



【問10で「2. 現在は働いていない（働けない）が、今後働きたい」に○をつけた人のみお答えください】

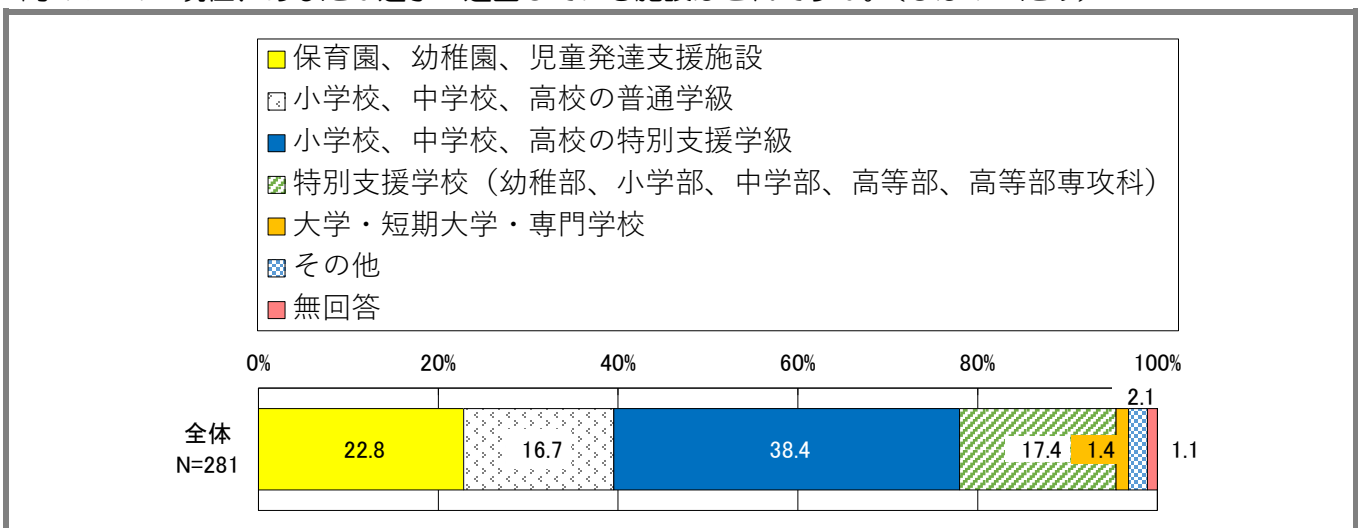
問10-3 現在、あなたが働いていない理由は何ですか。（○は1つだけ）



● 問10で「現在は働いていない（働けない）が、今後働きたい」と回答した人に、働いていない理由を尋ねたところ、42.0%の人は「病気・障がいなどの治療中である」と回答しており、それ以外の理由としては「どんな仕事ができるか分からない」（9.9%）という回答が最も多くなっている。

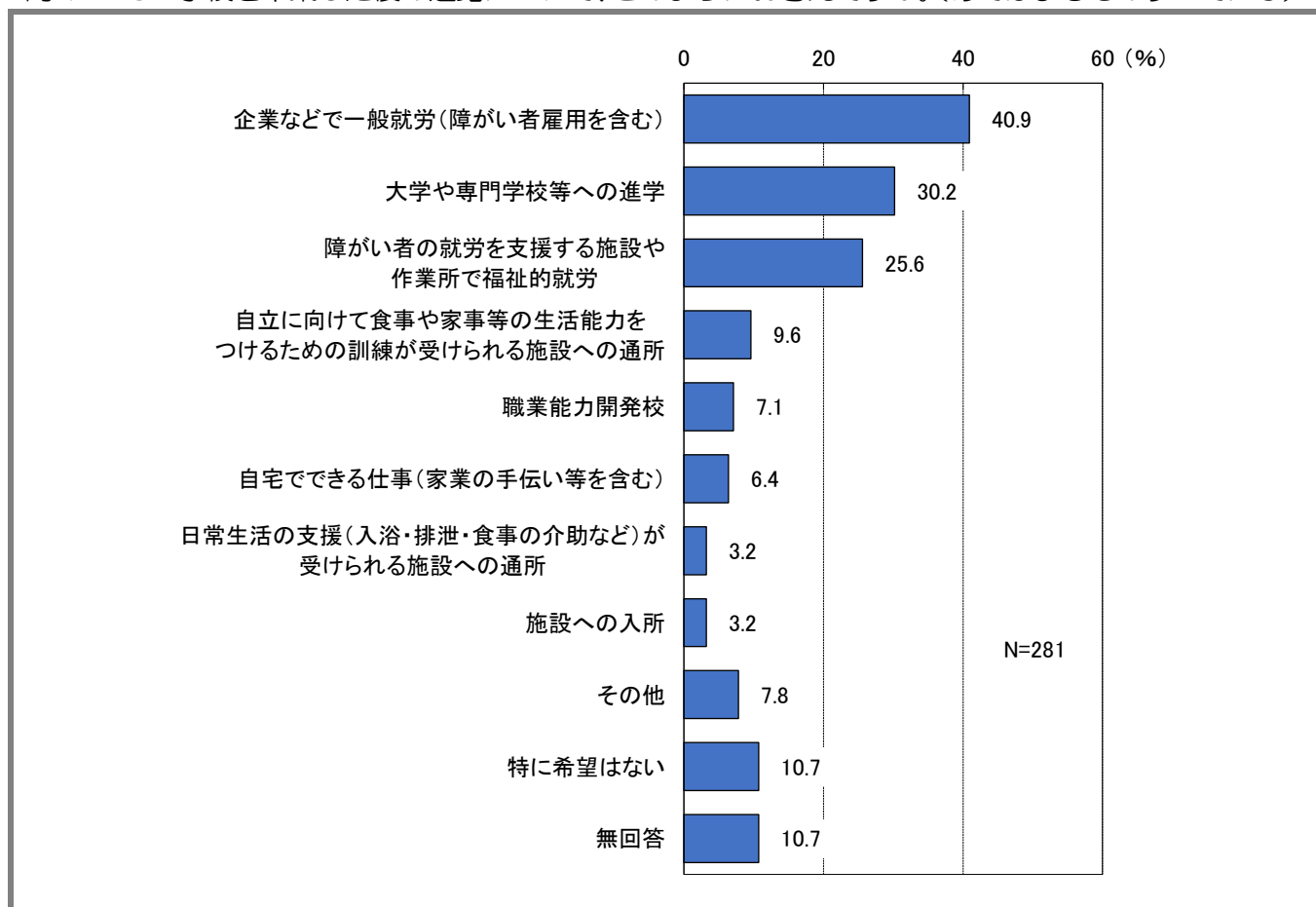
【問10-4・5は、問10で「4. 現在、通園・通学中である」に○をつけた人のみお答えください】

問10-4 現在、あなたが通学・通園している施設はどれですか。（○は1つだけ）



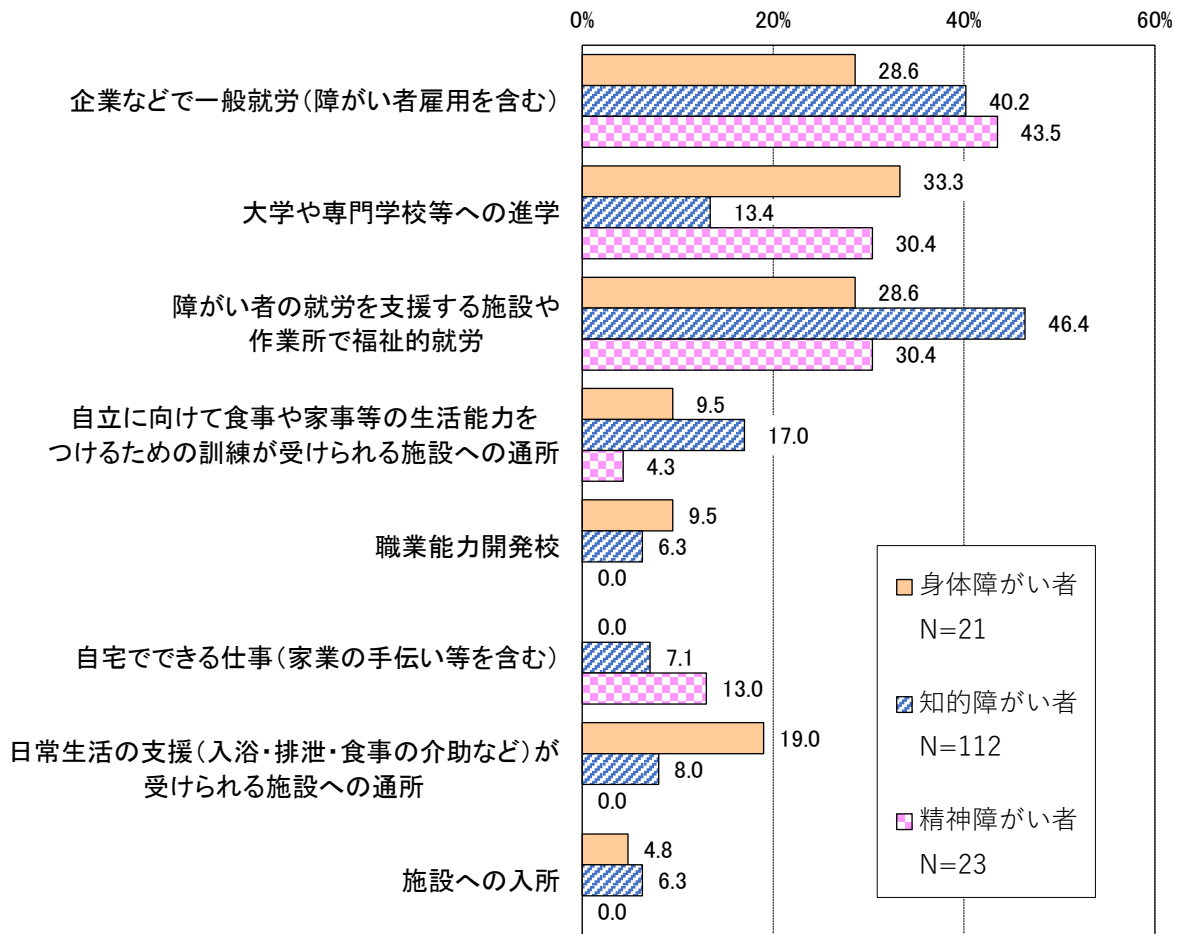
● 問10で「現在、通園・通学中である」と回答した人にその施設を尋ねたところ、「小学校、中学校、高校の特別支援学級」が38.4%と最も多く、「保育園、幼稚園、児童発達支援施設」が22.8%でそれに続いている。

問 10-5 学校を卒業した後の進路について、どのようにお考えですか。(あてはまるものすべてに○)



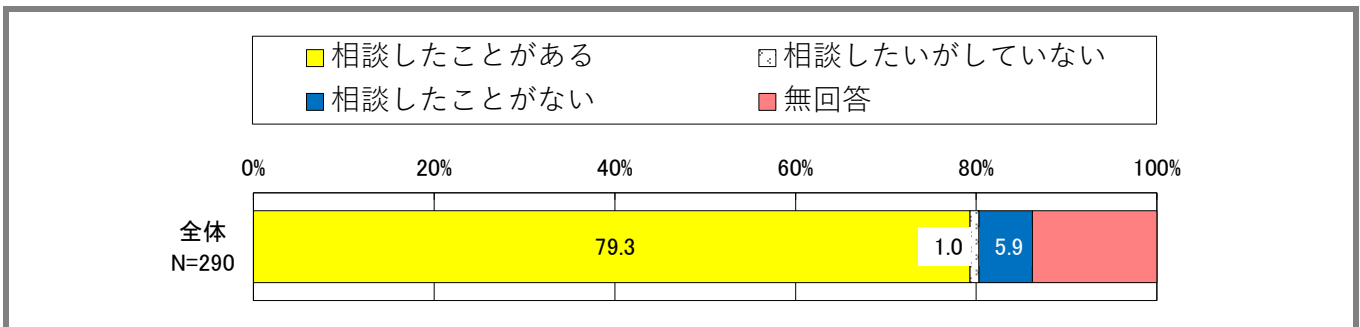
- 問10で「現在、通園・通学中である」と回答した人に卒業後の進路について尋ねたところ、「企業などで一般就労(障がい者雇用を含む)」が全体の40.9%と最も多く、以下、「大学や専門学校等への進学」(30.2%)、「障がい者の就労を支援する施設や作業所で福祉的就労」(25.6%)と続いている。
- 障がい種別に見ると、身体障がい者では「大学や専門学校等への進学」(33.3%)、知的障がい者では「障がい者の就労を支援する施設や作業所で福祉的就労」(46.4%)、精神障がい者では「企業などで一般就労(障がい者雇用を含む)」(43.5%)が、それぞれ最も高い割合となっている(次ページのグラフ参照)。

【障がい種別クロス集計結果】



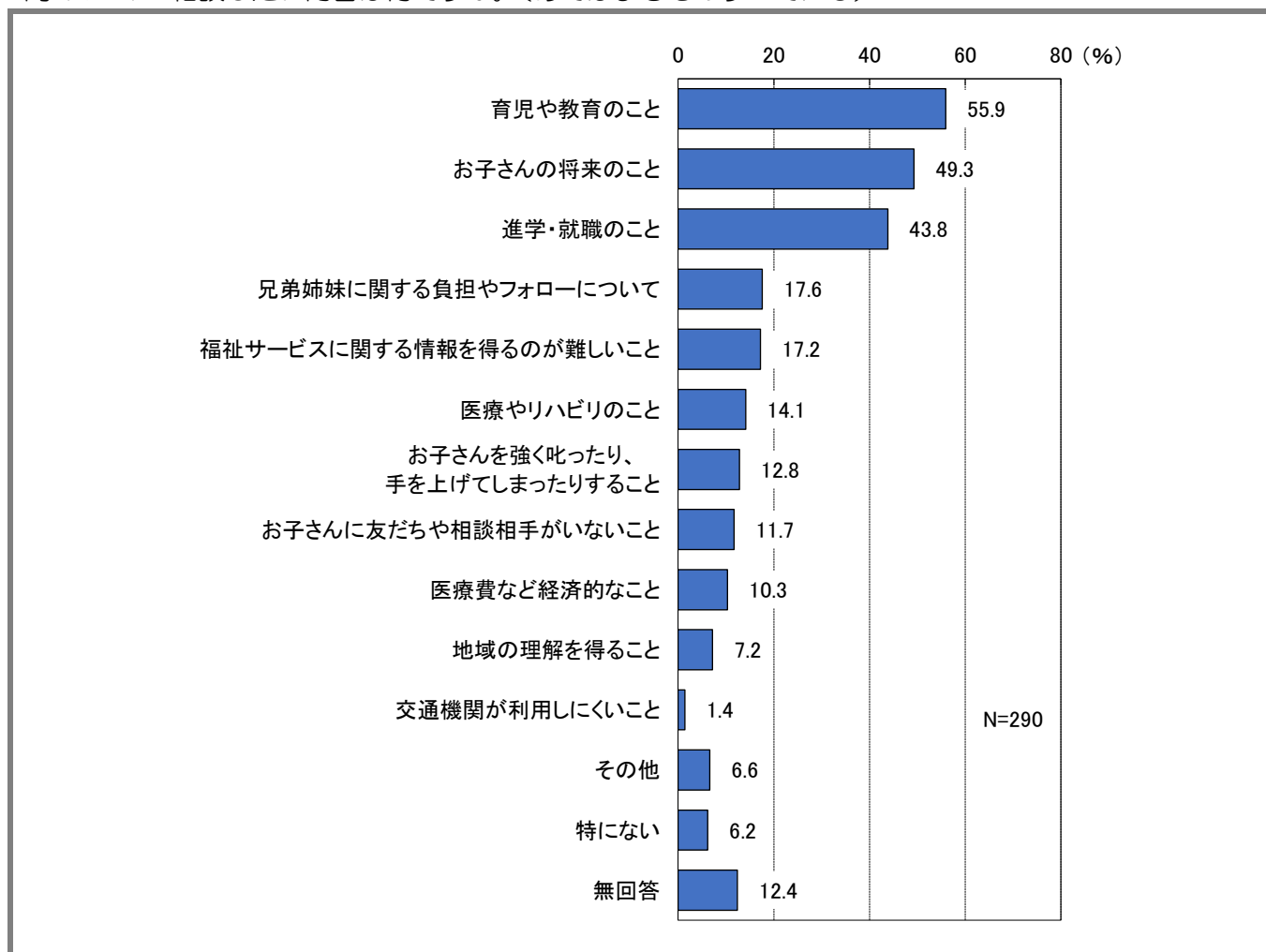
【問10-6~8は、問10で「4. 現在、通園・通学中である」または「5. 小学校就学前で通園等していない」に○をつけた人の保護者のみお答えください】

問10-6 これまでにお子さんに関することなどで相談したことがありますか。(○は1つだけ)



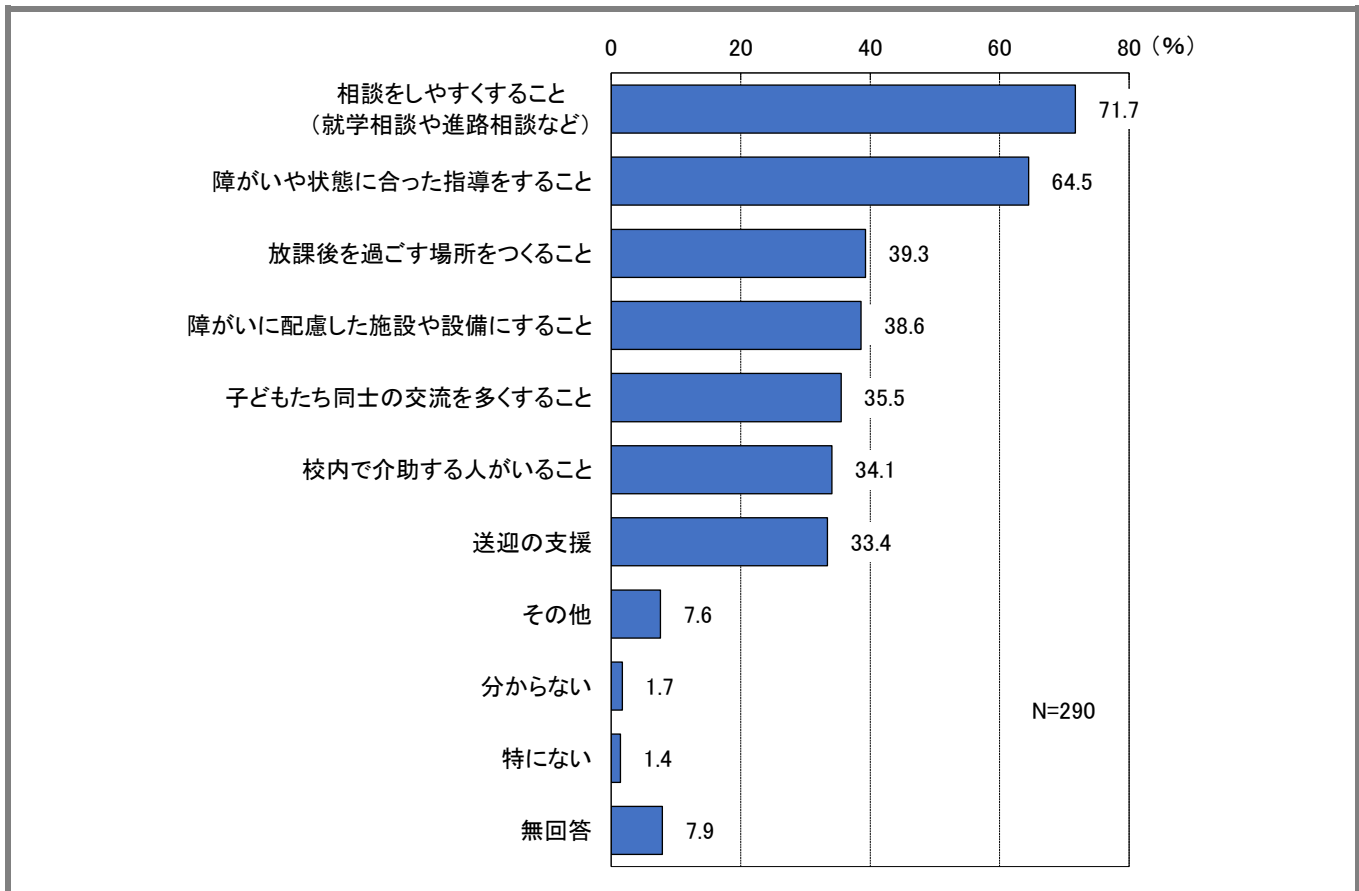
● 問10で「現在、通園・通学中である(未就学児童を含む)」と回答した人の保護者に障がいのあるお子さんのことについて相談したことがあるか尋ねたところ、全体の79.3%が「相談したことがある」と回答しており、「相談したいがしていない」と回答した人は1.0%となっている。

問 10-7 相談したい内容は何ですか。(あてはまるものすべてに○)



- 問 10 で「現在、通園・通学中である（未就学児童を含む）」と回答した人の保護者に障がいのあるお子さんのことで相談したい内容について尋ねたところ、「育児や教育のこと」と回答した人が 55.9%と最も多く、次いで、「お子さんの将来のこと」(49.3%)、「進学・就職のこと」(43.8%)と続いている。

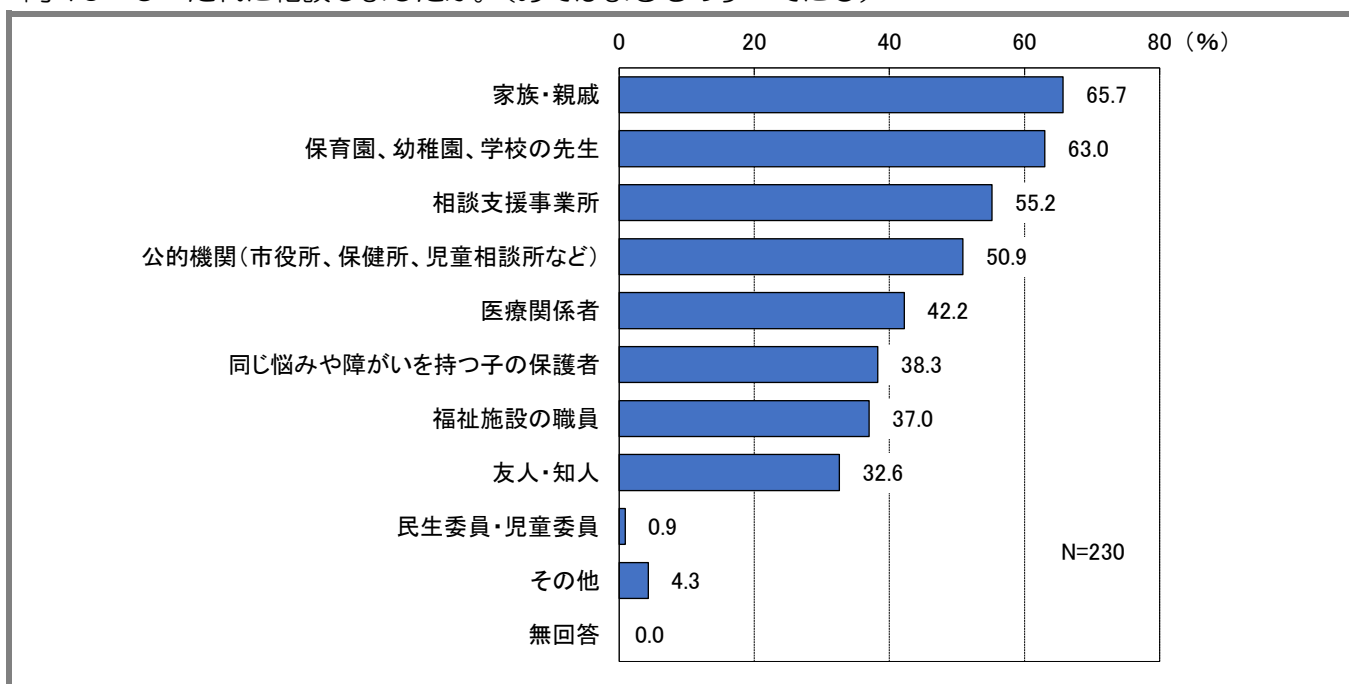
問 10-8 障がいのある子どもの教育環境について、必要と思うものはどれですか。
(あてはまるものすべてに○)



- 障がいのある子どもの教育環境について、必要と思うものとしては、「相談をしやすくすること（就学相談や進路相談など）」が全体の 71.7%と最も多く、「障がいや状態に合った指導をすること」が 64.5%で、それに続いている。

【問10-6で「1. 相談したことがある」に○をつけた人のみお答えください】

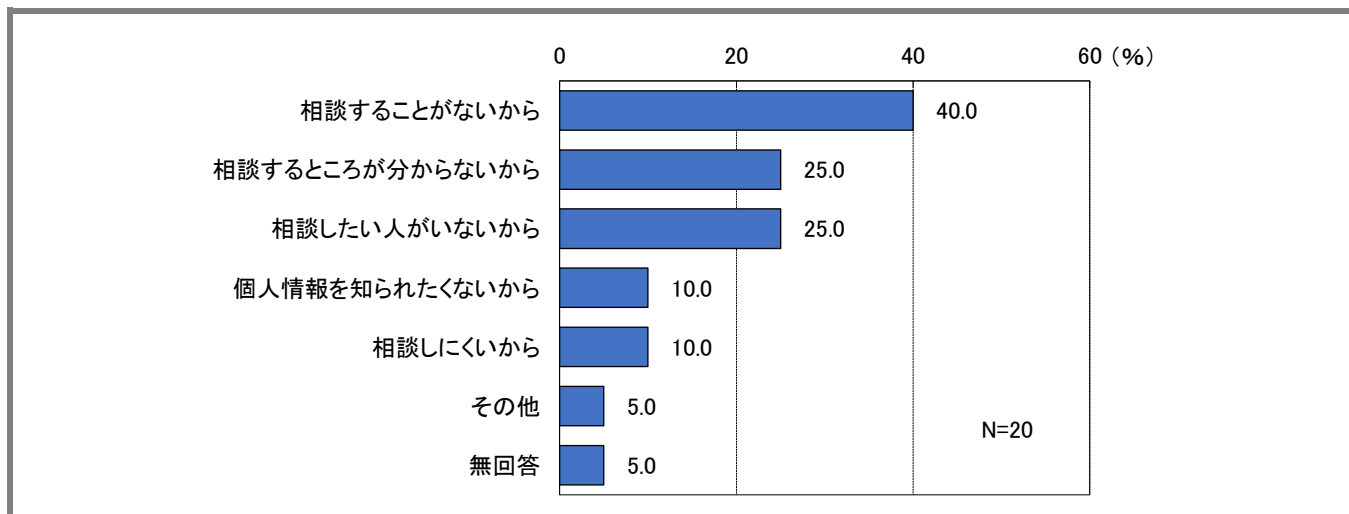
問10-9 だれに相談しましたか。(あてはまるものすべてに○)



- 問10-6で「相談した」と回答した人に相談先を尋ねたところ、「家族・親戚」(65.7%)や「保育園、幼稚園、学校の先生」(63.0%)と回答した人が多く、次いで、「相談支援事業所」(55.2%)、「公的機関(市役所、保健所、児童相談所など)」(50.9%)、「医療関係者」(42.2%)と続いている。

【問 10-6で「2. 相談したいがしていない」「3. 相談したことがない」と回答した人のみお答えください】

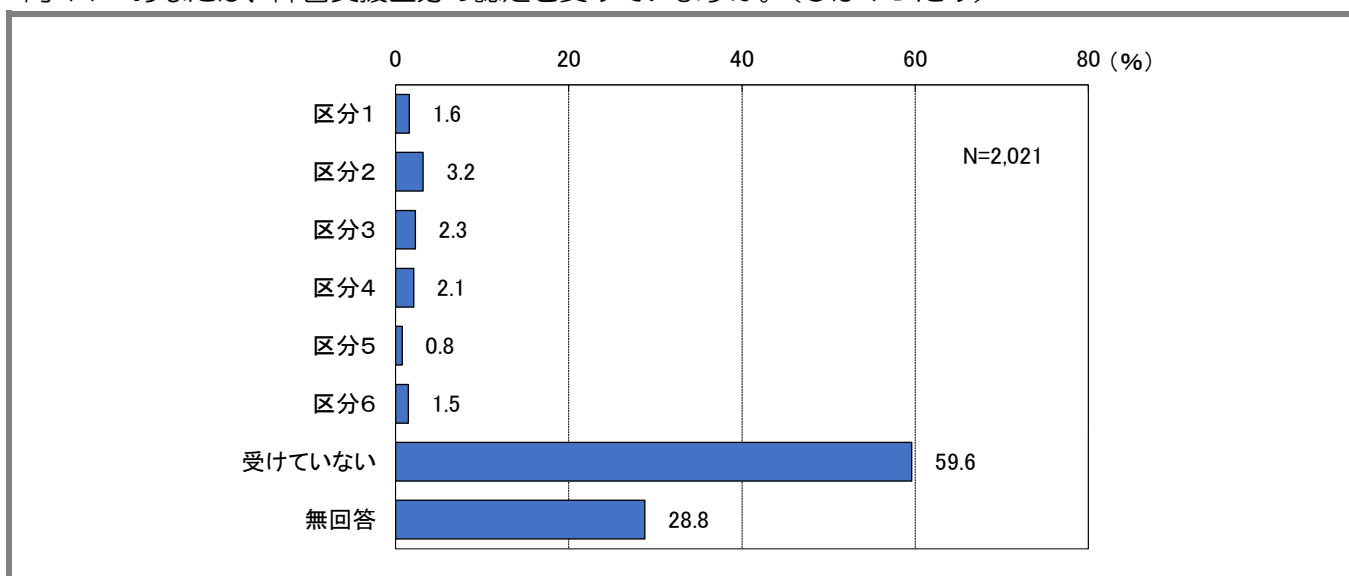
問 10-10 その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)



- 問 10-6で「相談したいがしていない」「相談したことがない」と回答した人にその理由を尋ねたところ、「相談することがないから」(40.0%)という回答が最も多く、「相談するところが分からないから」と「相談したい人がいないから」がともに25.0%で、それに続いている。

IV 障がい福祉サービスについて

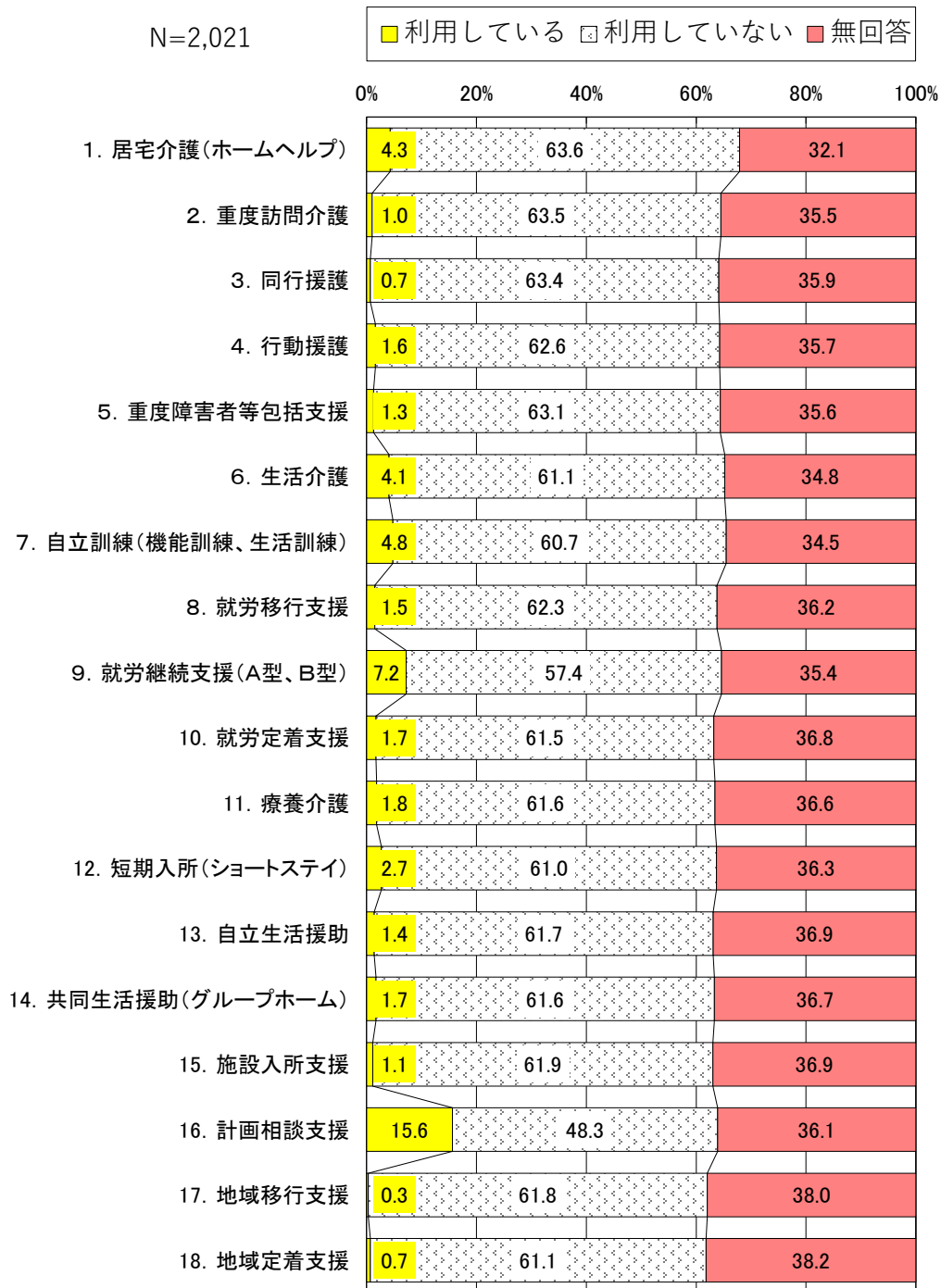
問 11 あなたは、障害支援区分の認定を受けていますか。(〇は1つだけ)



- 障害支援区分を回答した人は全体の 11.5%で、「区分2」が 3.2%と最も多くなっている。

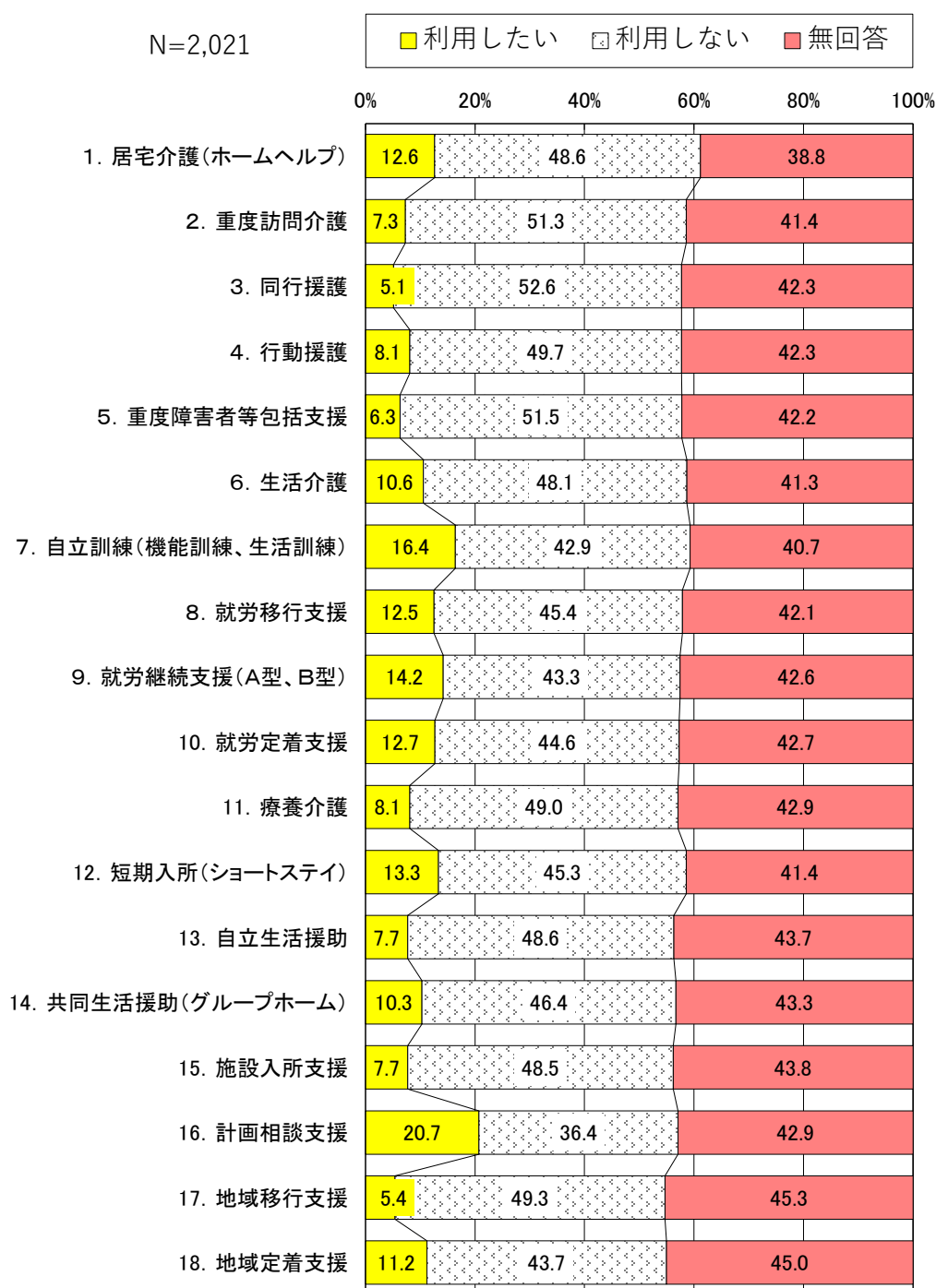
問12 あなたは次の障がい福祉サービスを利用していますか。また、今後利用したいと考えますか。
 (1から26のそれぞれについて、「①現在利用しているか」と「②今後利用したいか」の両方を回答(番号に○)してください。(○はそれぞれ1つだけ)

①現在利用しているか(全体)



● 全体で見ると、現在「利用している」という回答割合が最も高かったのは「計画相談支援」(15.6%)で、「就労継続支援(A型、B型)」(7.2%)がそれに続いている。

②今後利用したいか（全体）

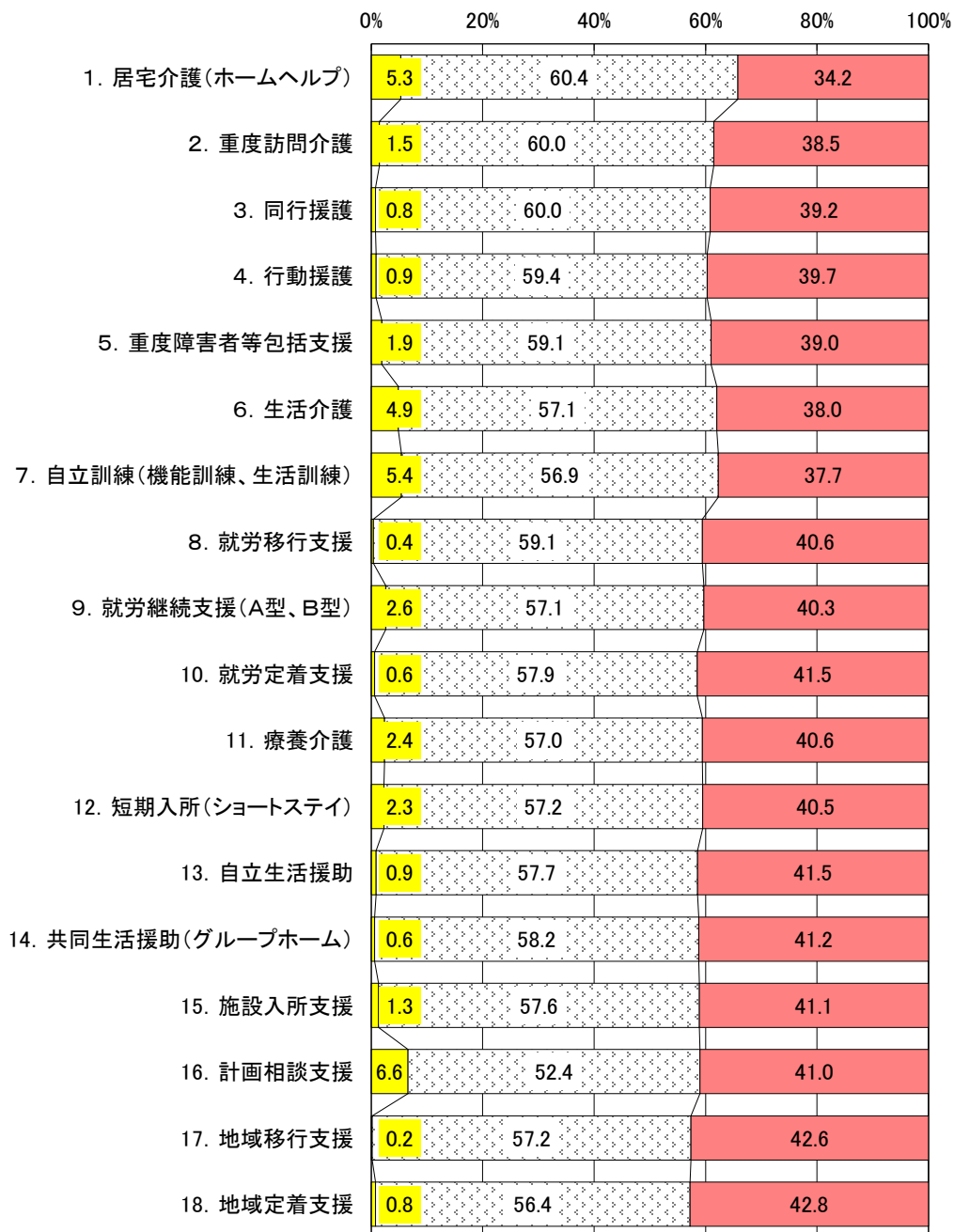


- 全体で見ると、今後「利用したい」という回答割合が最も高かったのは「計画相談支援」(20.7%)で、以下、「自立訓練(機能訓練、生活訓練)」(16.4%)、「就労継続支援(A型、B型)」(14.2%)、「短期入所(ショートステイ)」(13.3%)と続いている。

①現在利用しているか（身体障がい者）

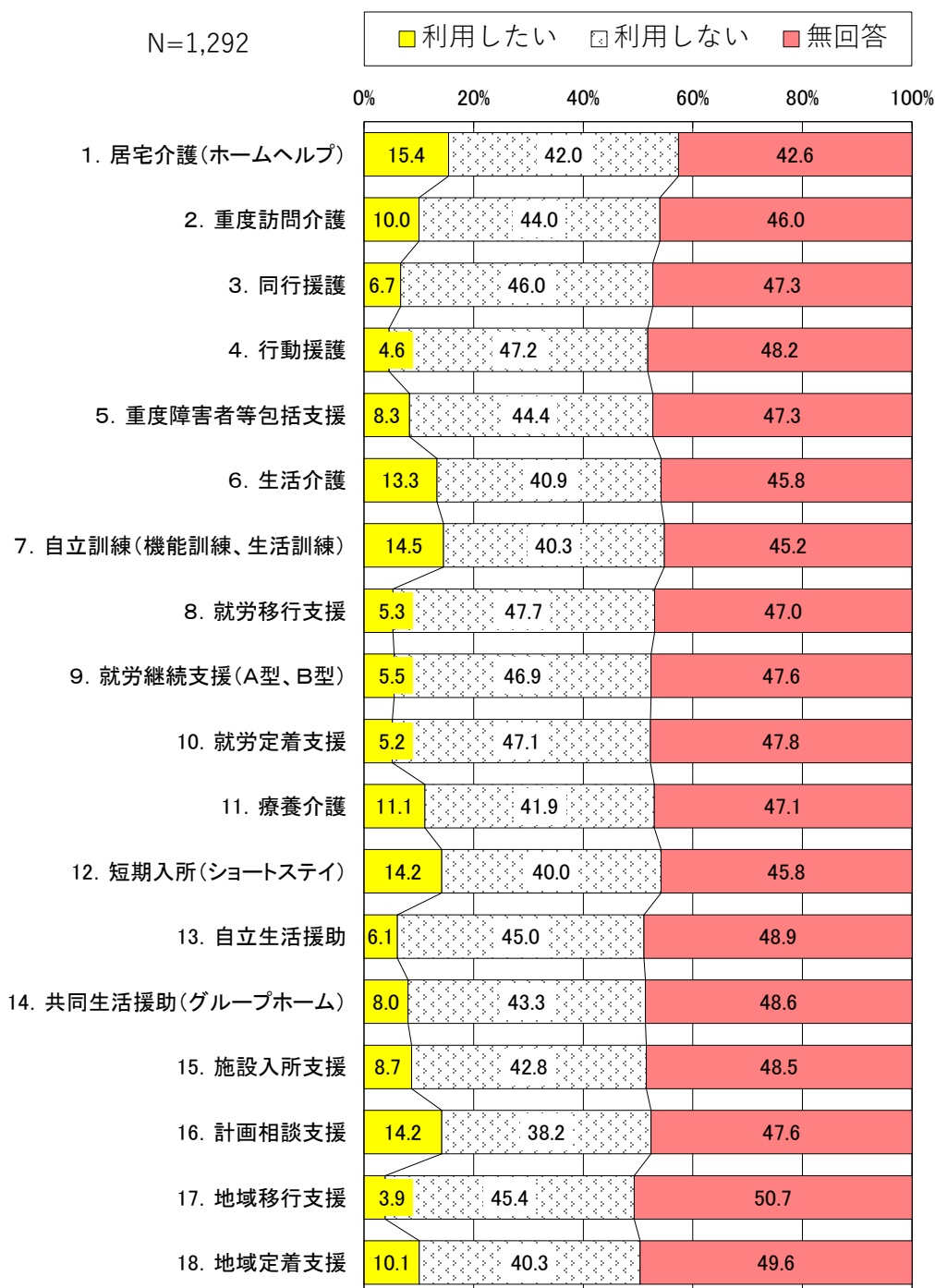
N=1,292

■ 利用している □ 利用していない ■ 無回答



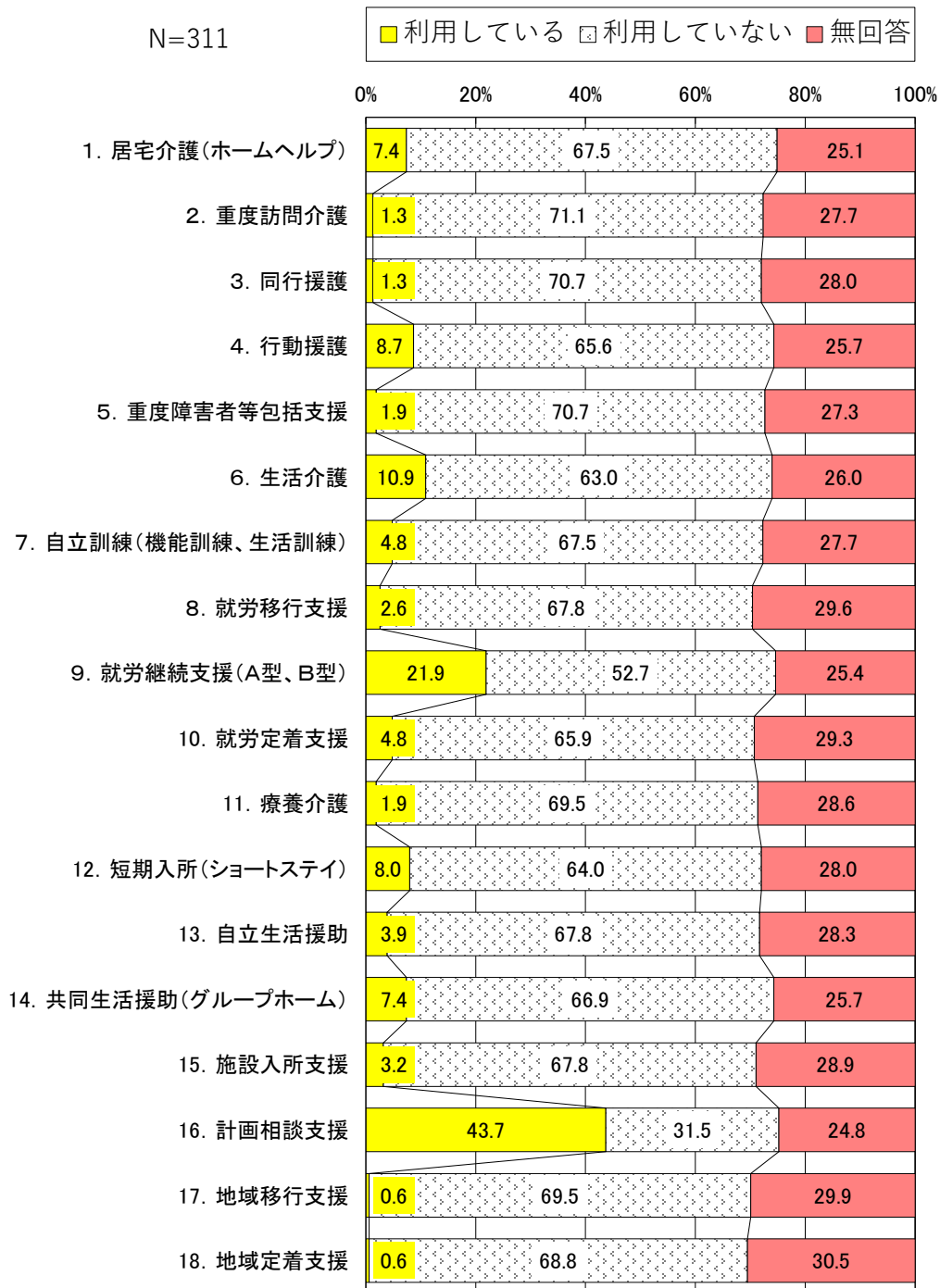
● 身体障がい者について見ると、現在「利用している」という回答割合が最も高かったのは「計画相談支援」(6.6%)で、「自立訓練(機能訓練、生活訓練)」(5.4%)や「居宅介護(ホームヘルプ)」(5.3%)がそれに続いている。

②今後利用したいか（身体障がい者）



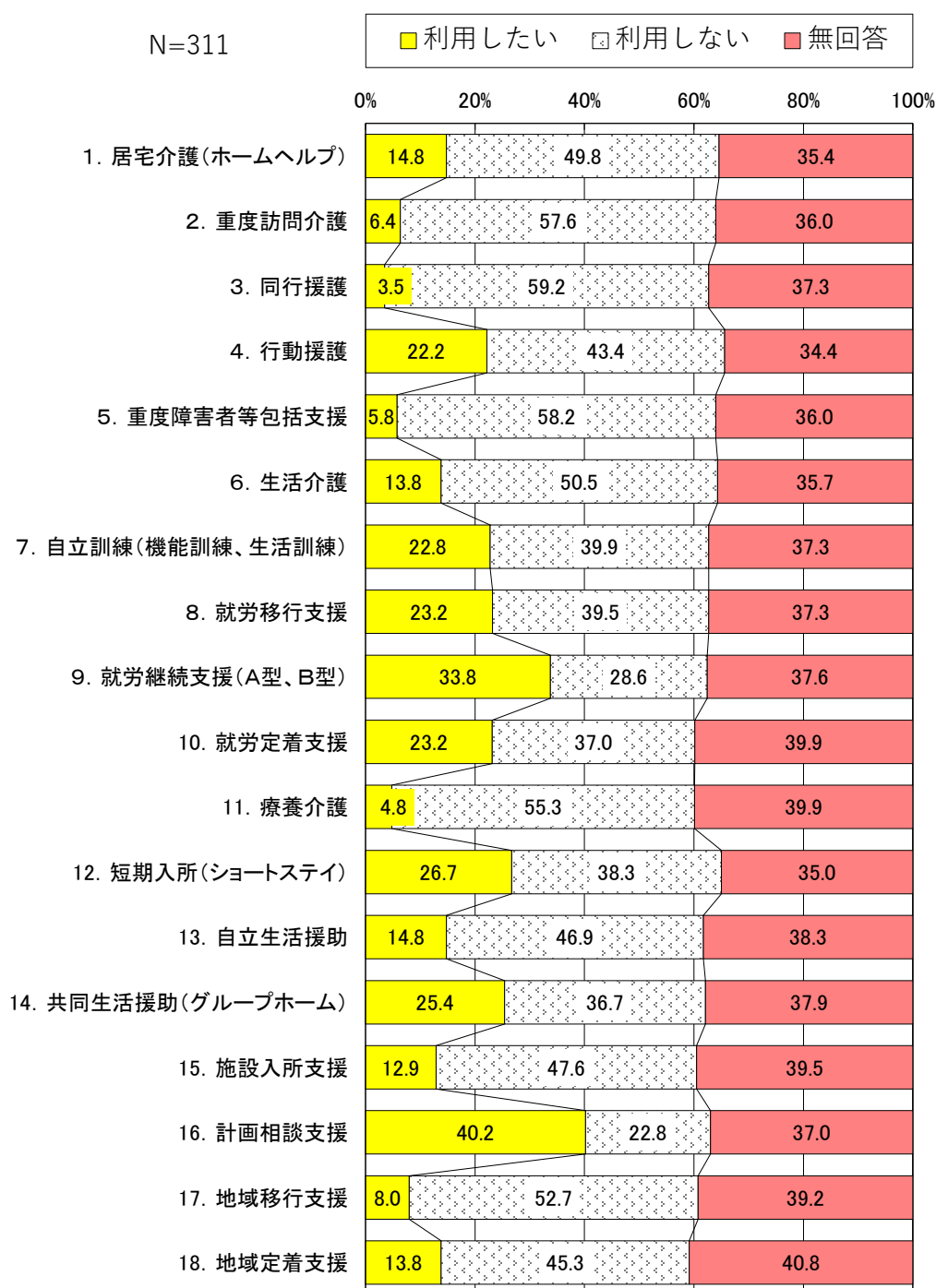
- 身体障がい者について見ると、今後「利用したい」という回答割合が最も高かったのは「居宅介護（ホームヘルプ）」（15.4%）で、以下、「自立訓練（機能訓練、生活訓練）」（14.5%）、「短期入所（ショートステイ）」「計画相談支援」（ともに14.2%）と続いている。

①現在利用しているか（知的障がい者）



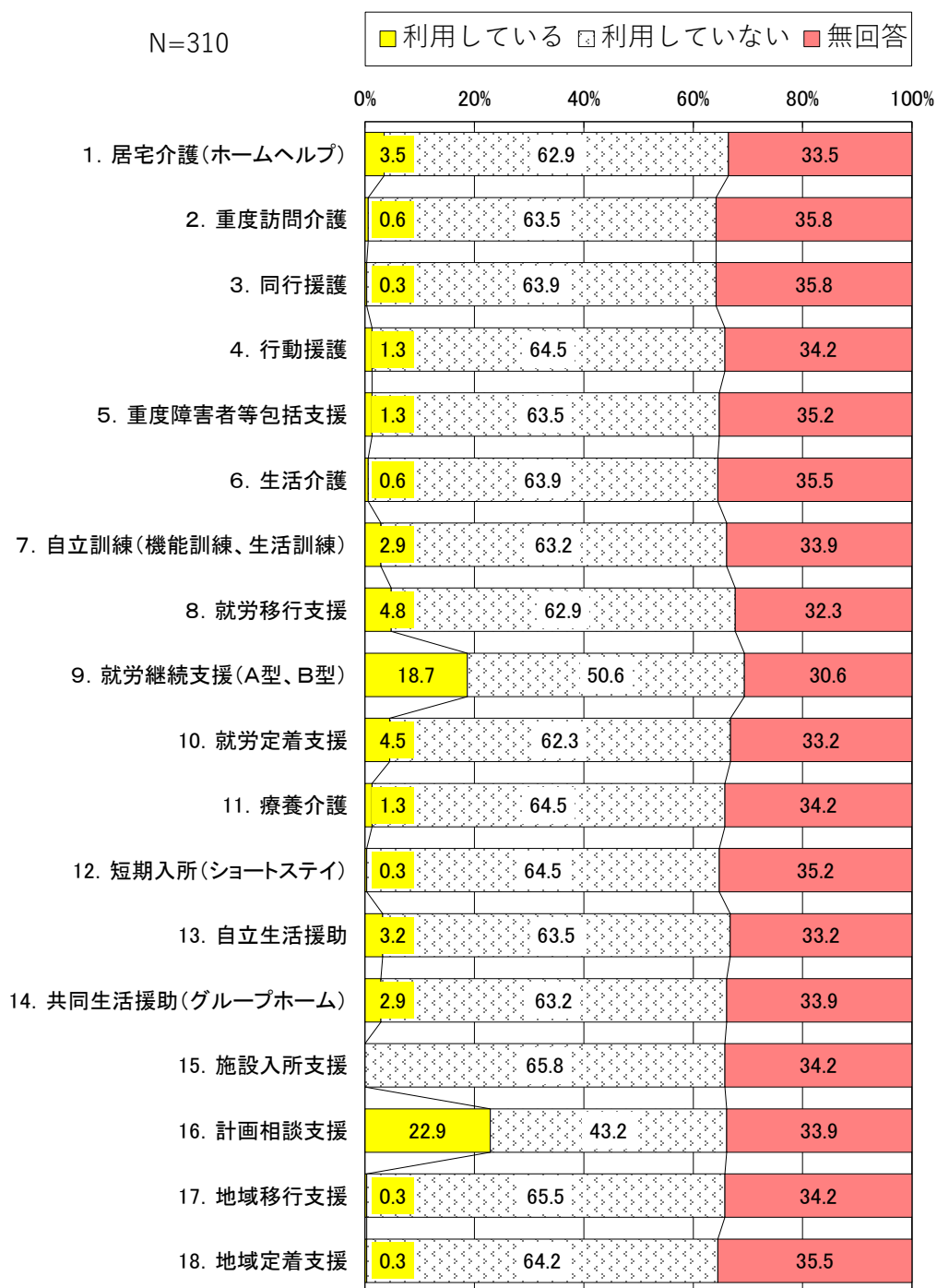
- 知的障がい者について見ると、現在「利用している」という回答割合が最も高かったのは「計画相談支援」(43.7%)で、「就労継続支援(A型、B型)」(21.9%)がそれに続いている。

②今後利用したいか（知的障がい者）



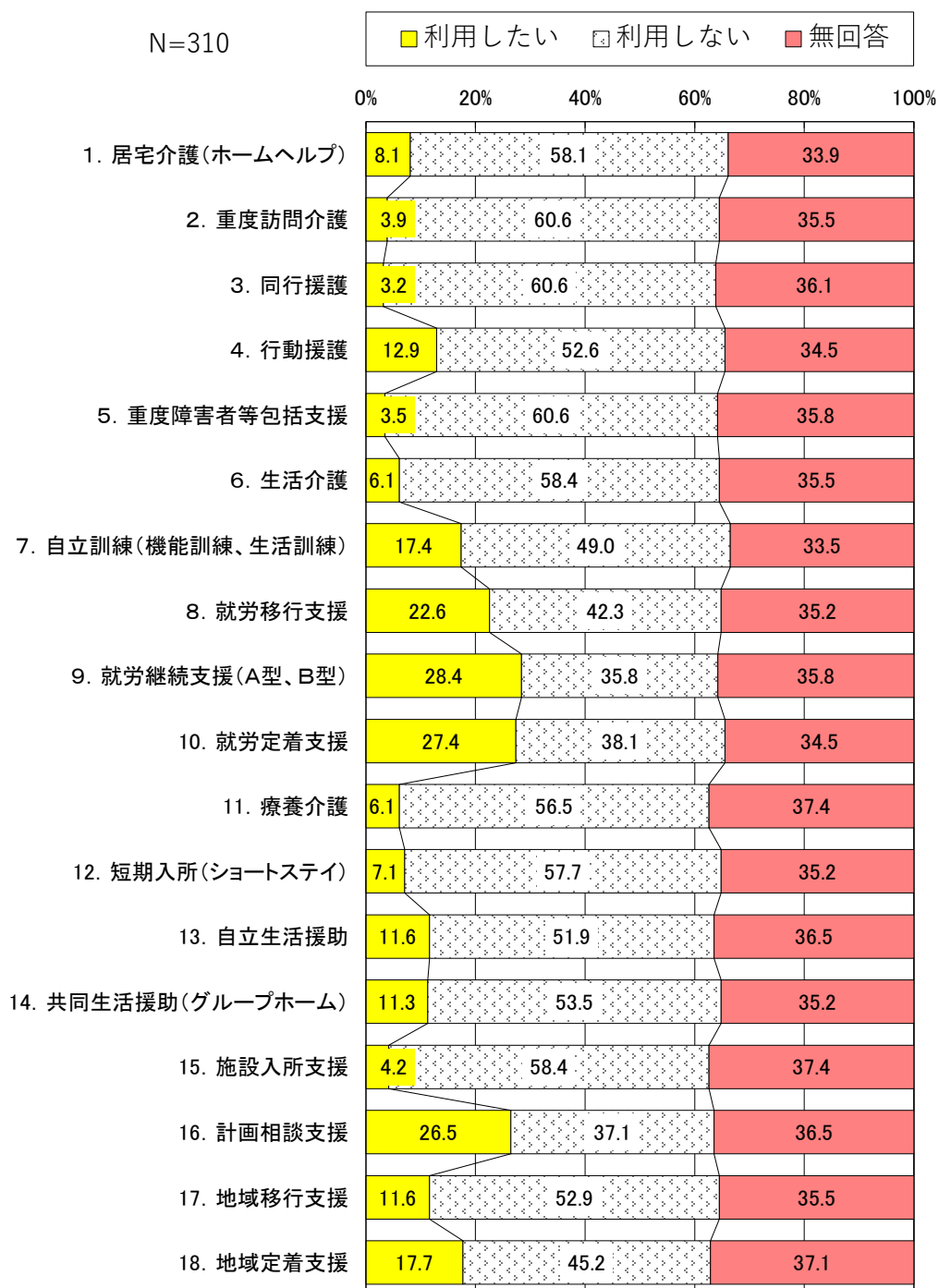
- 知的障がい者について見ると、今後「利用したい」という回答割合が最も高かったのは「計画相談支援」(40.2%)で、以下、「就労継続支援(A型、B型)」(33.8%)、「短期入所(ショートステイ)」(26.7%)、「共同生活援助(グループホーム)」(25.4%)と続いている。

①現在利用しているか（精神障がい者）



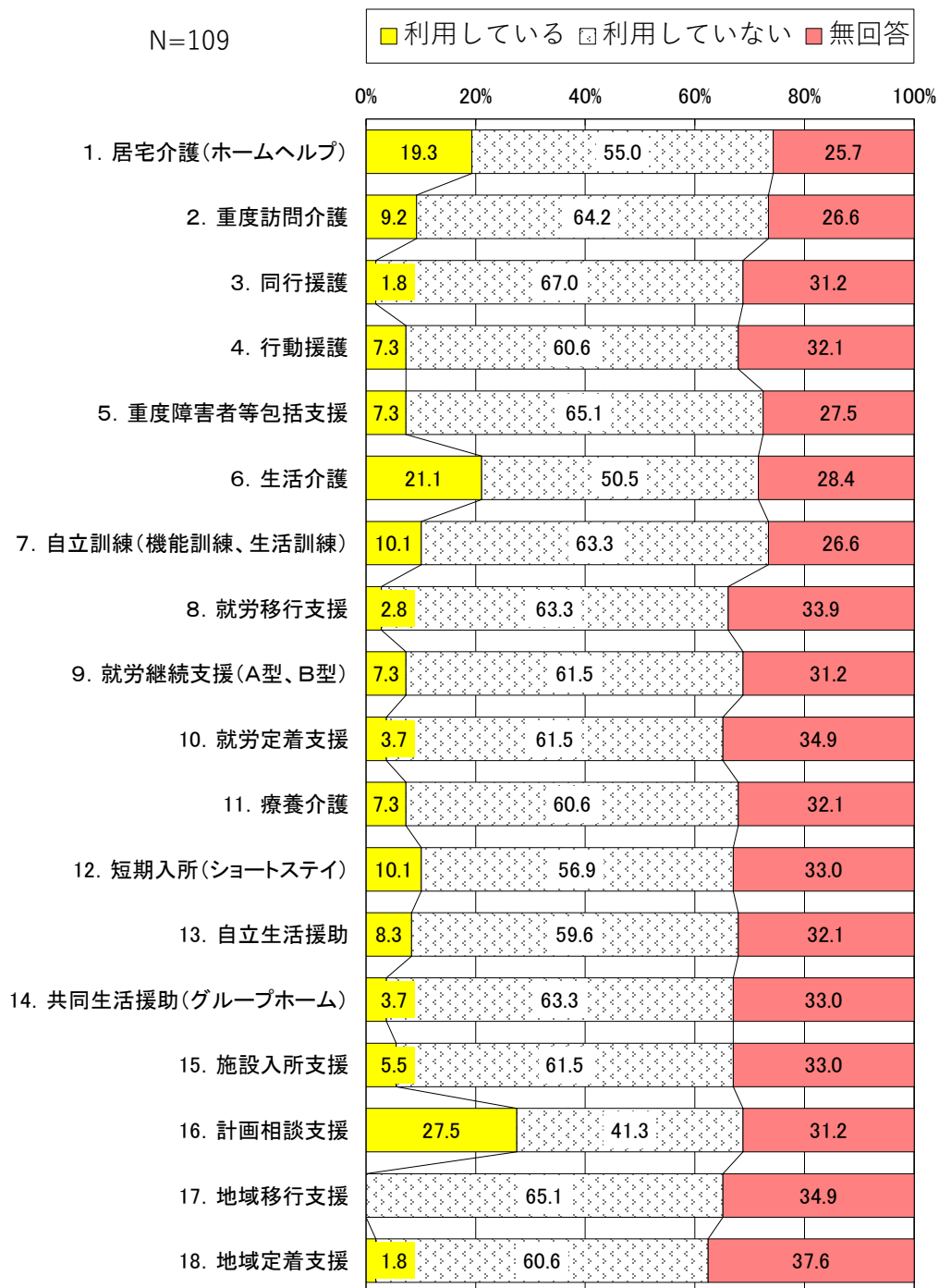
● 精神障がい者について見ると、現在「利用している」という回答割合が最も高かったのは「計画相談支援」(22.9%)で、「就労継続支援(A型、B型)」(18.7%)がそれに続いている。

②今後利用したいか（精神障がい者）



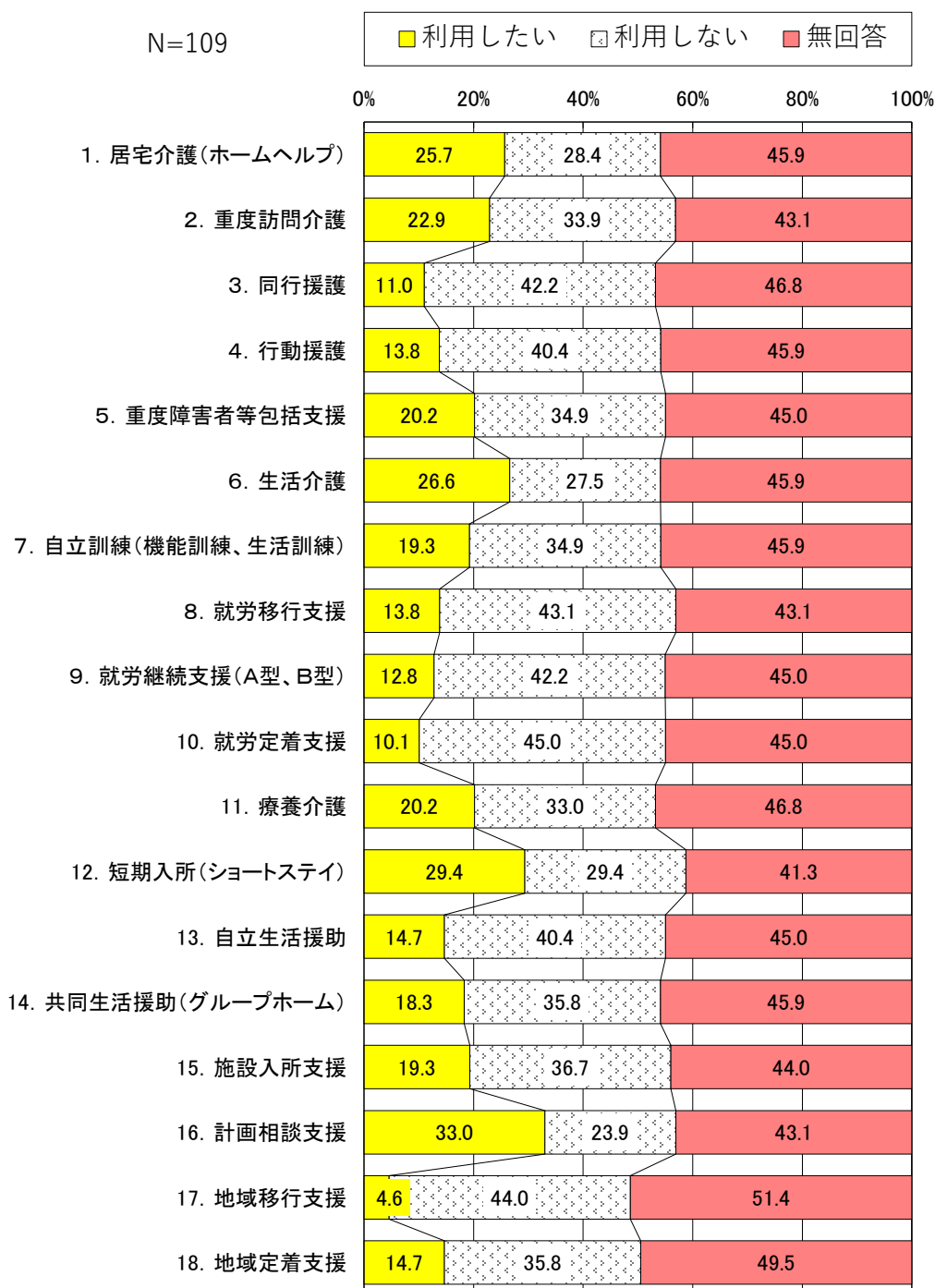
- 精神障がい者について見ると、今後「利用したい」という回答割合が最も高かったのは「就労継続支援（A型、B型）」（28.4%）で、「就労定着支援」（27.4%）がそれに続いている。

①現在利用しているか（重症心身障がい者）



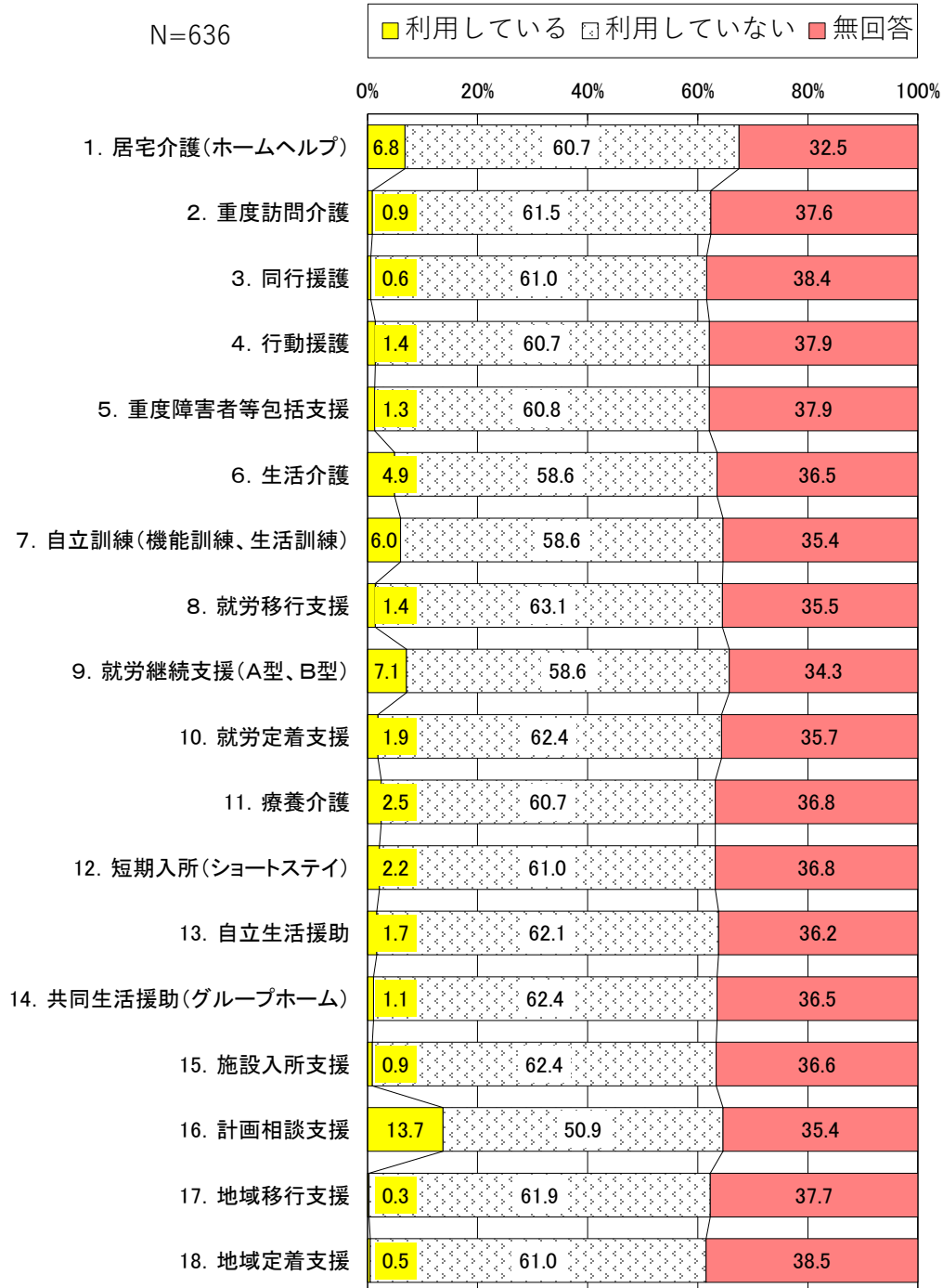
● 重症心身障がい者について見ると、現在「利用している」という回答割合が最も高かったのは「計画相談支援」(27.5%)で、「生活介護」(21.1%)や「居宅介護(ホームヘルプ)」(19.3%)がそれに続いている。

②今後利用したいか（重症心身障がい者）



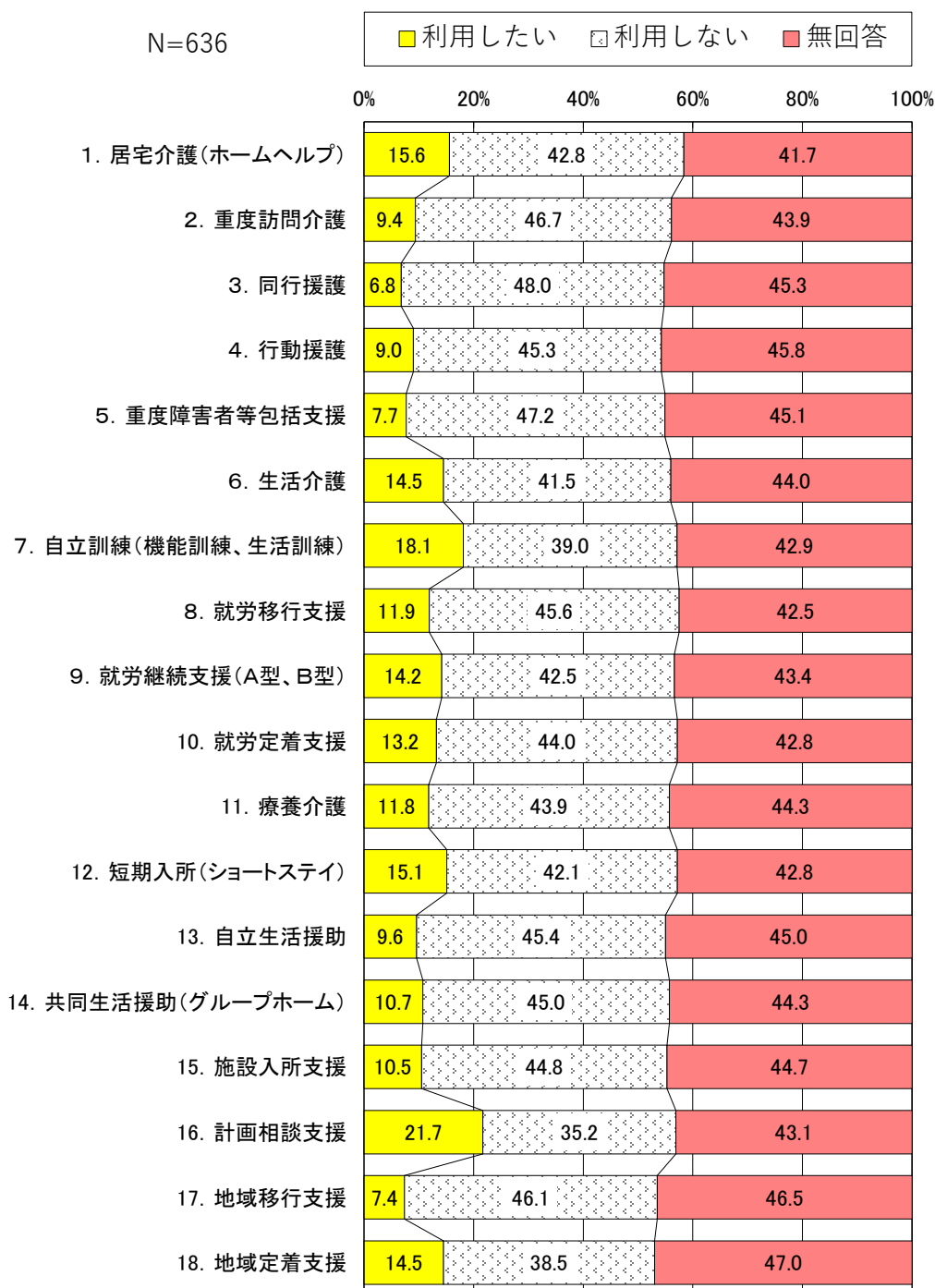
- 重症心身障がい者について見ると、今後「利用したい」という回答割合が最も高かったのは「計画相談支援」(33.0%)で、以下、「短期入所(ショートステイ)」(29.4%)、「生活介護」(26.6%)、「居宅介護(ホームヘルプ)」(25.7%)と続いている。

①現在利用しているか（医療的ケア必要者）



● 医療的ケア必要者について見ると、現在「利用している」という回答割合が最も高かったのは「計画相談支援」(13.7%)で、「就労継続支援(A型、B型)」(7.1%)や「居宅介護(ホームヘルプ)」(6.8%)がそれに続いている。

②今後利用したいか（医療的ケア必要者）

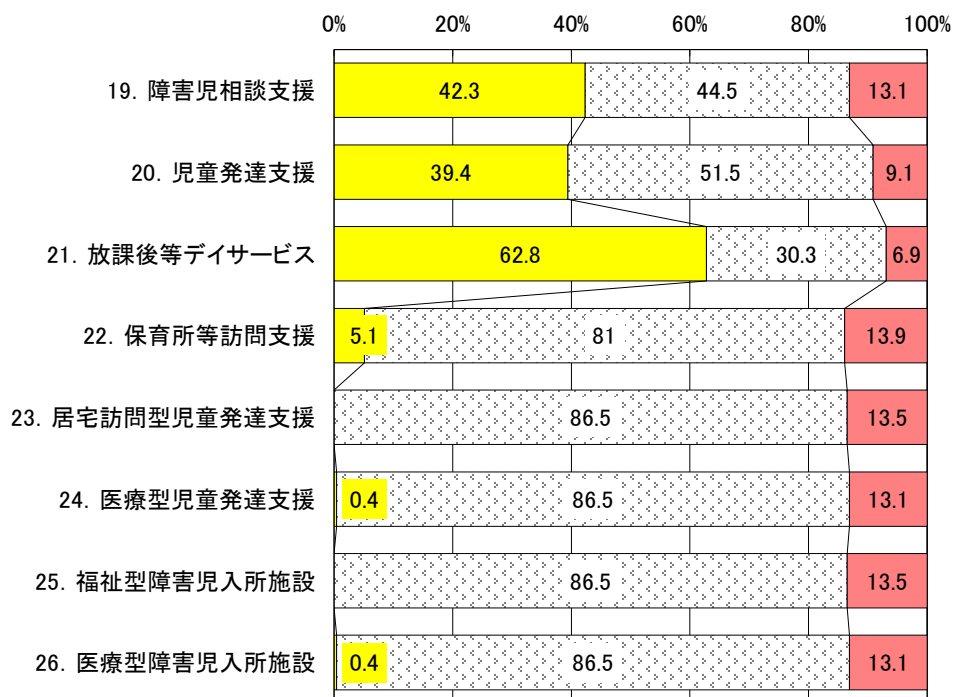


- 医療的ケア必要者について見ると、今後「利用したい」という回答割合が最も高かったのは「計画相談支援」(21.7%)で、以下、「自立訓練(機能訓練、生活訓練)」(18.1%)、「居宅介護(ホームヘルプ)」(15.6%)、「短期入所(ショートステイ)」(15.1%)と続いている。

①現在利用しているか（障がい児）

N=274

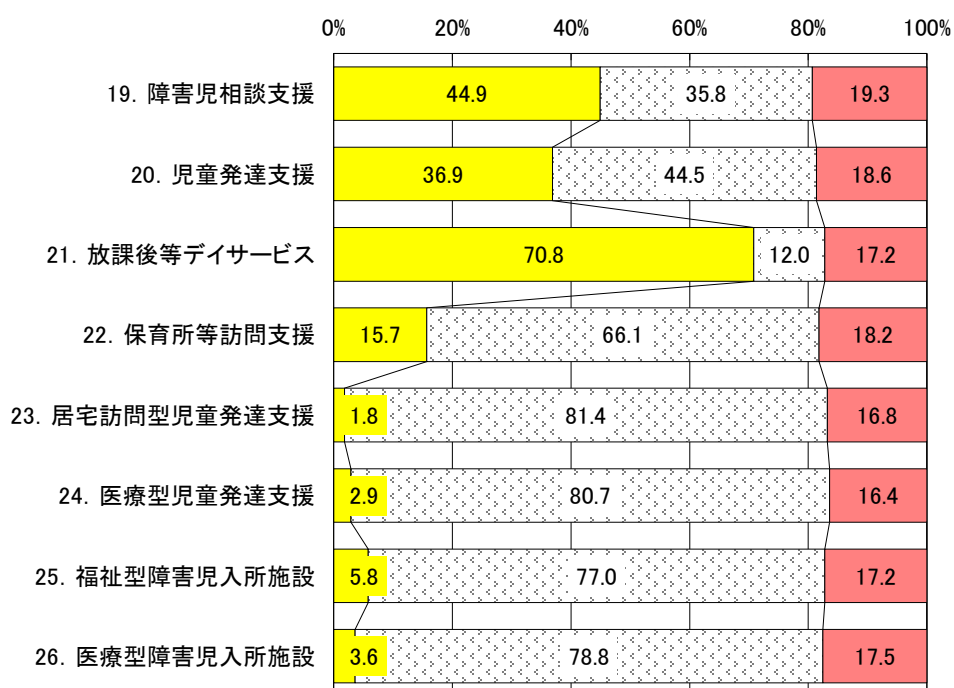
■ 利用している □ 利用していない ■ 無回答



- 障がい児について見ると、現在「利用している」という回答割合が最も高かったのは「放課後等デイサービス」(62.8%)で、以下、「障害児相談支援」(42.3%)、「児童発達支援」(39.4%)と続いている。

②今後利用したいか（障がい児）

N=274

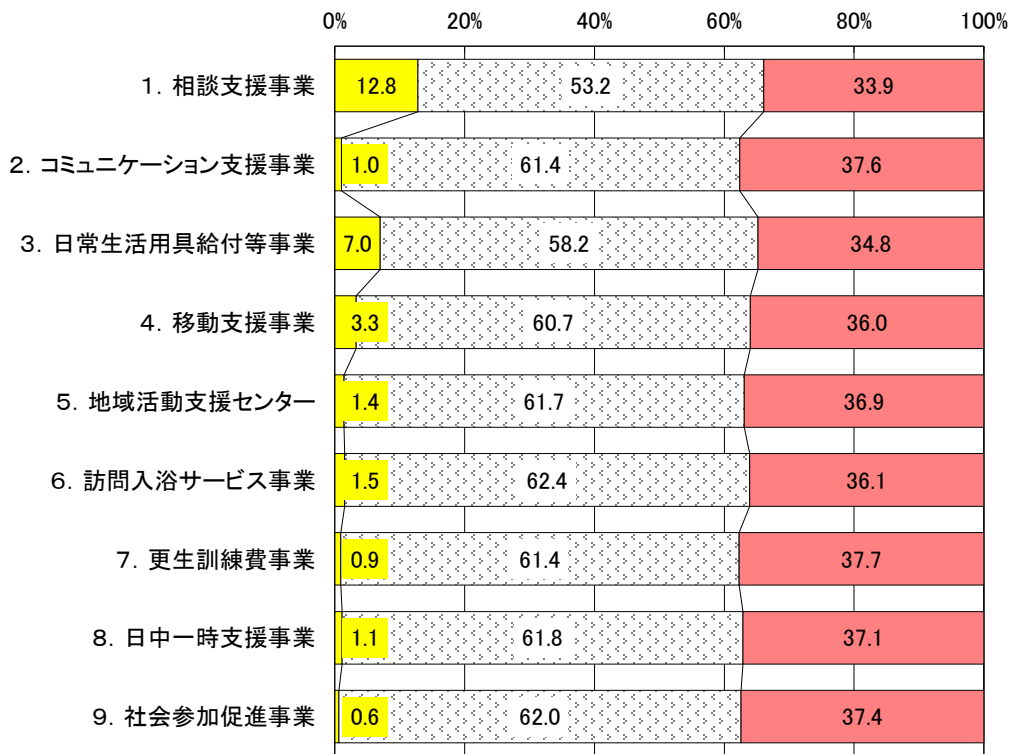
■ 利用したい
 ■ 利用しない
 ■ 無回答


- 障がい児について見ると、今後「利用したい」という回答割合が最も高かったのは「放課後等デイサービス」(70.8%)で、以下、「障害児相談支援」(44.9%)、「児童発達支援」(36.9%)と続いている。

問 13 あなたは次の地域生活支援事業を利用していますか。また、今後利用したいと考えますか。
 (1から9のそれぞれについて、「①現在利用しているか」と「②今後利用したいか」の両方を
 回答(番号に○)してください。(○はそれぞれ1つだけ)

①現在利用しているか(全体)

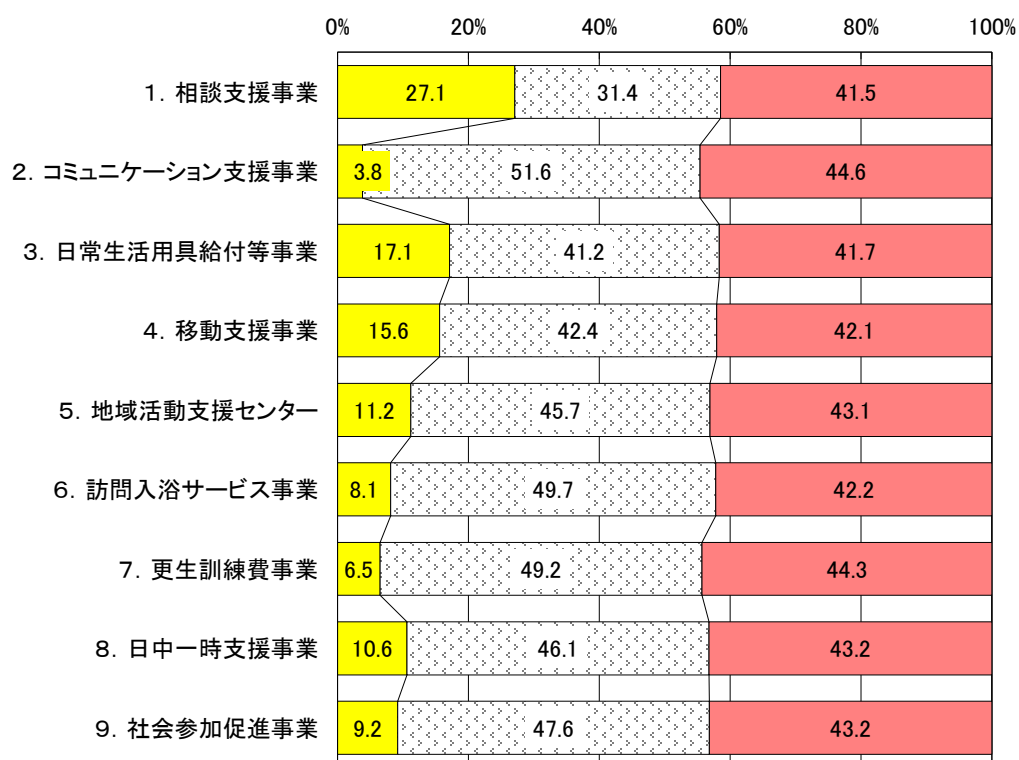
N=2,021



● 全体で見ると、現在「利用している」という回答割合が最も高かったのは「相談支援事業」(12.8%)で、「日常生活用具給付等事業」(7.0%)がそれに続いている。

②今後利用したいか（全体）

N=2,021

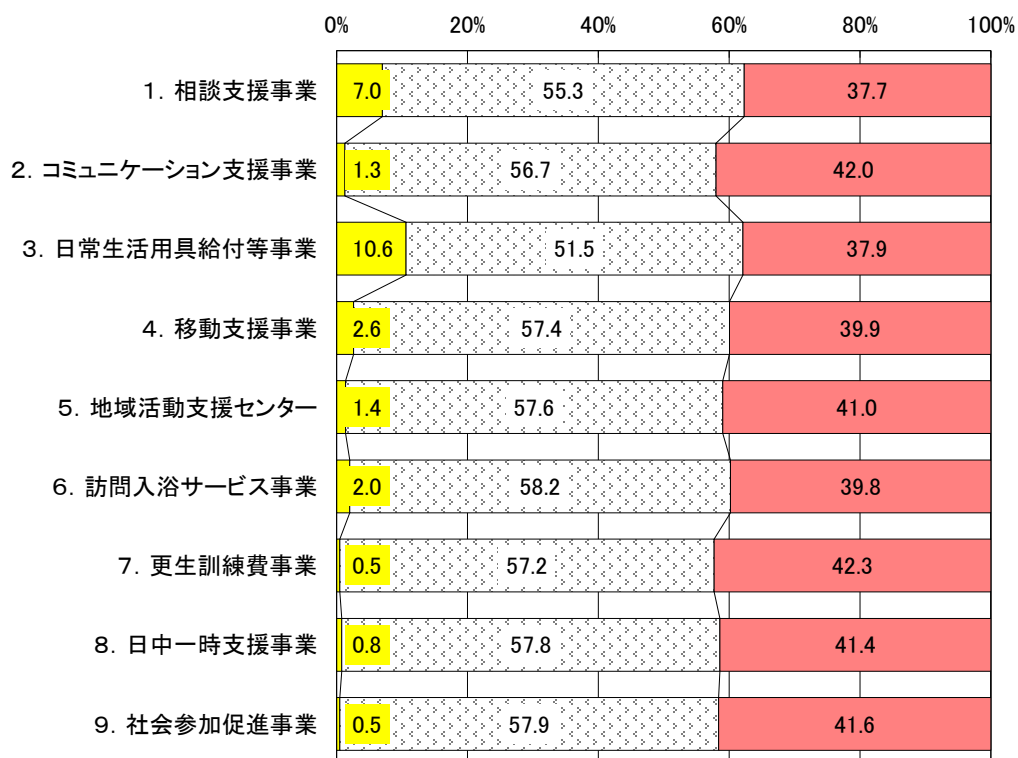
 利用したい 利用しない 無回答


- 全体で見ると、今後「利用したい」という回答割合が最も高かったのは「相談支援事業」(27.1%)で、以下、「日常生活用具給付等事業」(17.1%)、「移動支援事業」(15.6%)と続いている。

①現在利用しているか（身体障がい者）

N=1,292

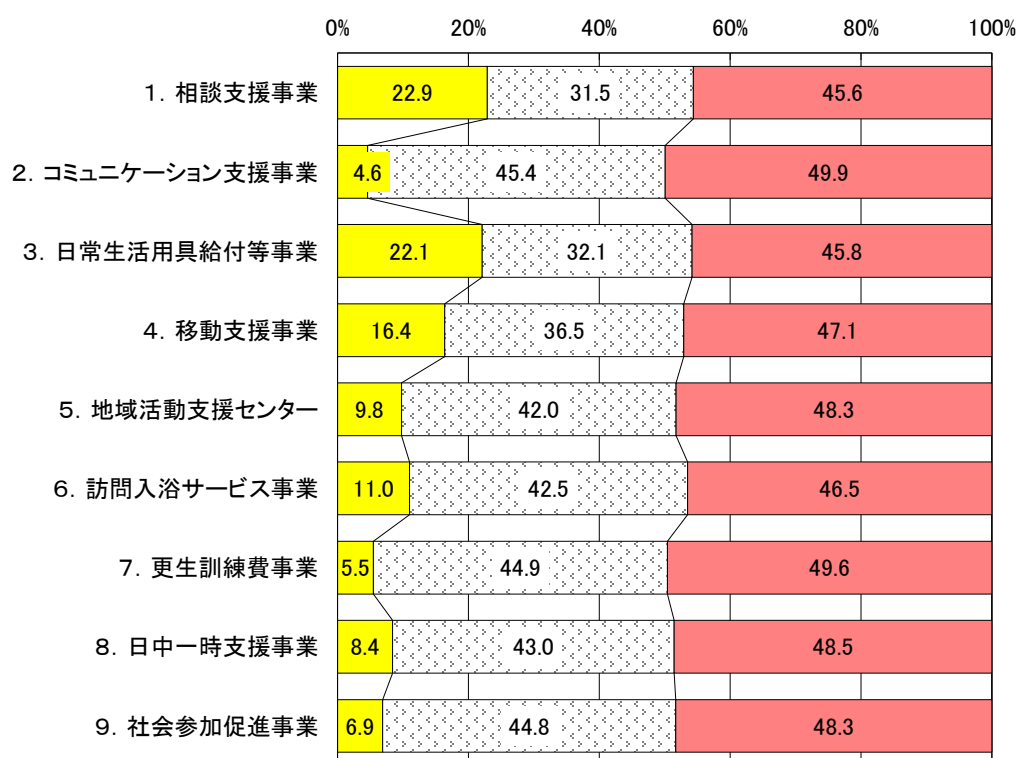
■ 利用している □ 利用していない ■ 無回答



- 身体障がい者について見ると、現在「利用している」という回答割合が最も高かったのは「日常生活用具給付等事業」（10.6%）で、「相談支援事業」（7.0%）がそれに続いている。

②今後利用したいか（身体障がい者）

N=1,292

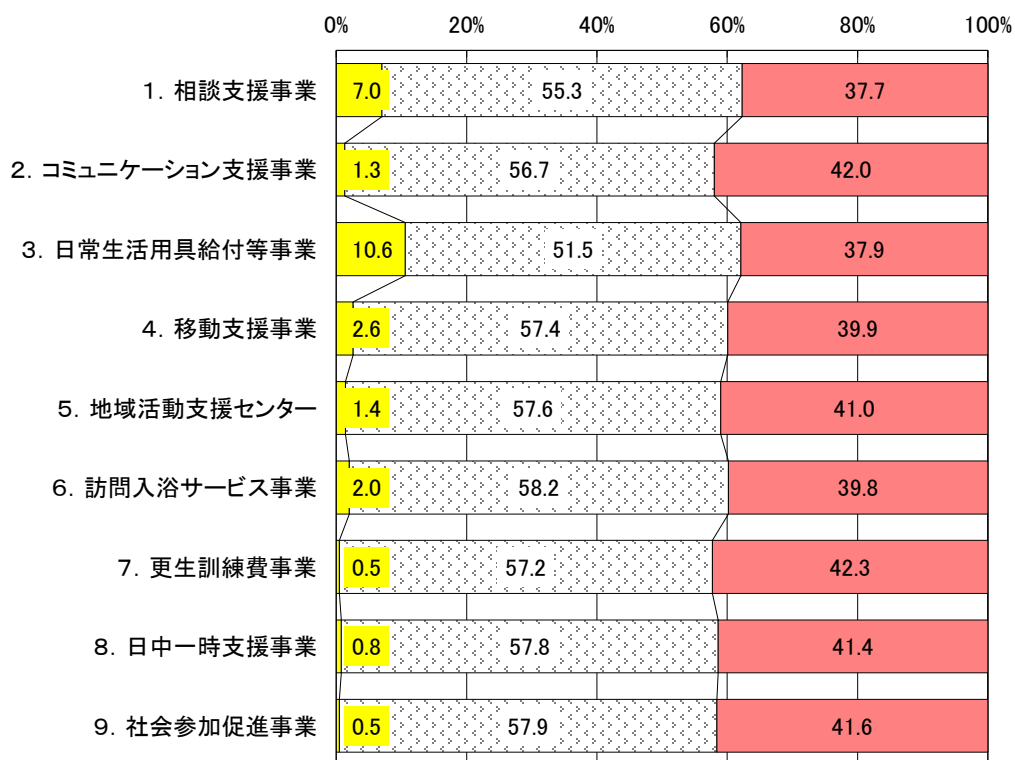
■ 利用したい □ 利用しない ■ 無回答


- 身体障がい者について見ると、今後「利用したい」という回答割合が最も高かったのは「相談支援事業」（22.9%）で、以下、「日常生活用具給付等事業」（22.1%）、「移動支援事業」（16.4%）と続いている。

①現在利用しているか（知的障がい者）

N=311

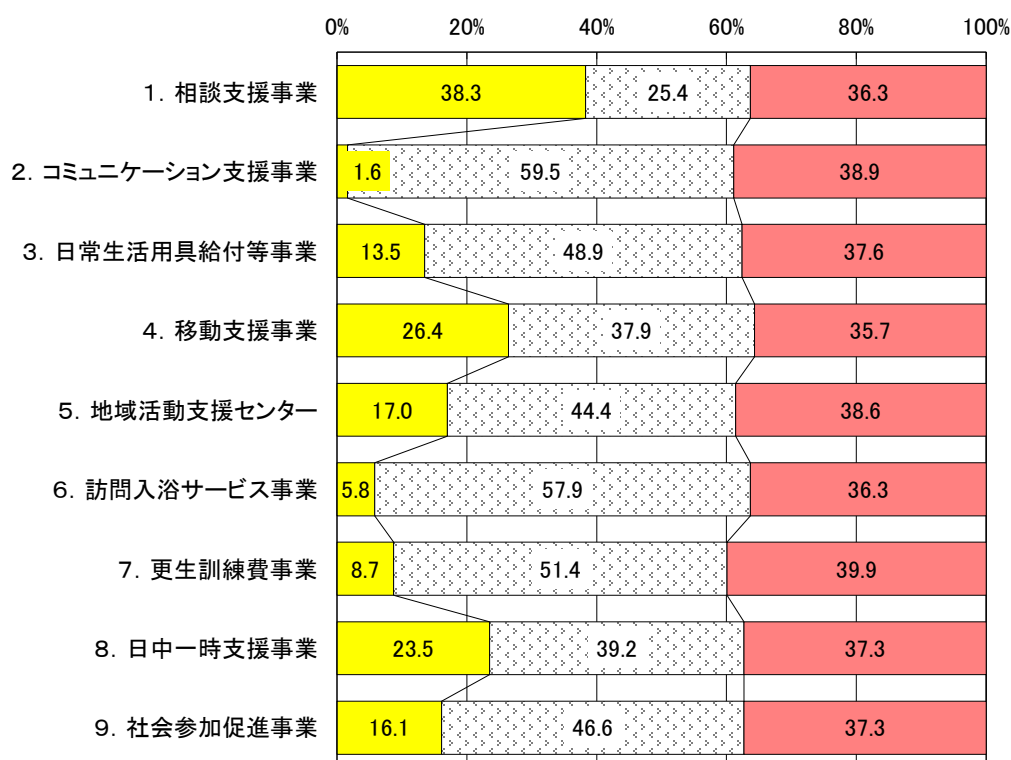
■ 利用している □ 利用していない ■ 無回答



- 知的障がい者について見ると、現在「利用している」という回答割合が最も高かったのは「日常生活用具給付等事業」（10.6%）で、「相談支援事業」（7.0%）がそれに続いている。

②今後利用したいか（知的障がい者）

N=311

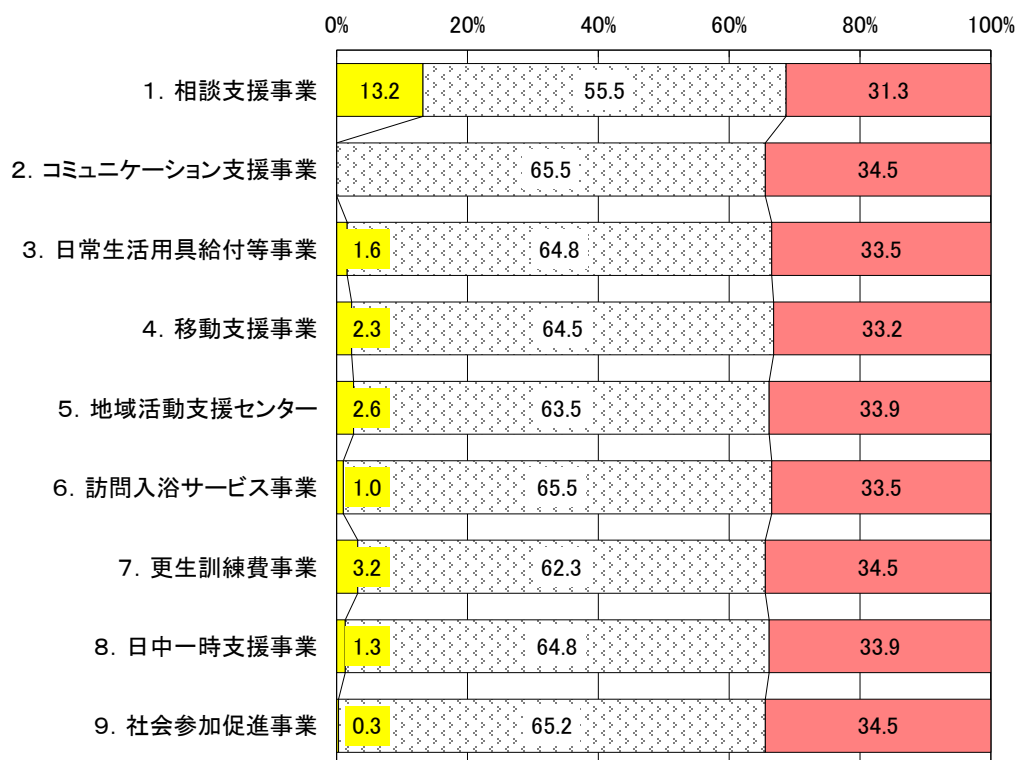
■ 利用したい □ 利用しない ■ 無回答


- 知的障がい者について見ると、今後「利用したい」という回答割合が最も高かったのは「相談支援事業」(38.3%)で、以下、「移動支援事業」(26.4%)、「日中一時支援事業」(23.5%)と続いている。

①現在利用しているか（精神障がい者）

N=310

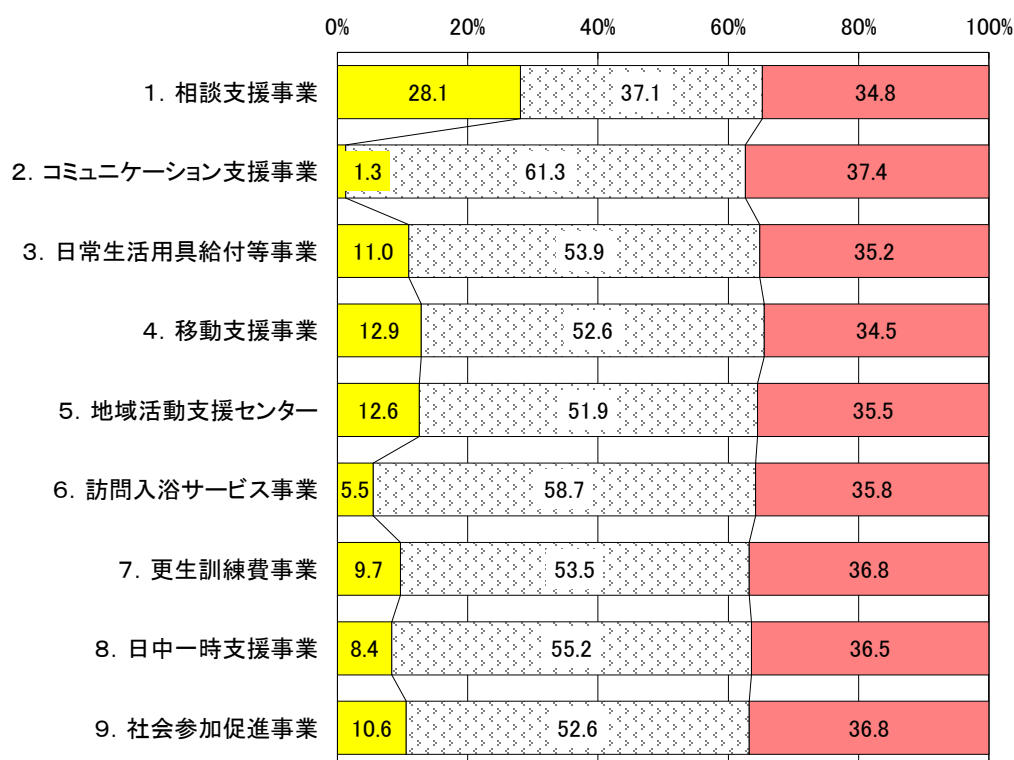
■ 利用している ■ 利用していない ■ 無回答



- 精神障がい者について見ると、現在「利用している」という回答割合が最も高かったのは「相談支援事業」(13.2%)で、「更生訓練費事業」(3.2%)がそれに続いている。

②今後利用したいか（精神障がい者）

N=310

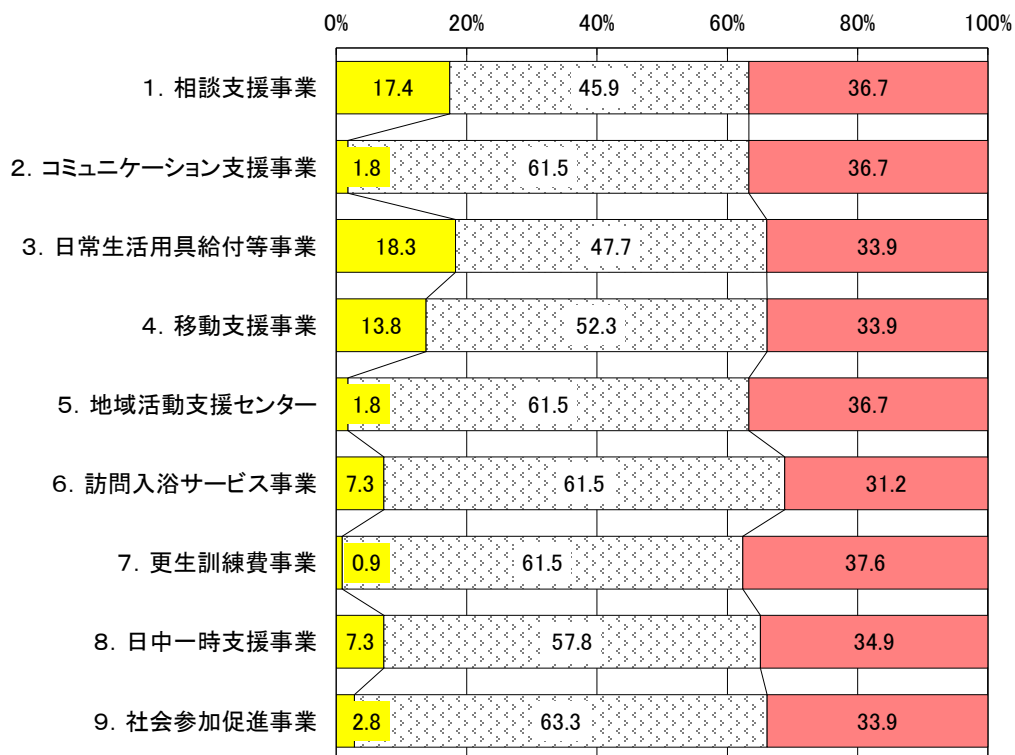
 利用したい
 利用しない
 無回答


- 精神障がい者について見ると、今後「利用したい」という回答割合が最も高かったのは「相談支援事業」（28.1%）で、以下、「移動支援事業」（12.9%）、「地域活動支援センター」（12.6%）と続いている。

①現在利用しているか（重症心身障がい者）

N=109

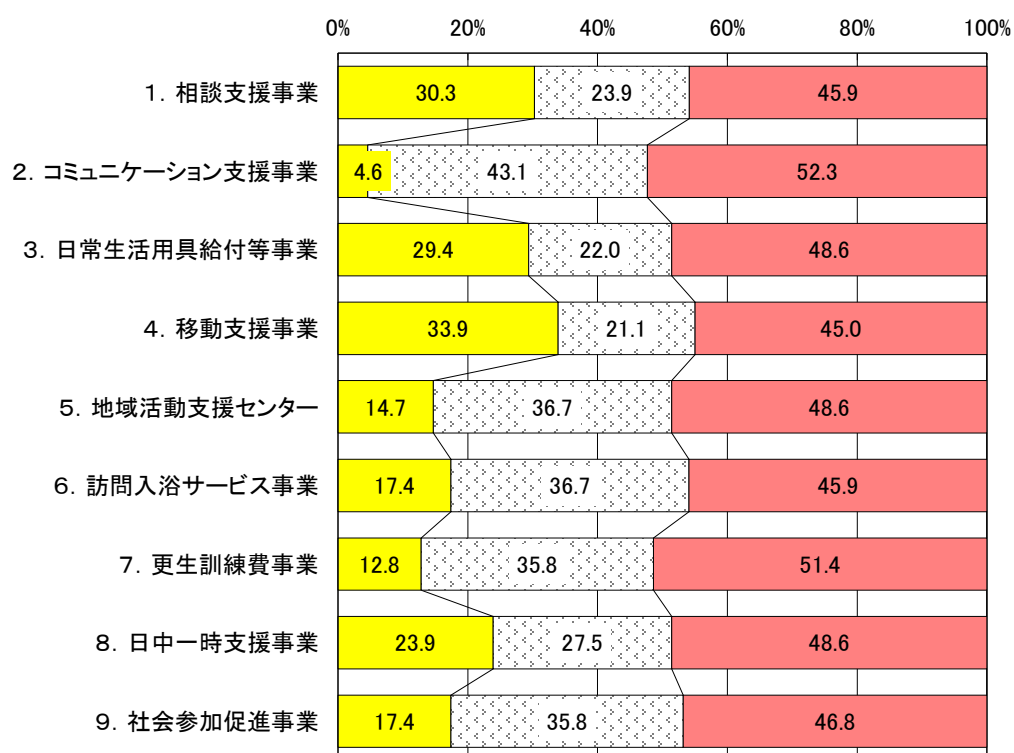
■ 利用している □ 利用していない ■ 無回答



- 重症心身障がい者について見ると、現在「利用している」という回答割合が最も高かったのは「日常生活用具給付等事業」（18.3%）で、「相談支援事業」（17.4%）がそれに続いている。

②今後利用したいか（重症心身障がい者）

N=109

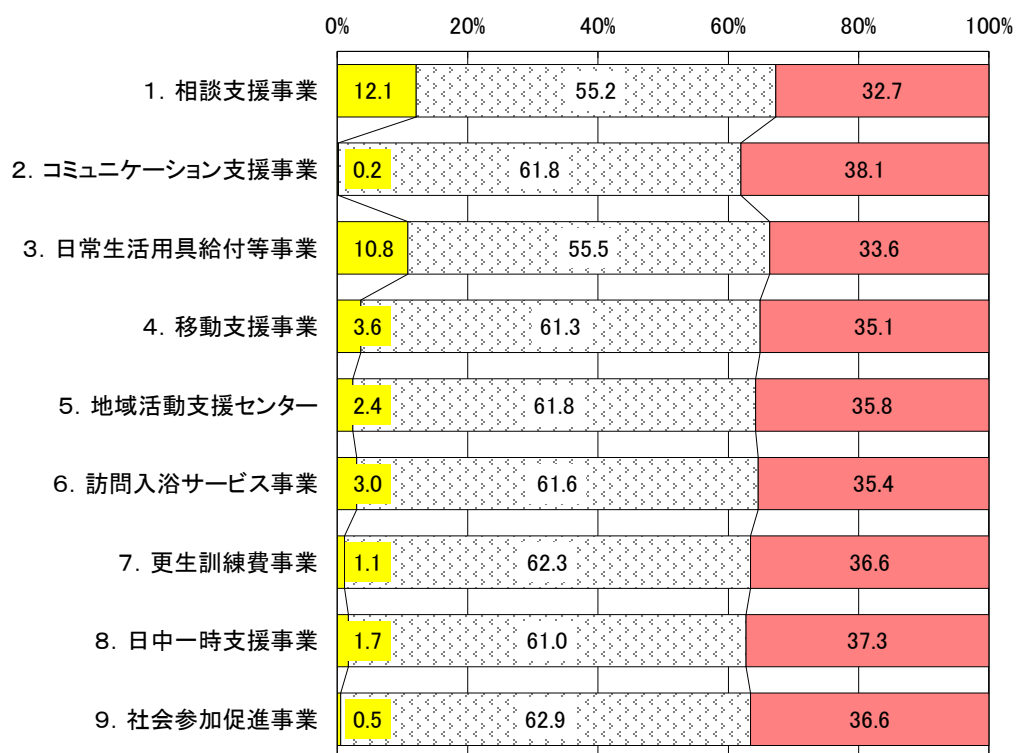
■ 利用したい ■ 利用しない ■ 無回答


- 重症心身障がい者について見ると、今後「利用したい」という回答割合が最も高かったのは「移動支援事業」(33.9%)で、以下、「相談支援事業」(30.3%)、「日常生活用具給付等事業」(29.4%)と続いている。

①現在利用しているか（医療的ケア必要者）

N=636

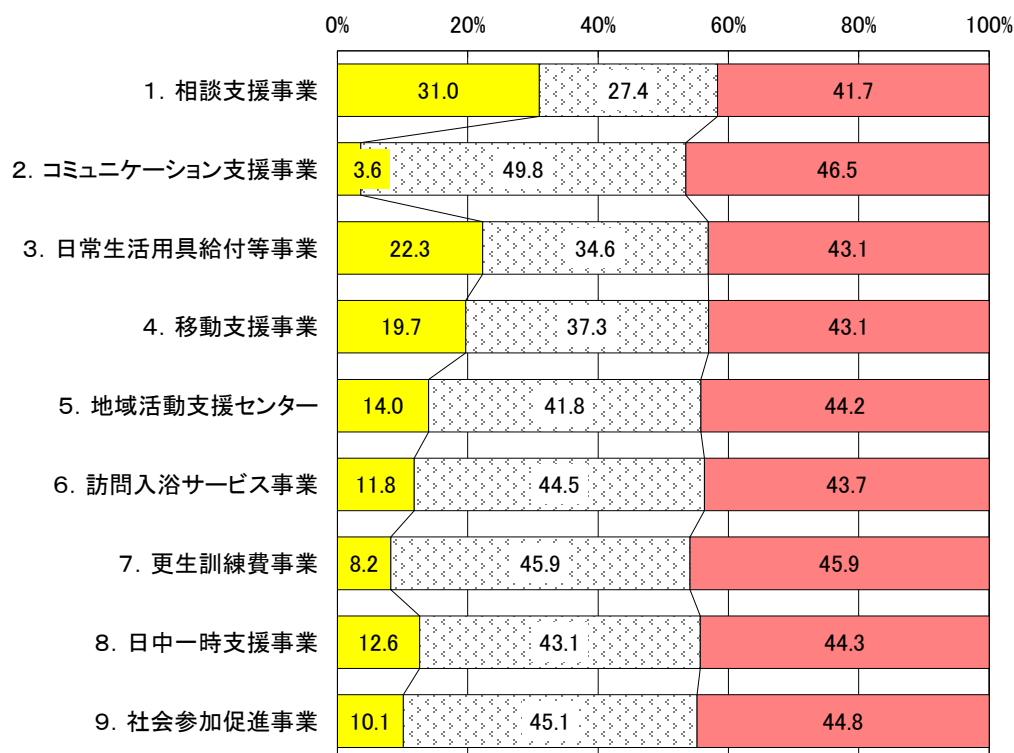
■ 利用している □ 利用していない ■ 無回答



- 医療的ケア必要者について見ると、現在「利用している」という回答割合が最も高かったのは「相談支援事業」（12.1%）で、「日常生活用具給付等事業」（10.8%）がそれに続いている。

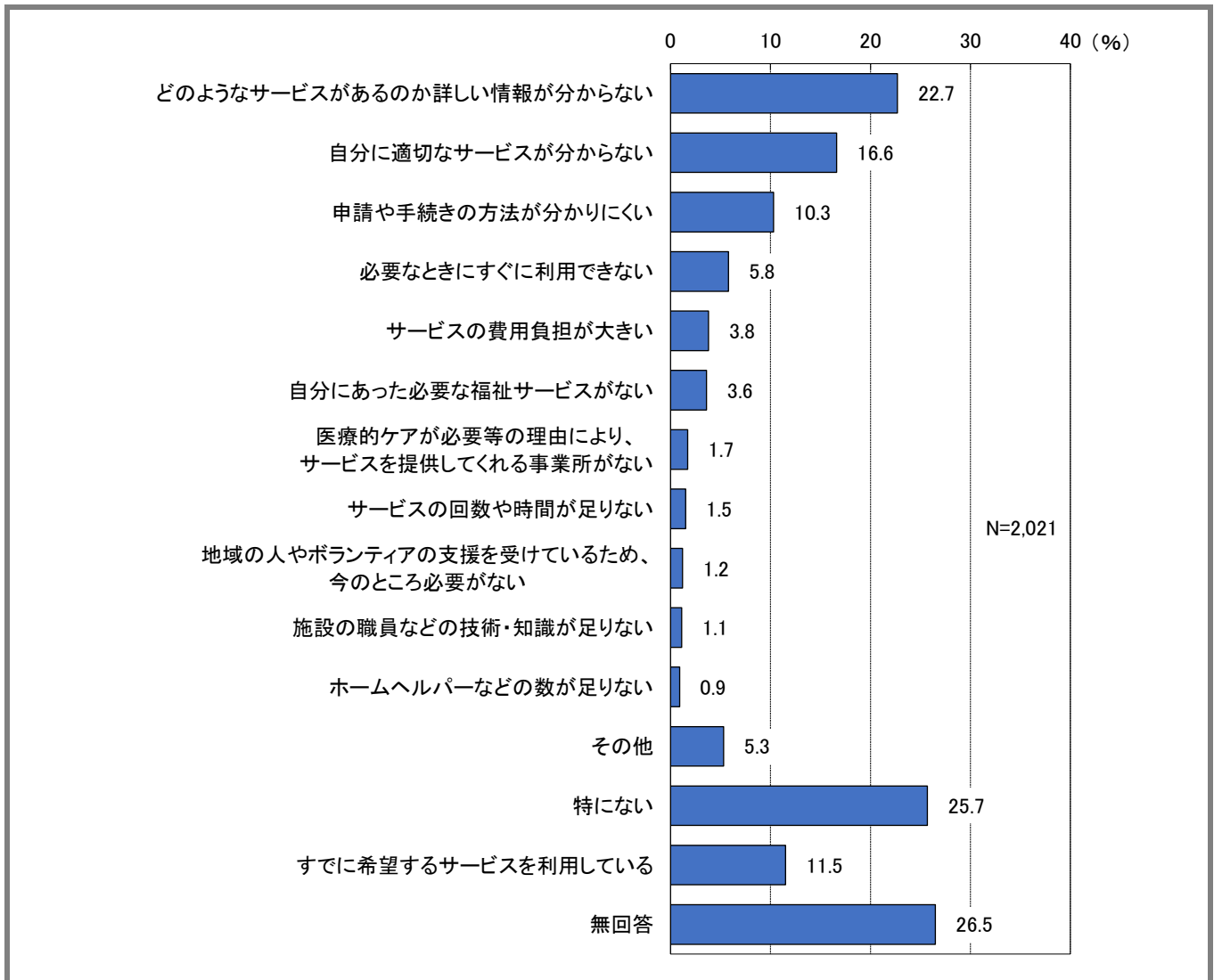
②今後利用したいか（医療的ケア必要者）

N=636

 利用したい 利用しない 無回答


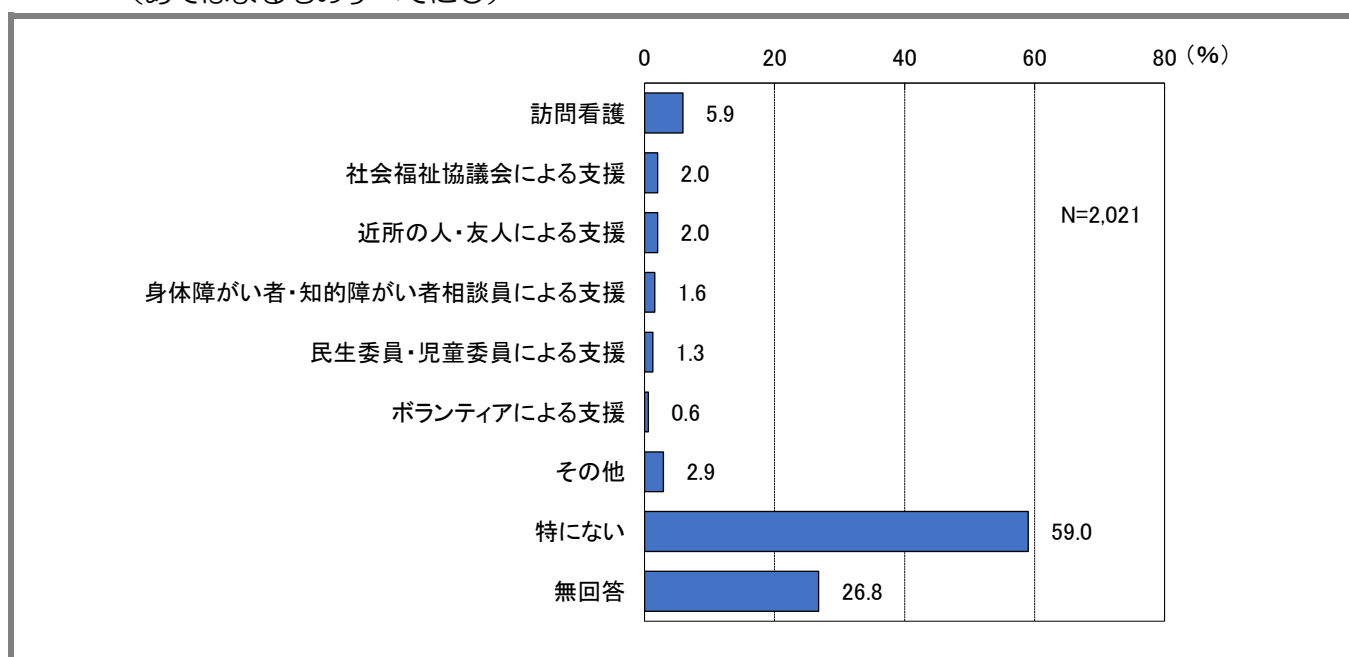
- 医療的ケア必要者について見ると、今後「利用したい」という回答割合が最も高かったのは「相談支援事業」(31.0%)で、以下、「日常生活用具給付等事業」(22.3%)、「移動支援事業」(19.7%)と続いている。

問 14 障がい福祉サービスを利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)



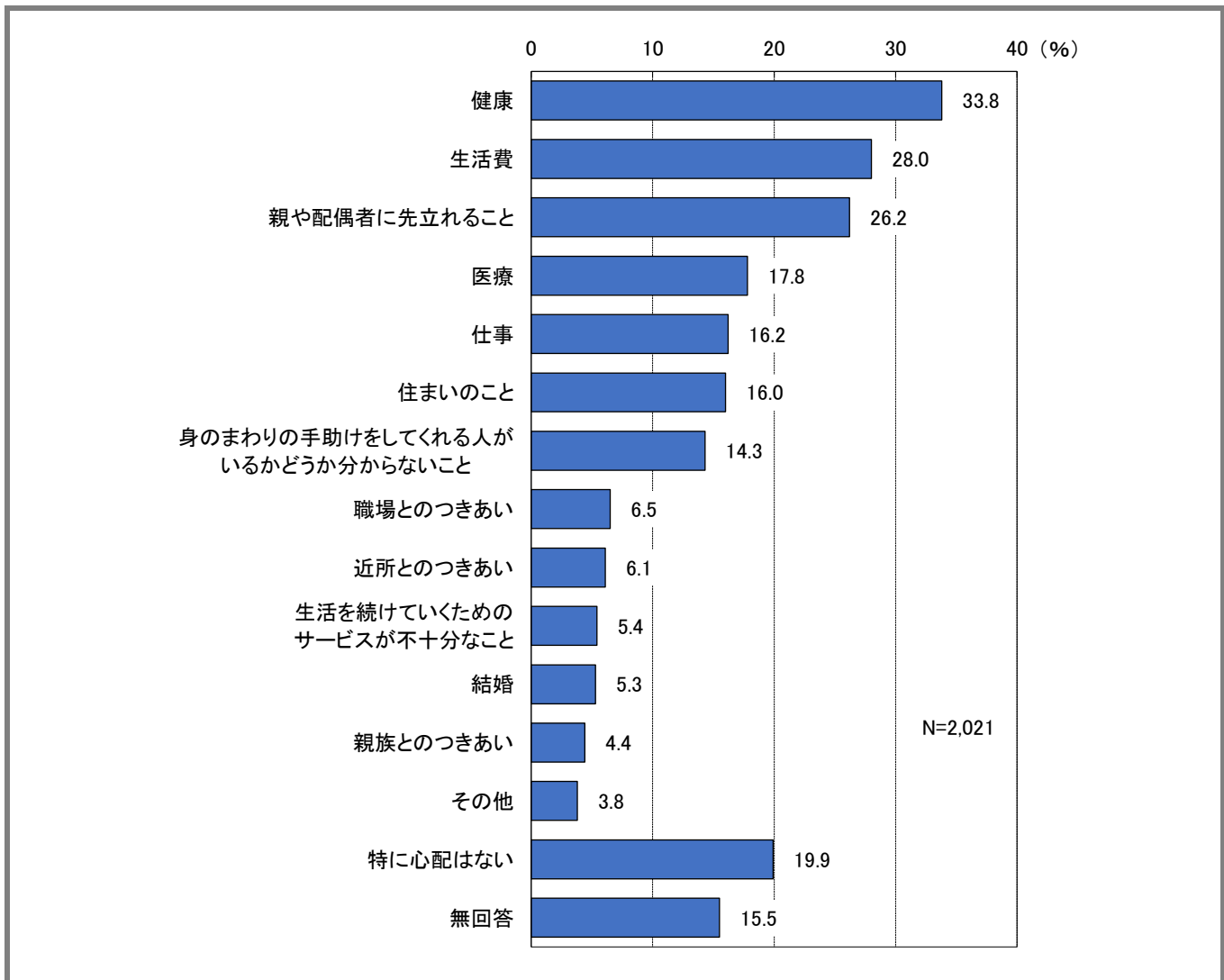
- 障がい福祉サービスを利用していない理由としては、「どのようなサービスがあるのか詳しい情報が分からない」という回答が22.7%と最も多く、次いで、「自分に適切なサービスが分からない」が16.6%、「申請や手続きの方法が分かりにくい」が10.3%となっている。

問 15 障がい福祉サービス以外で受けているサービスや支援はありますか。
(あてはまるものすべてに○)



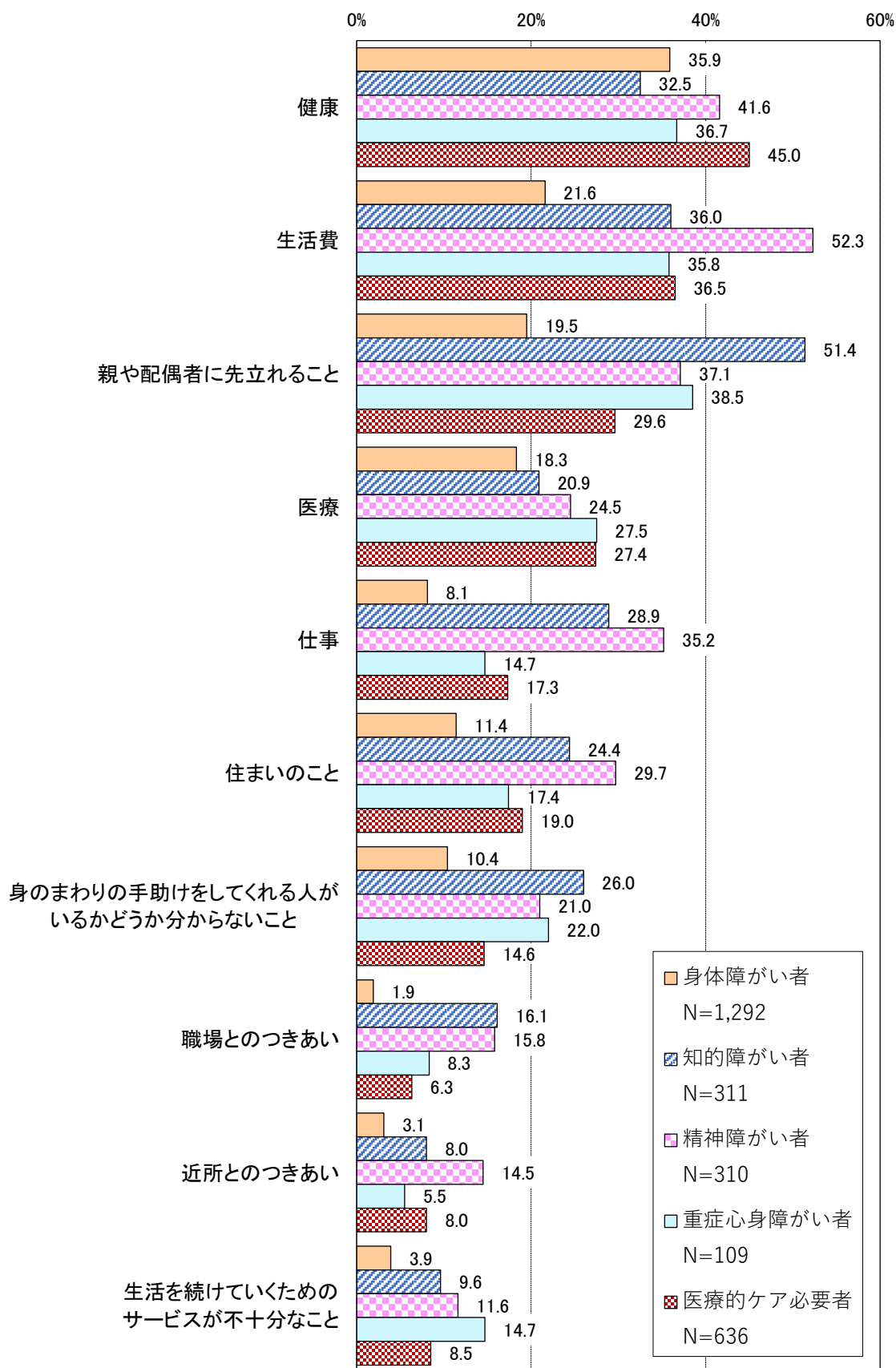
- 障がい福祉サービス以外で受けているサービスや支援は「特にない」と回答した人は全体の59.0%で、これと無回答(26.8%)を除く14.2%が何らかのサービスや支援を受けているという結果となっている。

問 16 あなたが暮らしていくなかで、特に心配なことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

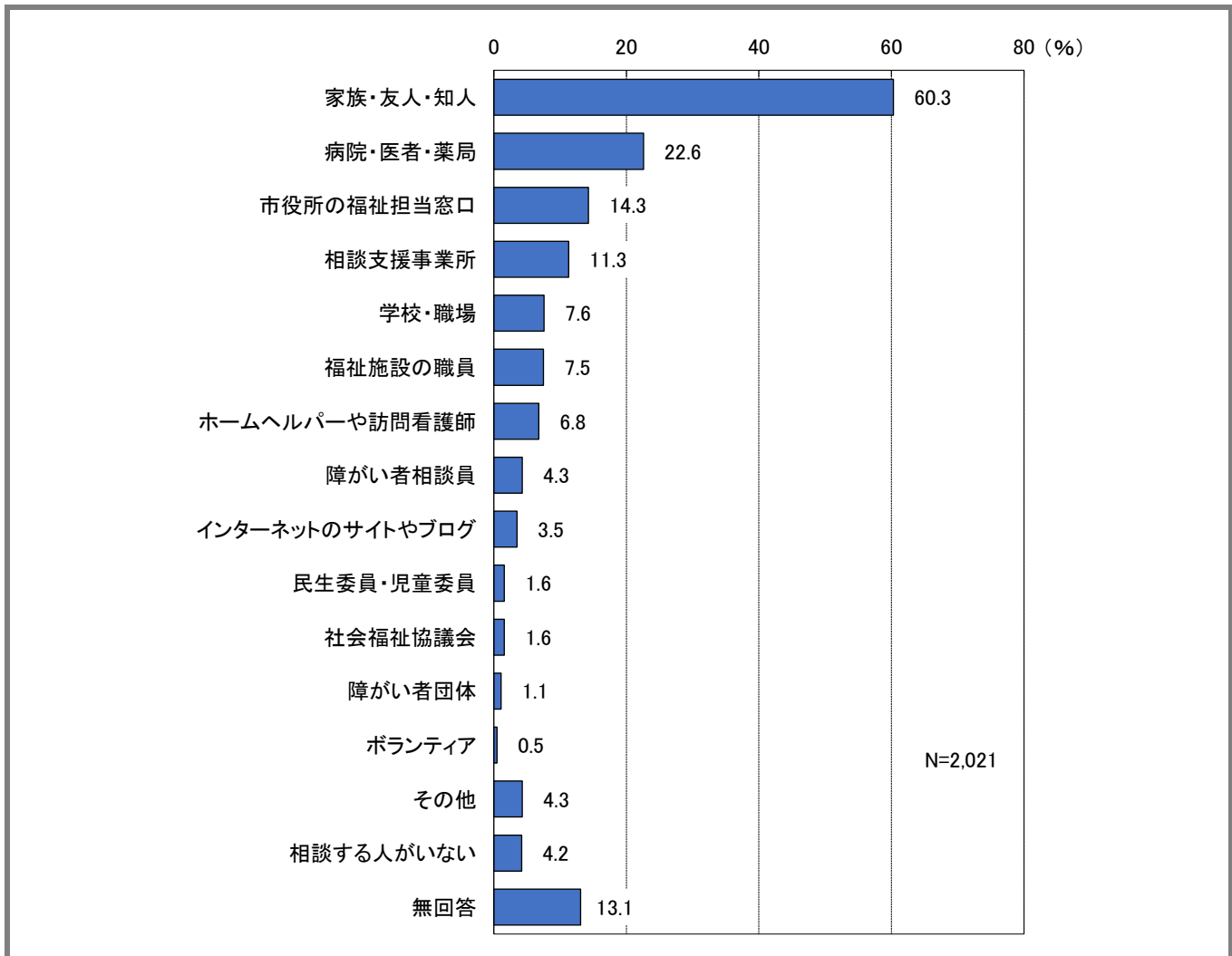


- 暮らしていくなかで特に心配なこととしては、「健康」という回答が全体の 33.8%と最も多く、以下、「生活費」(28.0%)、「親や配偶者に先立てられること」(26.2%)、「医療」(17.8%)、「仕事」(16.2%)、「住まいのこと」(16.0%)、「身のまわりの手助けをしてくれる人がいるかどうか分からないこと」(14.3%)と続いている。
- 障がい属性別に見ると、身体障がい者と医療的ケア必要者では「健康」(身体：35.9%、医療的ケア：45.0%)、知的障がい者と重症心身障がい者では「親や配偶者に先立てられること」(知的：51.4%、重症心身：38.5%)、精神障がい者では「生活費」(52.3%)がそれぞれ最も高い割合となっている(次ページ参照)。

【属性別クロス集計結果】

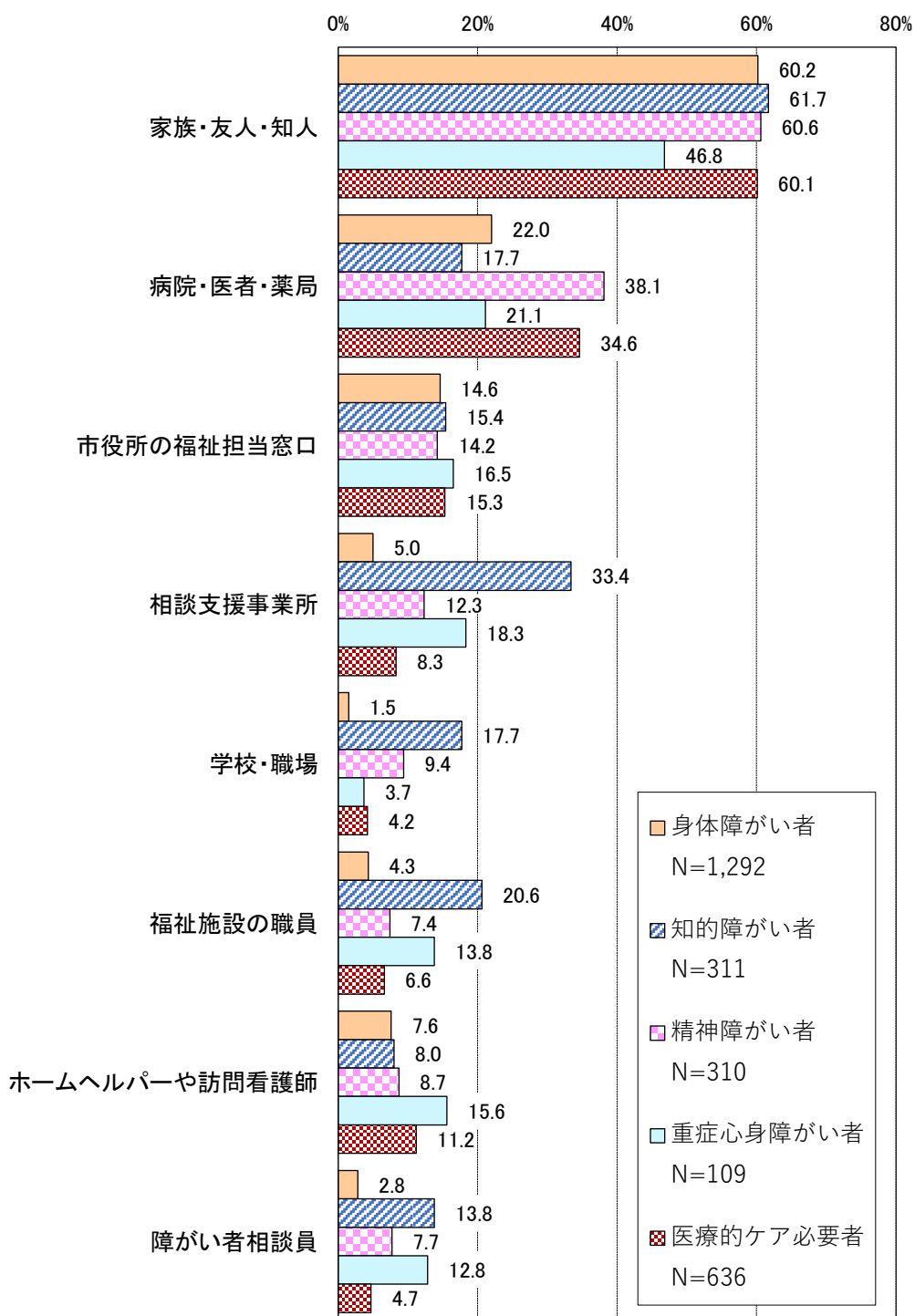


問17 困ったときなどにいつも相談する相手は誰ですか。(あてはまるものすべてに○)

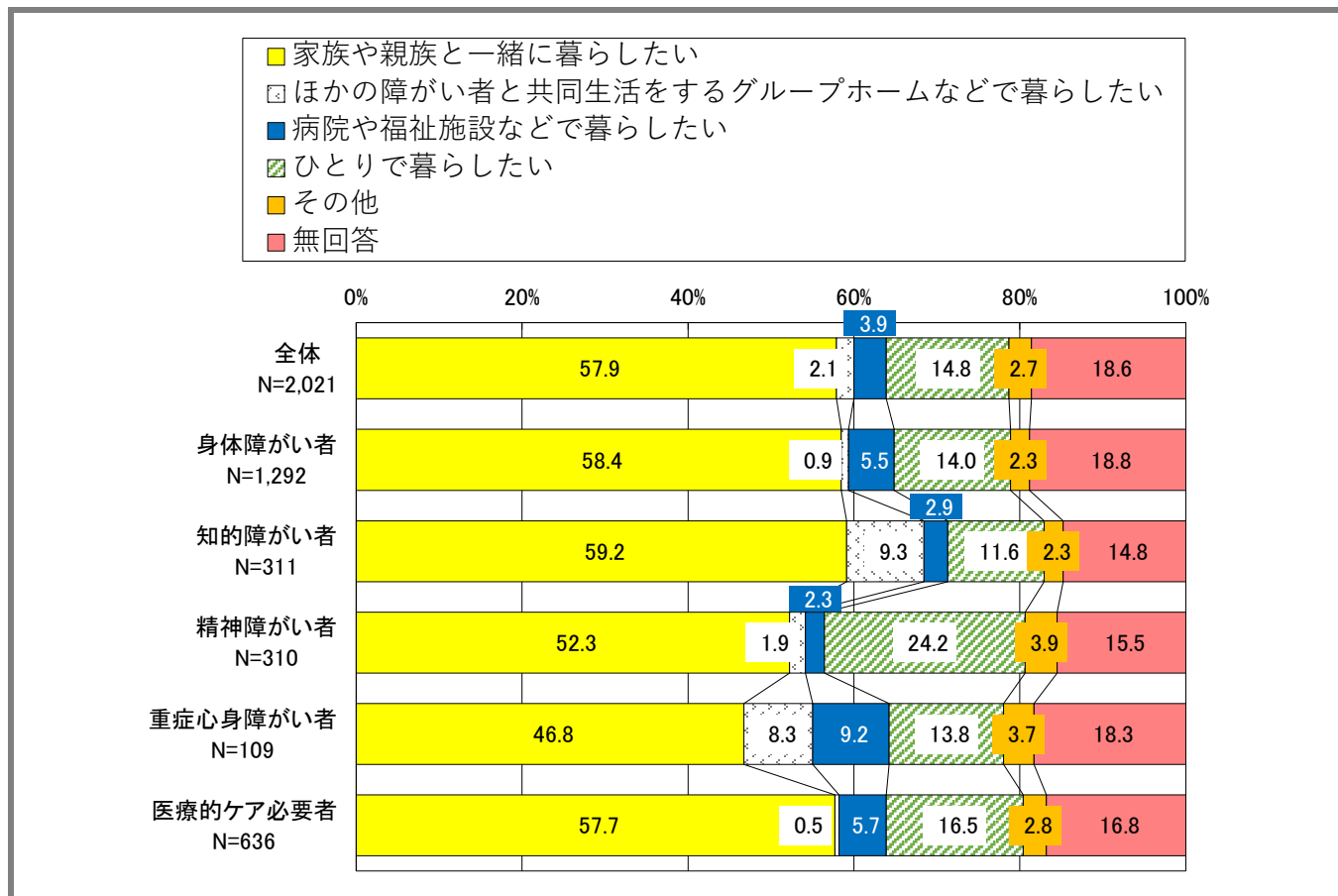


- 困った時の相談相手については、「家族・友人・知人」という回答が全体の 60.3%と最も多く、以下、「病院・医者・薬局」(22.6%)、「市役所の福祉担当窓口」(14.3%)、「相談支援事業所」(11.3%)と続いている。
- 障がい属性別に見ても、最上位の「家族・友人・知人」は変わらないが、精神障がい者と医療的ケア必要者では「病院・医者・薬局」(精神：38.1%、医療的ケア：34.6%)、知的障がい者では「相談支援事業所」(33.4%)という回答が、それぞれ第2位となっている(次ページ参照)。

【属性別クロス集計結果】



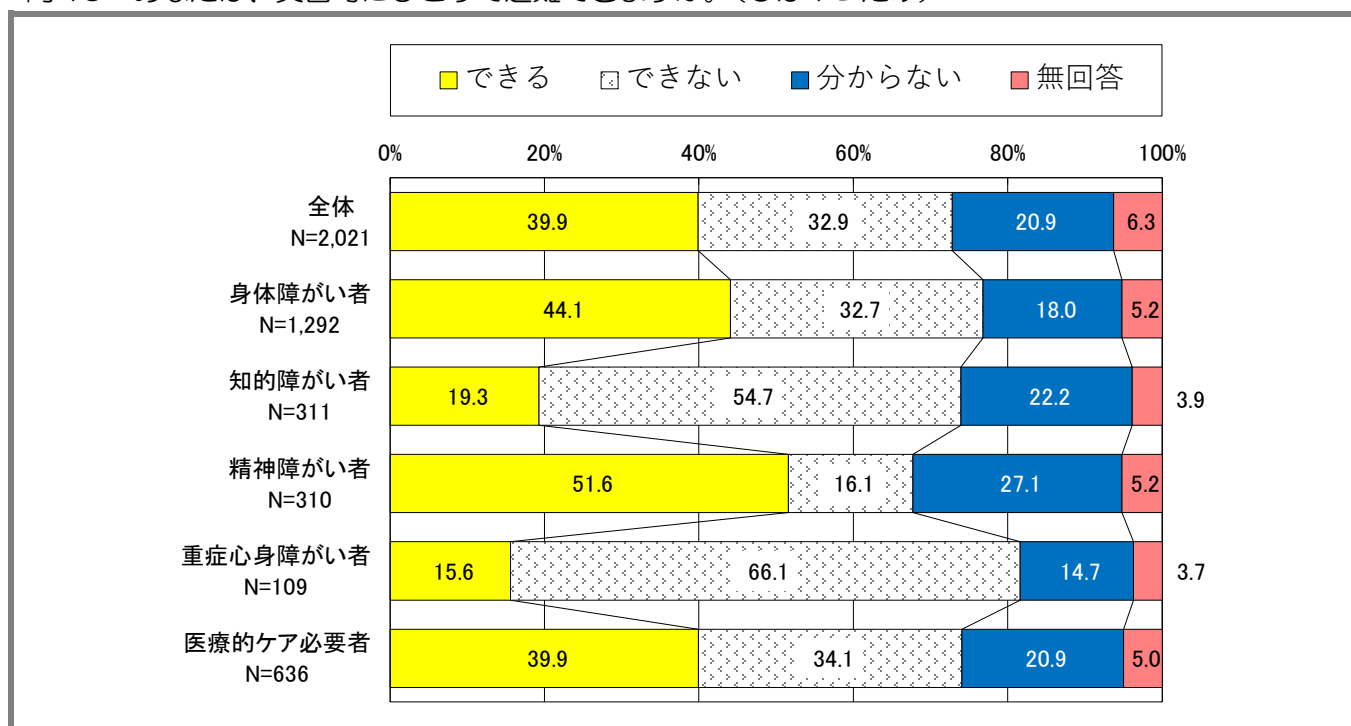
問18 あなたの希望する暮らし方はどれですか。(〇は1つだけ)



- 希望する暮らし方については、いずれの障がい種別においても「家族や親族と一緒に暮らしたい」という回答が最も多く、全体の57.9%を占めている。
- 障がい属性別に見ると、精神障がい者では「ひとりで暮らしたい」という回答が24.2%と、他の障がい属性に比べ高い割合となっている。

V 災害対策について

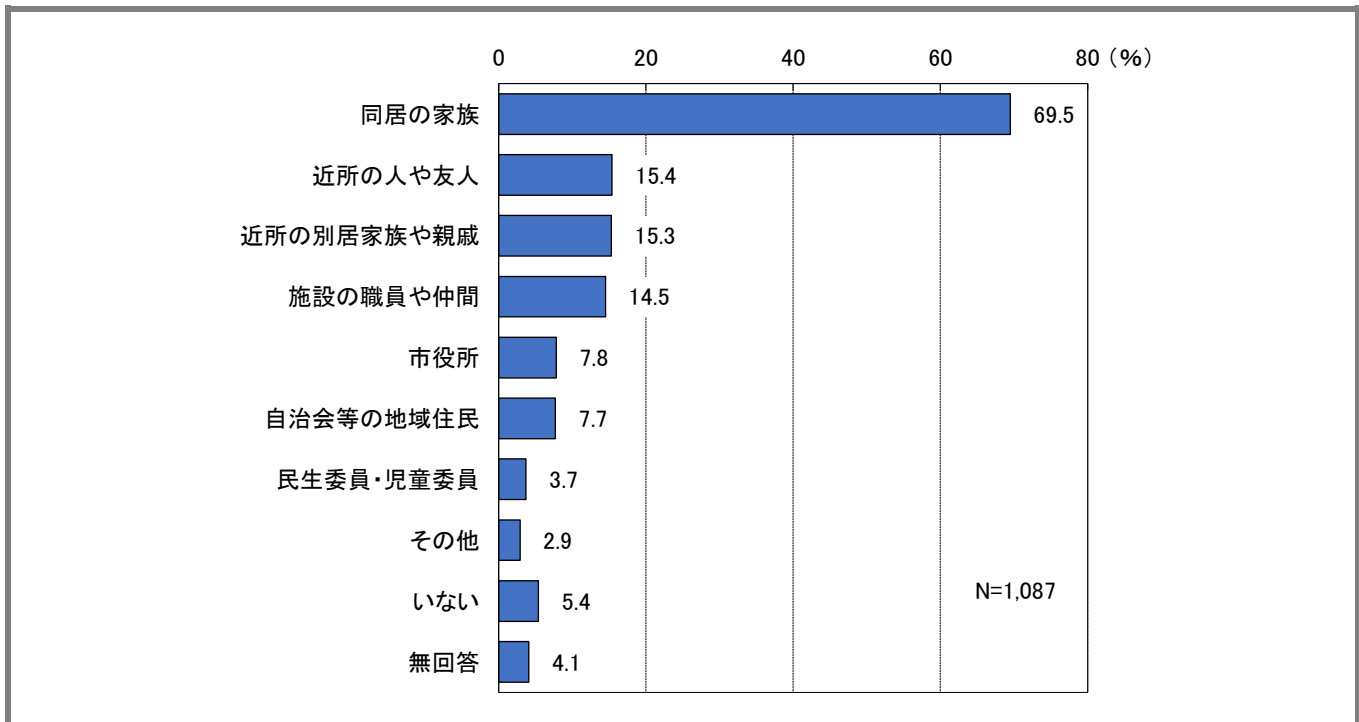
問 19 あなたは、災害時にひとりで避難できますか。(〇は1つだけ)



- 災害時にひとりで避難「できる」と回答した人は全体の 39.9%で、障がい属性別に見ると、他の属性に比べ、知的障がい者 (19.3%) と重症心身障がい者 (15.6%) の割合が低くなっている。

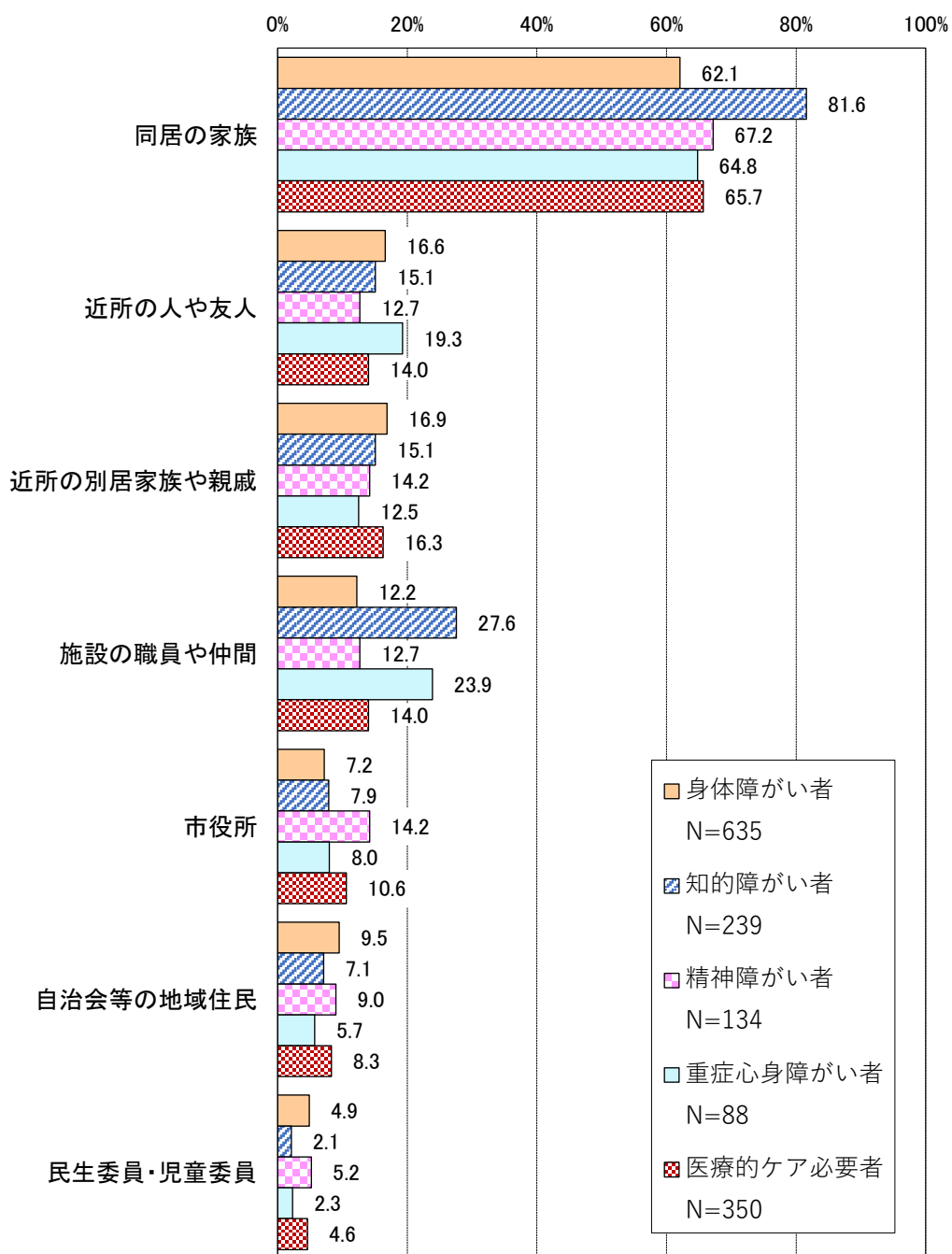
【問19で「2. できない」または「3. 分からない」に○をつけた人のみお答えください】

問19-1 災害が起きて避難する場合、誰に支援をお願いしたいですか。(あてはまるものすべてに○)

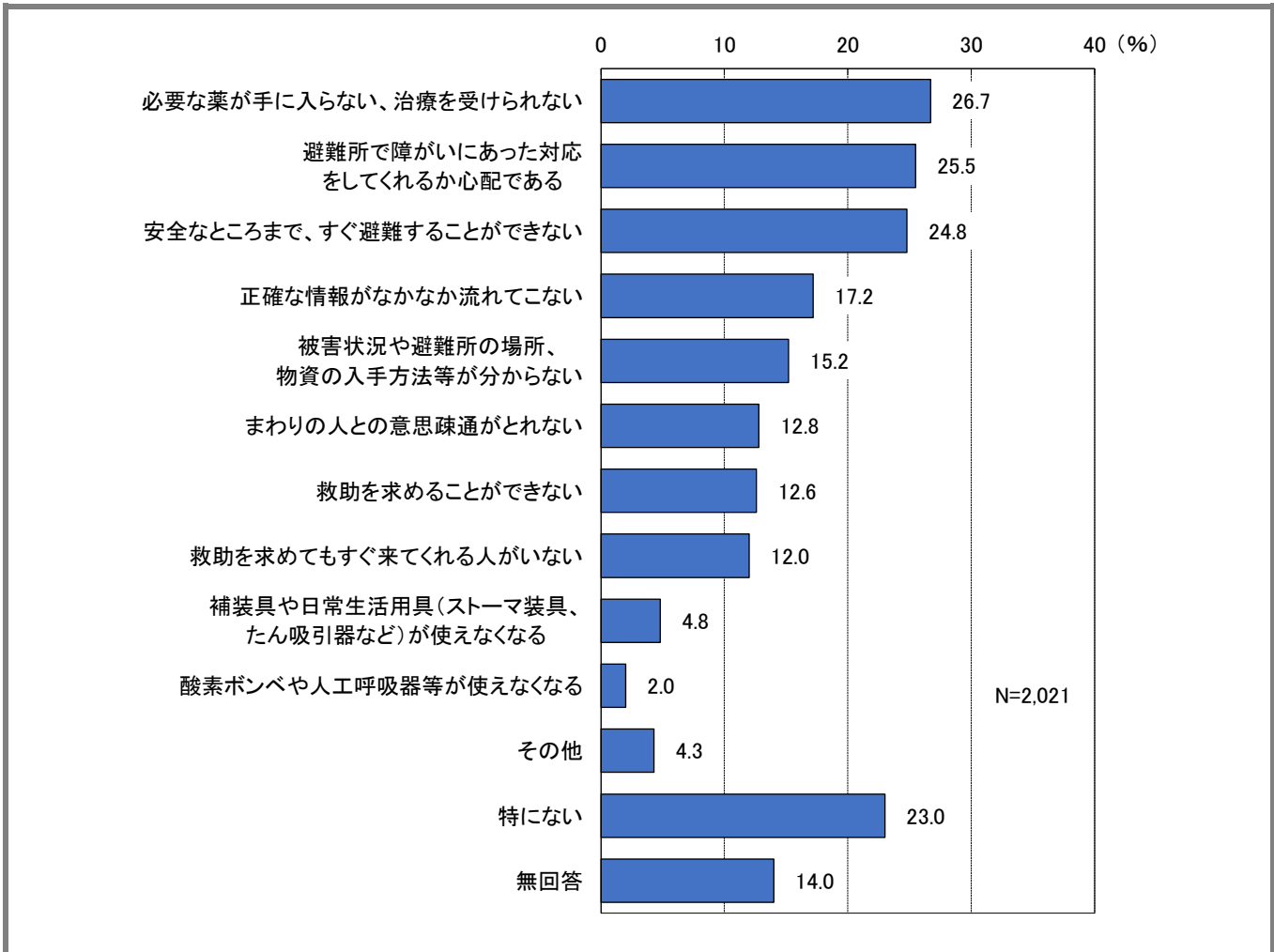


- 問19で災害時にひとりで避難が「できない」「(できるかどうか) わからない」と回答した人に、避難する際に誰に支援をお願いしたいか尋ねたところ、「同居の家族」という回答割合が全体の69.5%と最も高く、以下、「近所の人や友人」(15.4%)、「近所の別居家族や親戚」(15.3%)、「施設の職員や仲間」(14.5%)と続いている。
- 障がい属性別に見ると、知的障がい者と重症心身障がい者については、他の属性に比べ「施設の職員や仲間」という回答割合が高くなっている(次ページのグラフ参照)。

【属性別クロス集計結果】

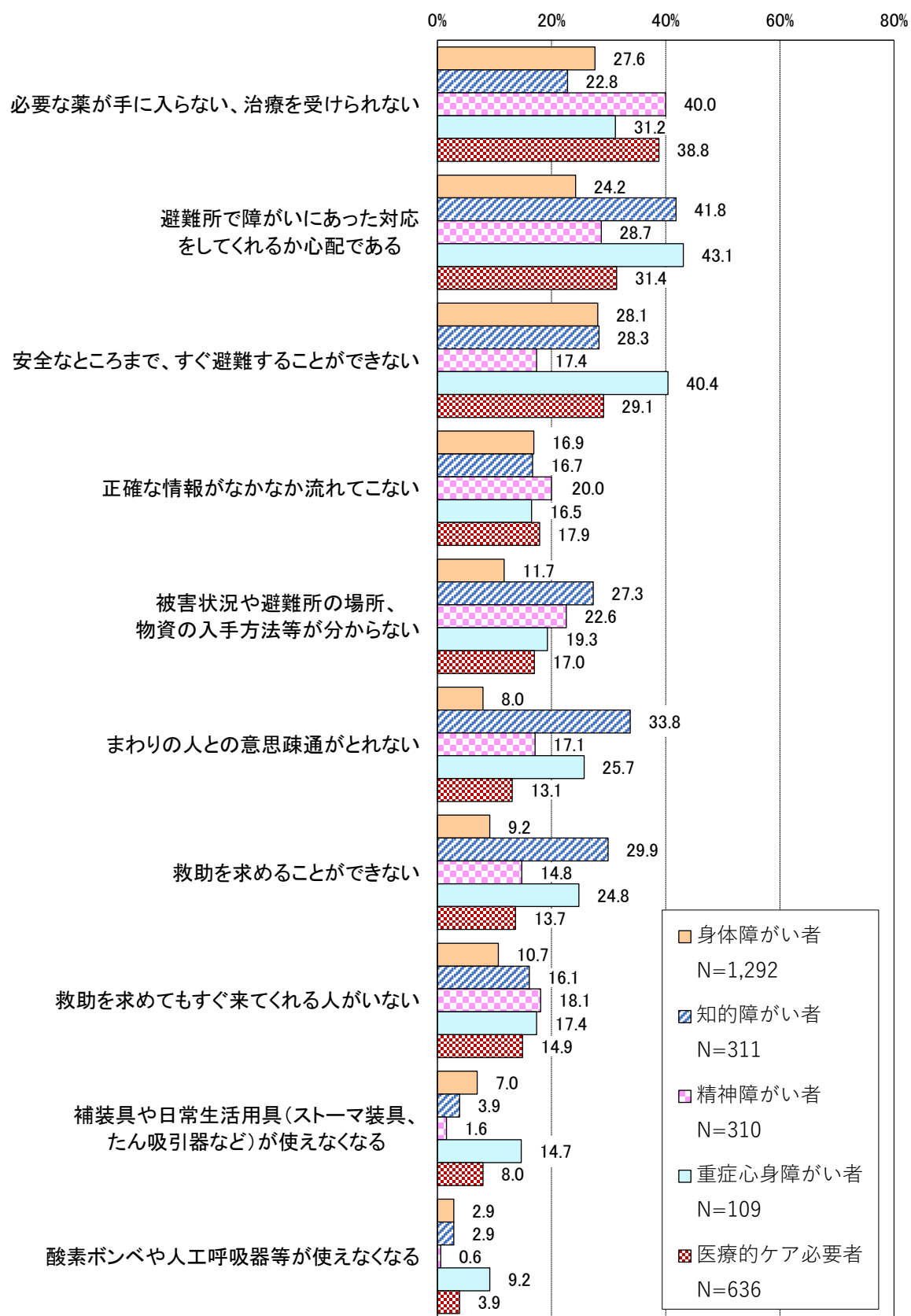


問20 地震や台風等の大きな災害が起きた場合、どのようなことが心配ですか。
(あてはまるものすべてに○)

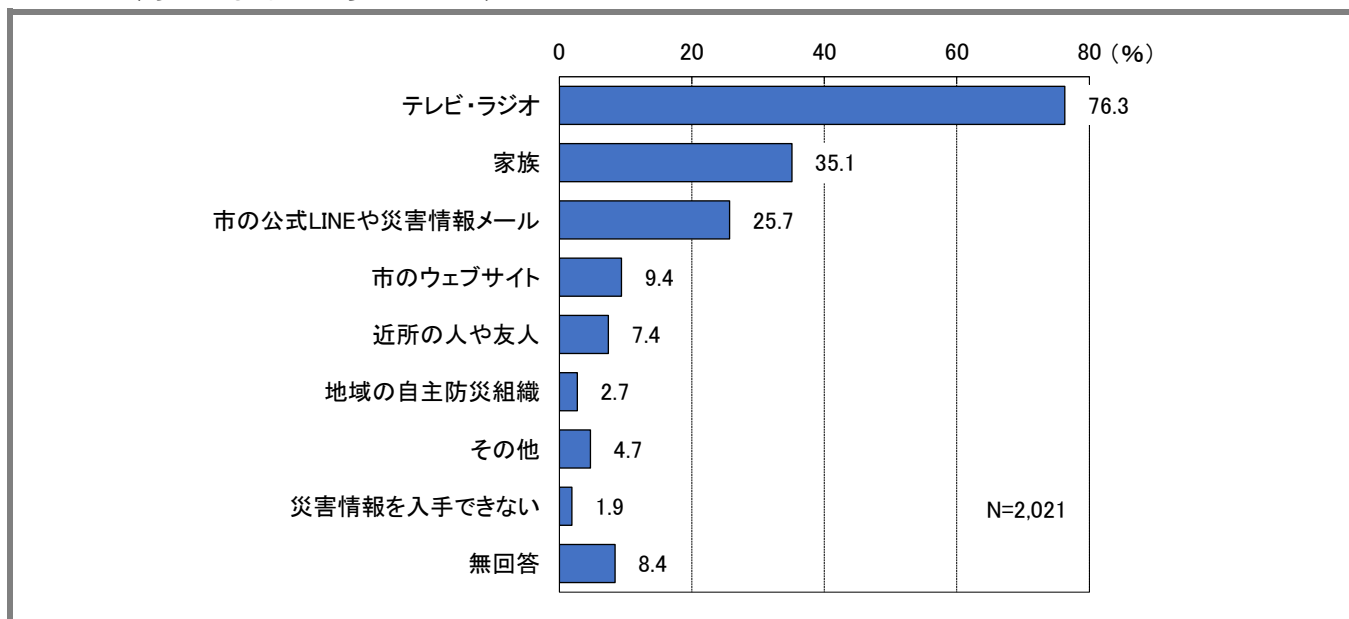


- 地震や台風等の大きな災害が起きた場合の心配ごとについては、「必要な薬が手に入らない、治療を受けられない」が全体の26.7%と最も多く、以下、「避難所で障がいにあった対応をしてくれるか心配である」(25.5%)、「安全なところまで、すぐ避難することができない」(24.8%)と続いている。
- 障がい属性別に見ると、身体障がい者については「安全なところまで、すぐ避難することができない」(28.1%)、知的障がい者と重症心身障がい者については、「避難所で障がいにあった対応をしてくれるか心配である」(知的：41.8%、重症心身：43.1%)、精神障がい者と医療的ケア必要者については「必要な薬が手に入らない、治療を受けられない」(精神：40.0%、医療的ケア：38.8%)がそれぞれ最も回答割合が高くなっている(次ページ参照)。

【属性別クロス集計結果】

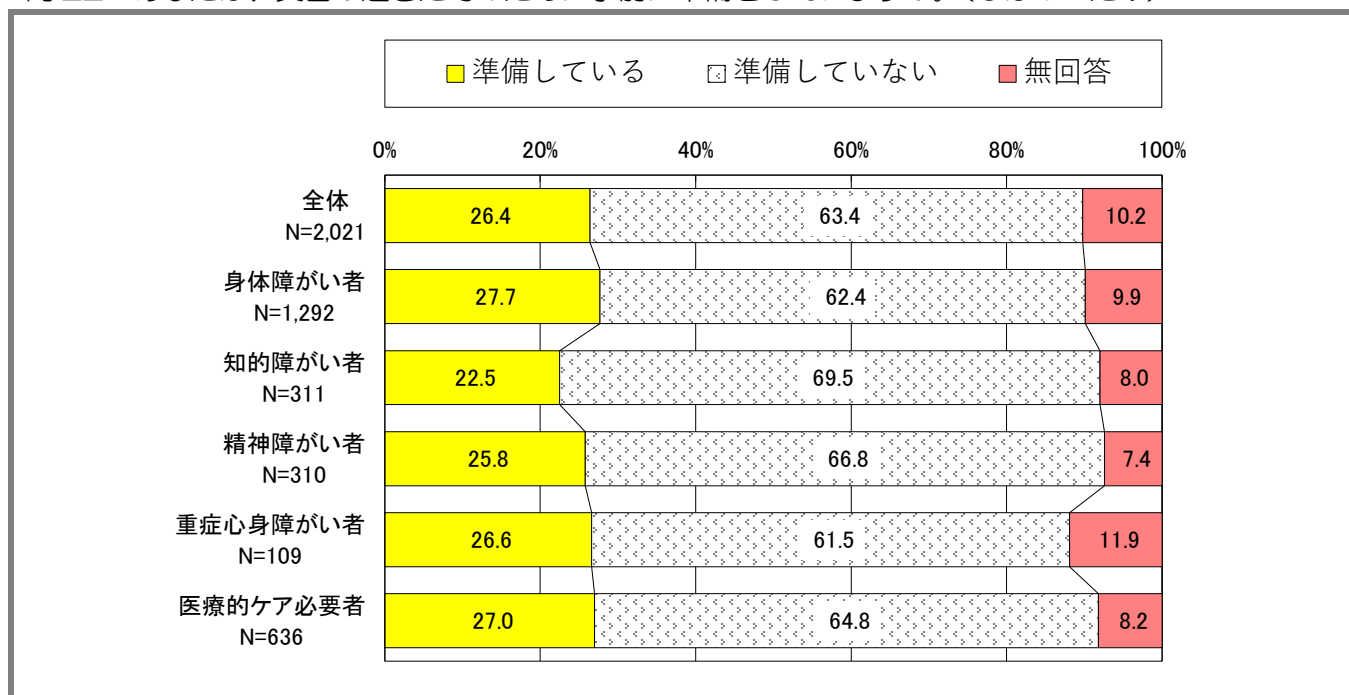


問21 あなたは、災害情報や避難情報をどのような手段で入手していますか。
(あてはまるものすべてに○)



- 災害情報や避難情報の入手先については、「テレビ・ラジオ」が全体の 76.3%と最も多く、「家族」が 35.1%、「市の公式 LINE や災害情報メール」が 25.7%でそれに続いている。

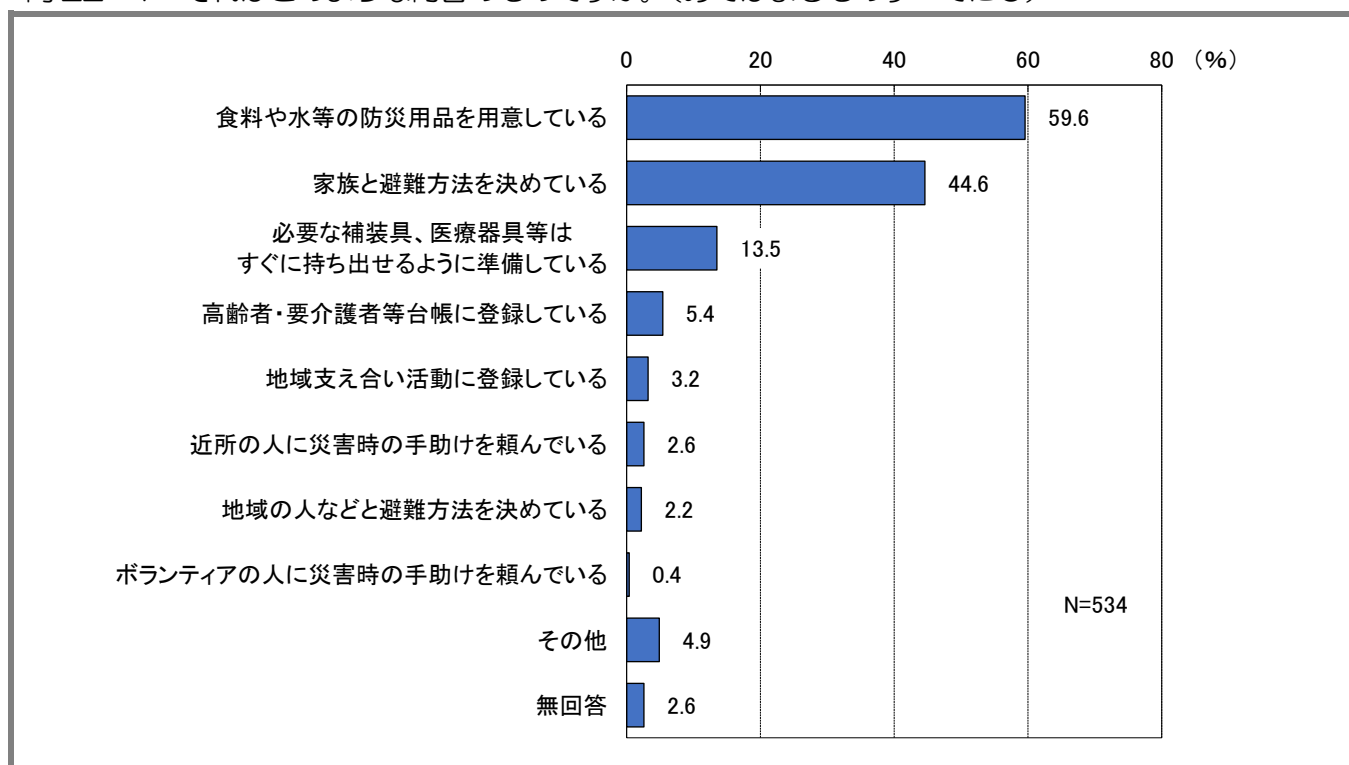
問 22 あなたは、災害が起きた時のために事前に準備をしていますか。(〇は1つだけ)



● 災害が起きた時のために「準備している」と回答した人は全体の26.4%となっている。

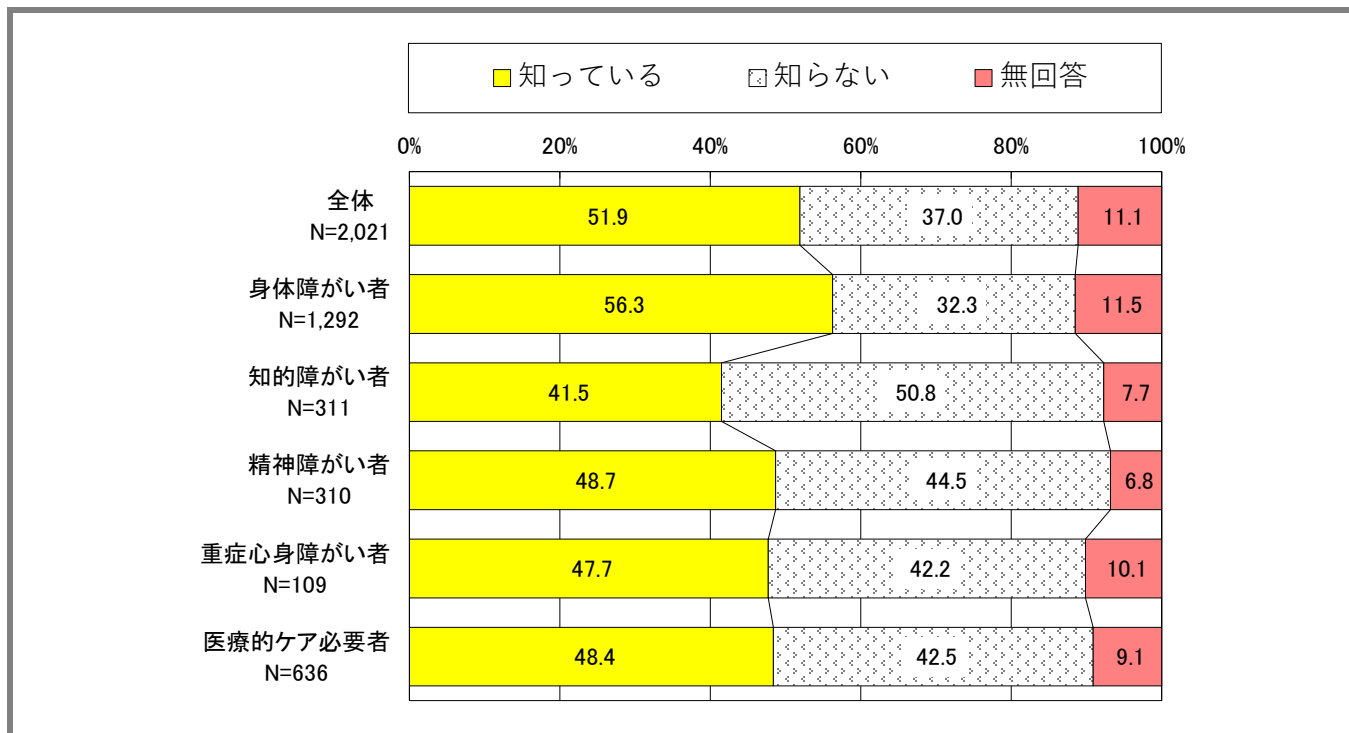
【問 22 で「1. 準備している」に〇をつけた人のみお答えください】

問 22-1 それはどのような内容のものですか。(あてはまるものすべてに〇)



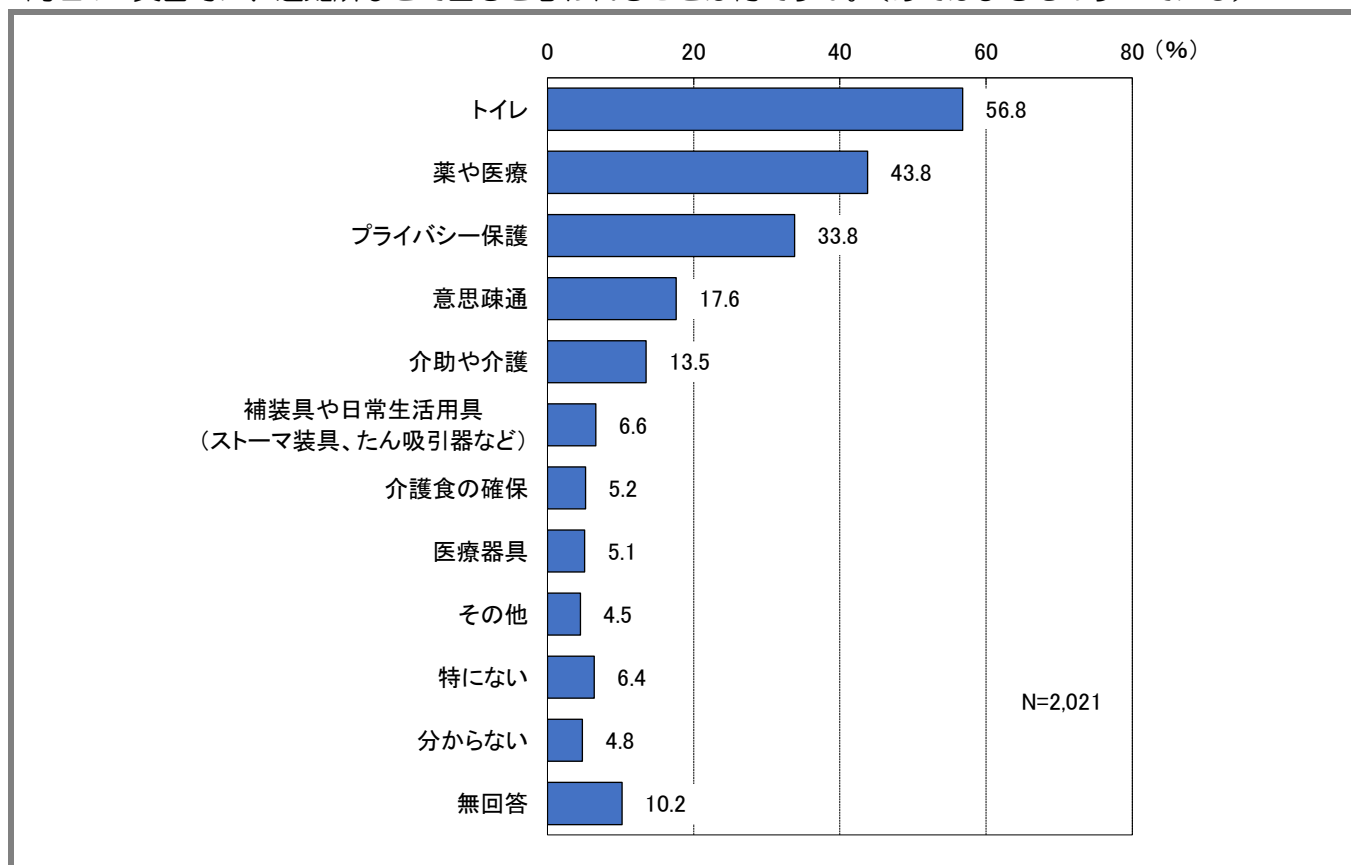
● 問 22 で災害が起きた時のために「準備している」と回答した人に、その内容を尋ねたところ、「食料や水等の防災用品を用意している」が全体の59.6%と最も多く、「家族と避難方法を決めている」が44.6%でそれに続いている。

問23 あなたは、災害時の避難先を知っていますか。(〇は1つだけ)



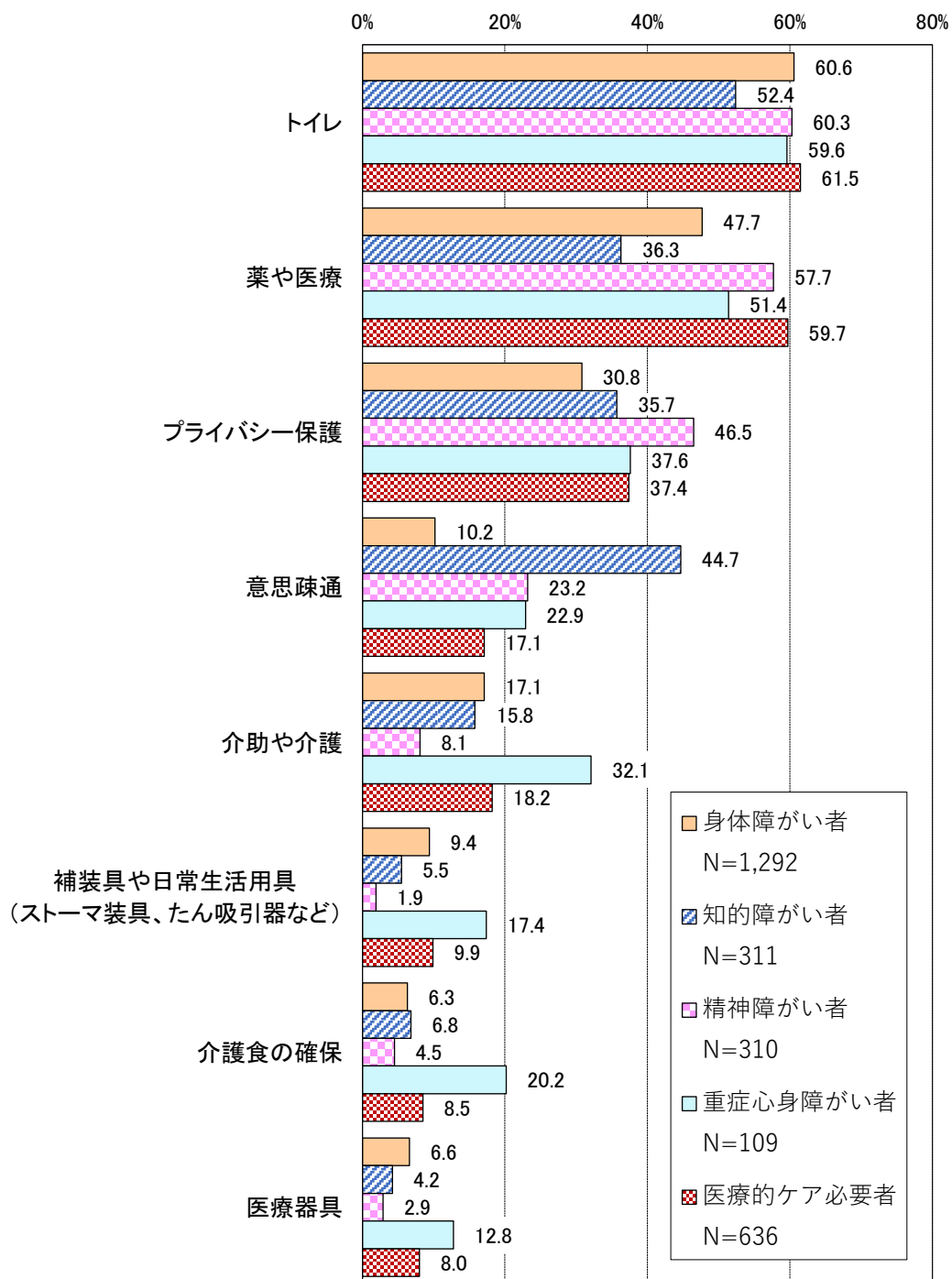
- 災害時の避難先を「知っている」と回答した人は全体の 51.9%で、障がい属性別に見ると、知的障がい者の認知度がやや低くなっている。

問24 災害時に、避難所などで困ると思われることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)



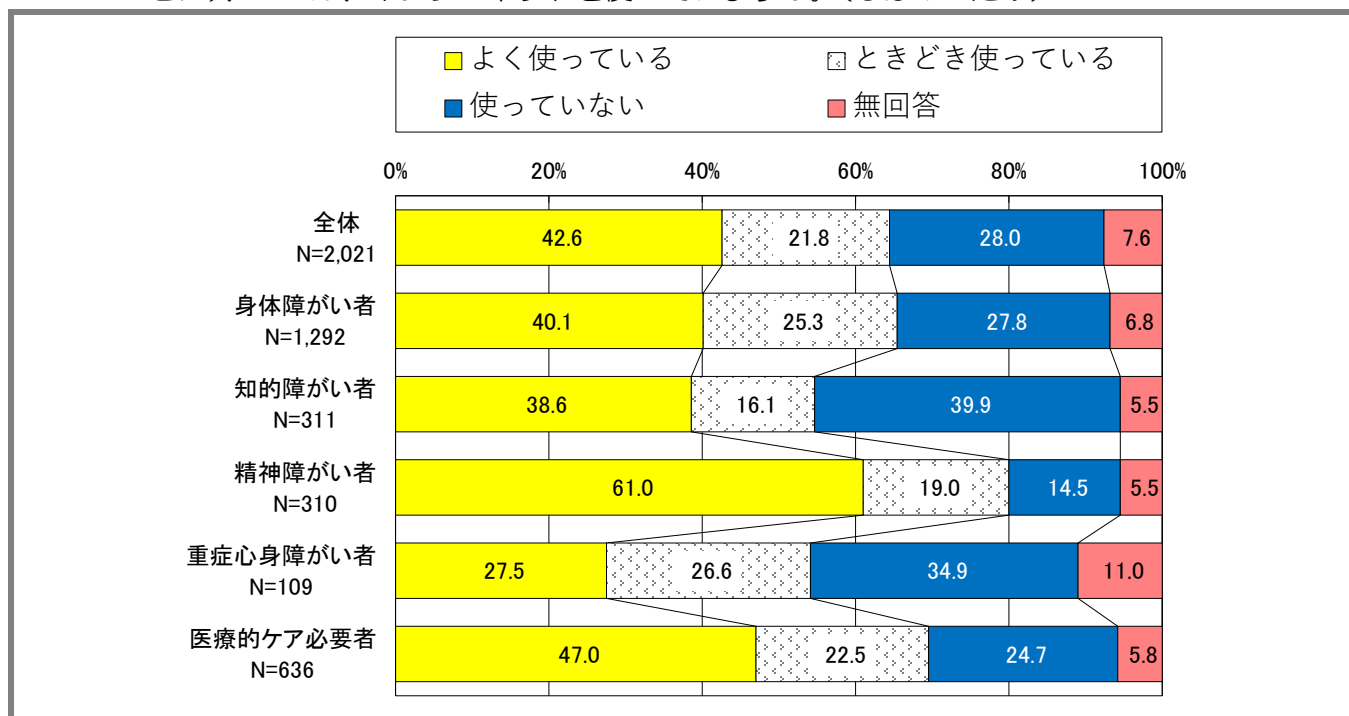
- 災害時に避難所などで困ると思われることについては、「トイレ」(56.8%)や「薬や医療」(43.8%)、「プライバシー保護」(33.8%)が上位にあがっている。
- 障がい属性別に見ると、「トイレ」と「薬や医療」はいずれの障がい種別についても上位にあがっているが、知的障がい者では「意思疎通」が44.7%と、2番目に高い割合となっている(次ページのグラフ参照)。

【属性別クロス集計結果】



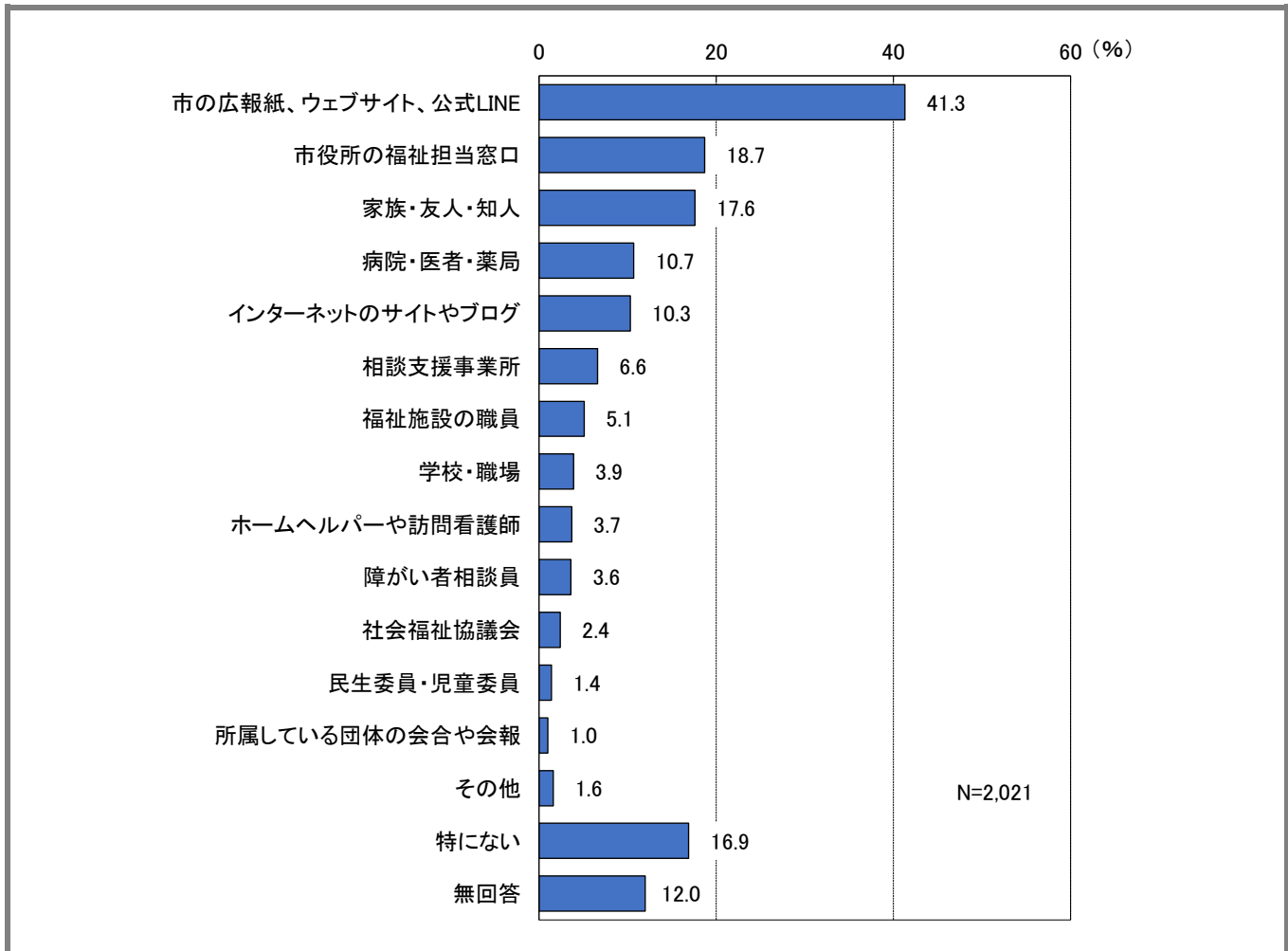
VI 情報を得ることについて

問 25 あなたはふだん、携帯電話やスマートフォン、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）、メール、インターネットを使っていますか。（〇は1つだけ）



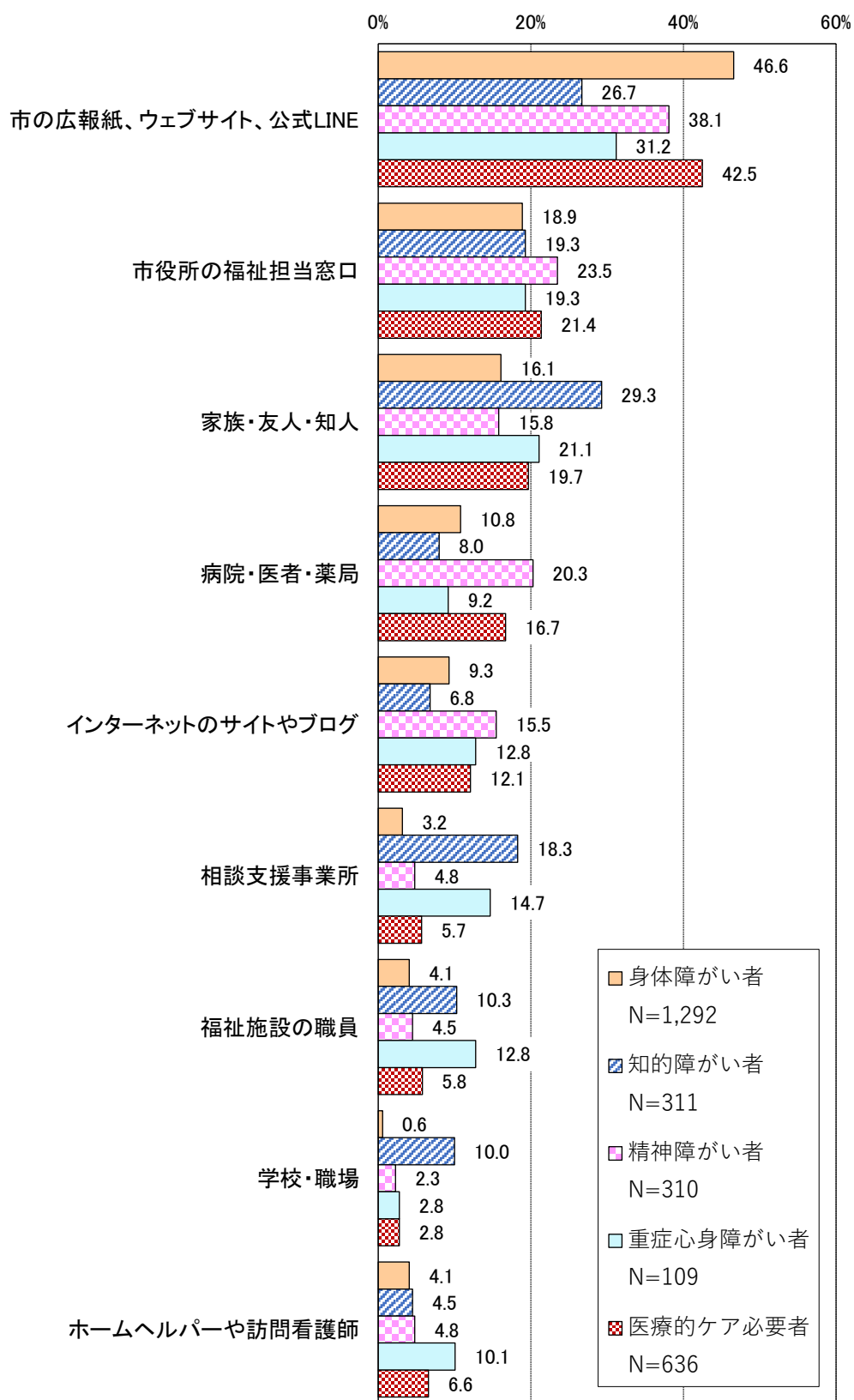
- 携帯電話やスマートフォン等を「よく使っている」「ときどき使っている」と回答した人の割合は全体の64.4%、「使っていない」と回答した人の割合(28.0%)を36.4ポイント上回っている。
- 障がい属性別に見ると、他に比べ、精神障がい者の使用率が高くなっている。

問26 市が実施しているいろいろな福祉政策についての情報は何で知りますか。
 (あてはまるものすべてに○)

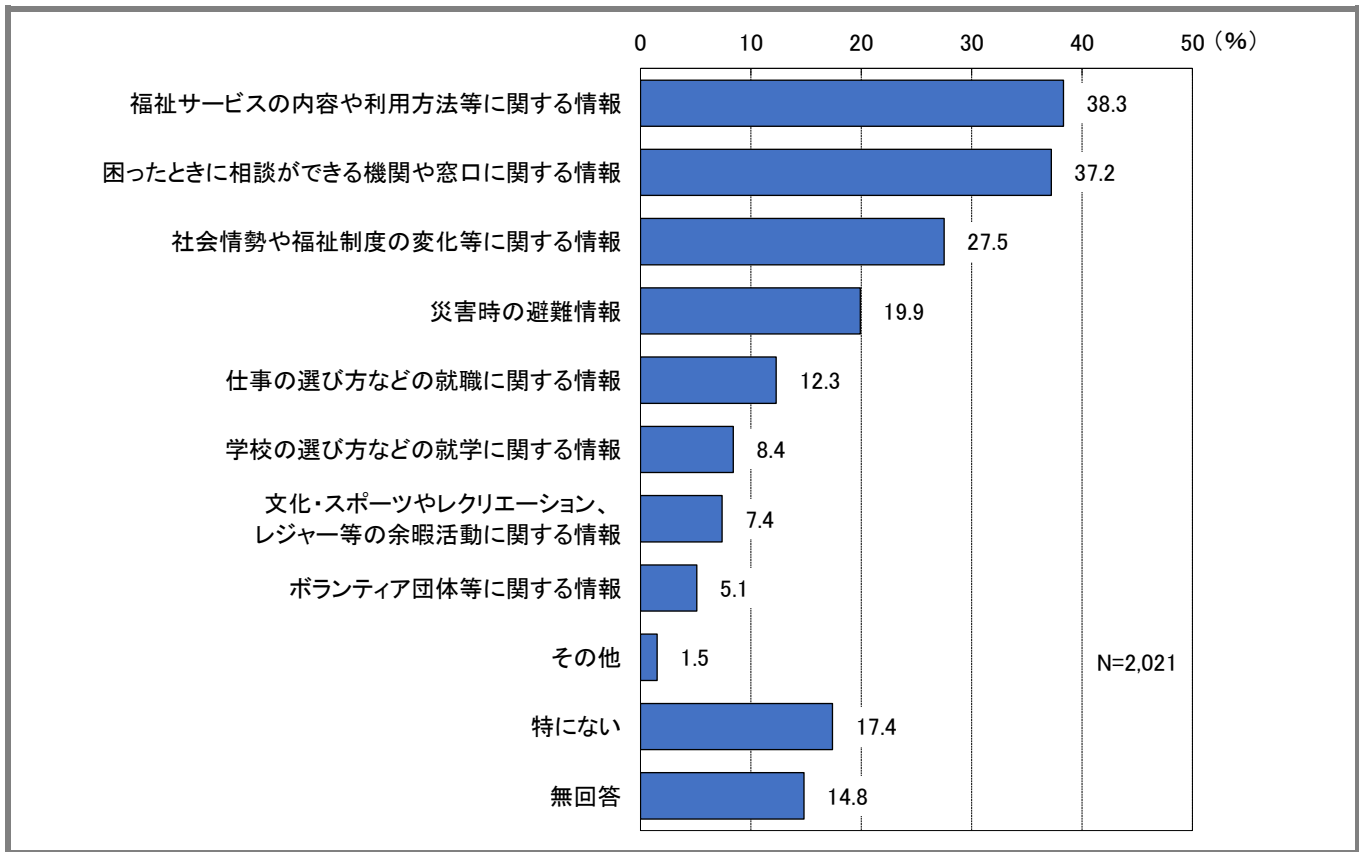


- 市が実施している福祉政策の情報源については、「市の広報紙、ウェブサイト、公式LINE」と回答した人の割合が全体の41.3%と最も高く、以下、「市役所の福祉担当窓口」(18.7%)、「家族・友人・知人」(17.6%)、「病院・医者・薬局」(10.7%)、「インターネットのサイトやブログ」(10.3%)と続いている。
- 障がい属性別に見ると、知的障がい者については「家族・友人・知人」(29.3%)が「市の広報紙、ウェブサイト、公式LINE」(26.7%)よりも高い割合となっている(次ページのグラフ参照)。

【属性別クロス集計結果】

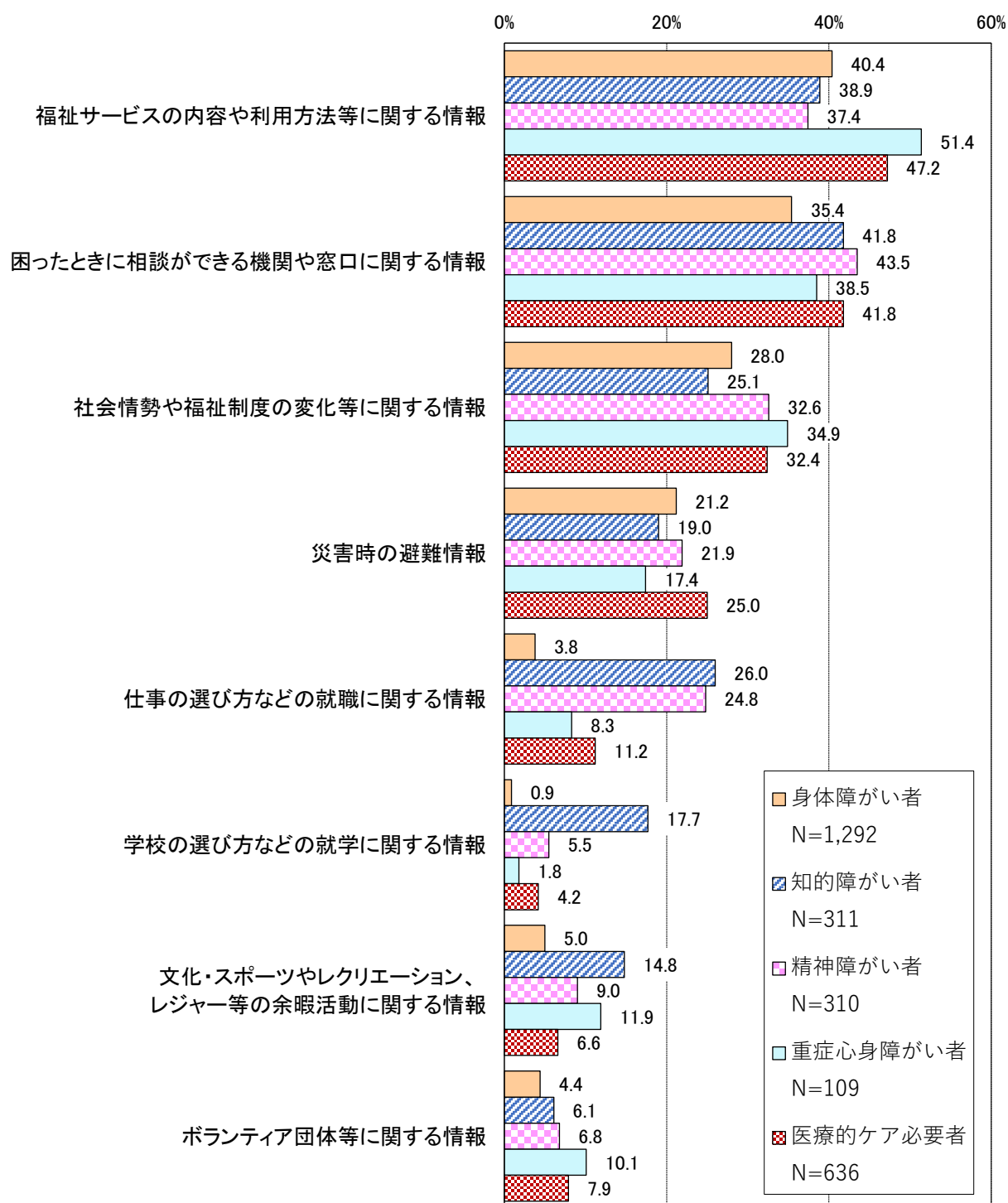


問27 あなたにとって今後、特に充実してほしい情報は何か。
 (あてはまるものすべてに○)



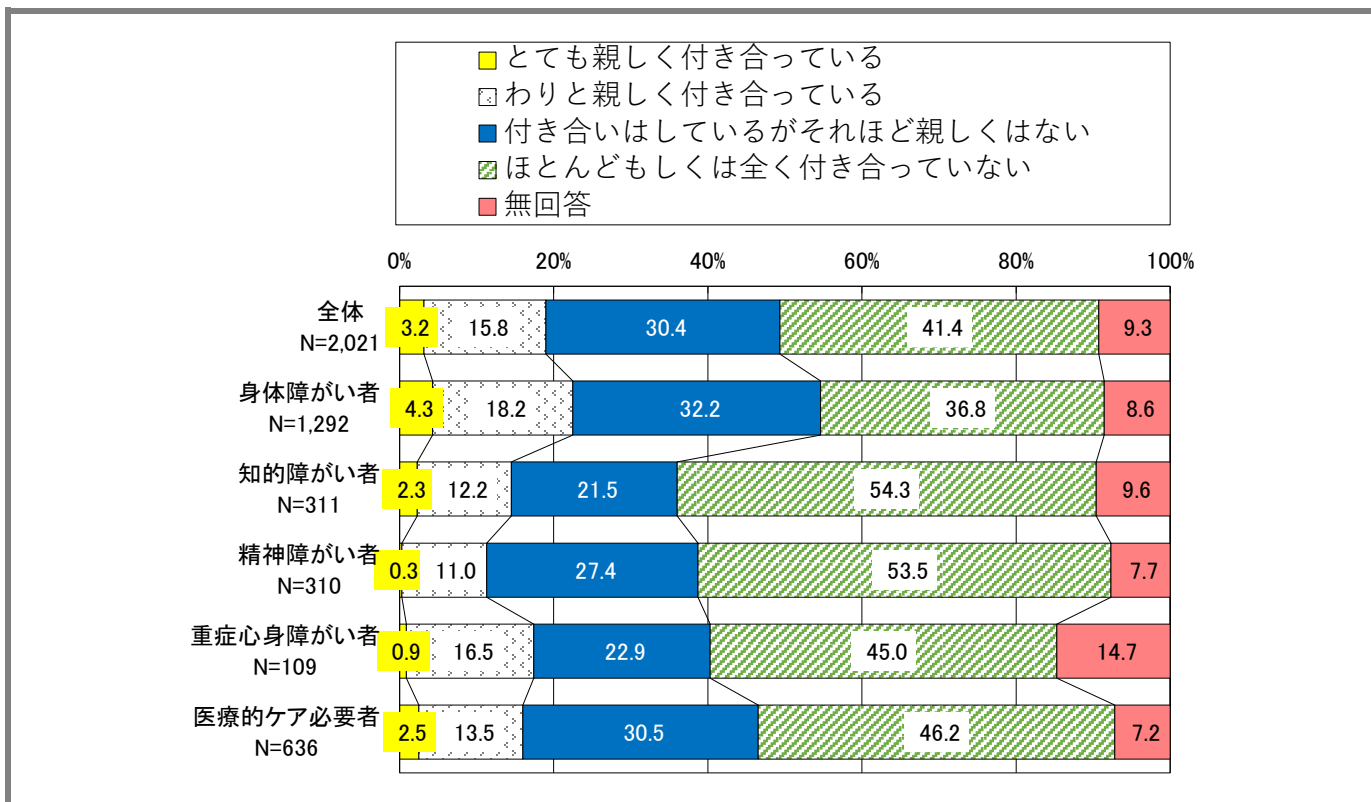
- 今後、特に充実してほしい情報としては、「福祉サービスの内容や利用方法等に関する情報」と回答した人の割合が全体の38.3%と最も高く、以下、「困ったときに相談ができる機関や窓口に関する情報」(37.2%)、「社会情勢や福祉制度の変化等に関する情報」(27.5%)、「災害時の避難情報」(19.9%)と続いている。
- 障がい属性別に見ても、上位3項目の回答傾向は変わらないが、知的障がい者と精神障がい者については、「仕事の選び方などの就職に関する情報」(知的：26.0%、精神：24.8%)が他の属性に比べ高い割合となっている(次ページのグラフ参照)。

【属性別クロス集計結果】



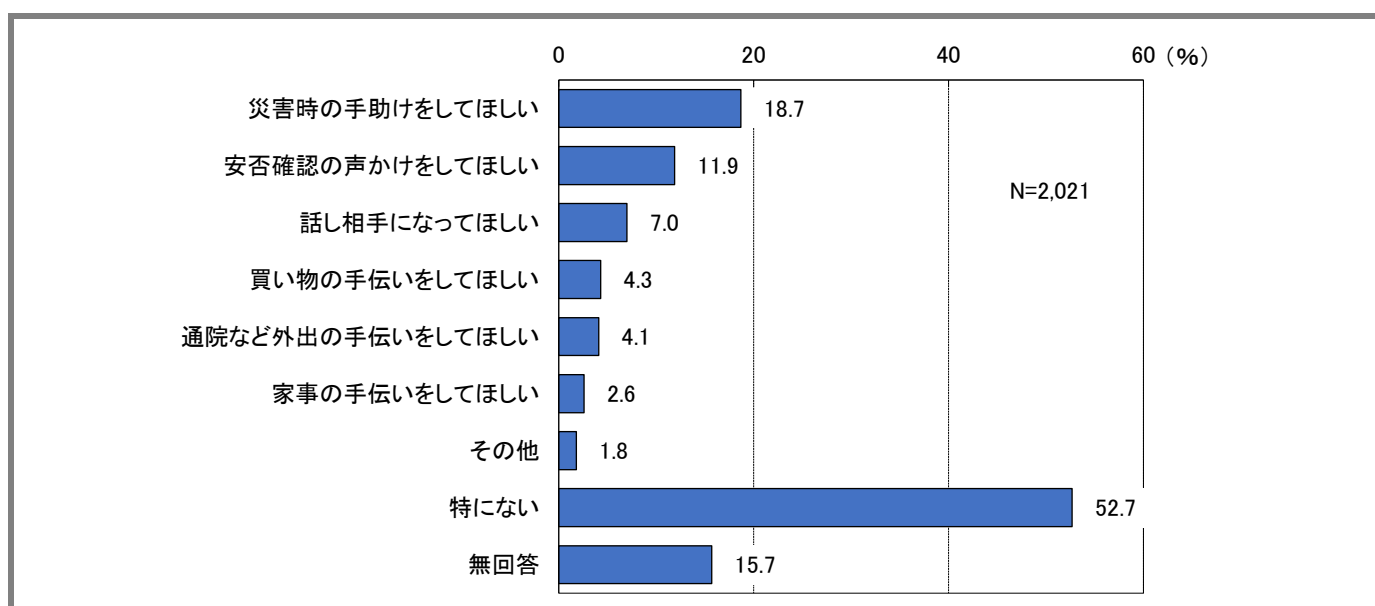
VII 地域での生活について

問28 あなたは、現在どの程度、近所付き合いをしていますか。(〇は1つだけ)



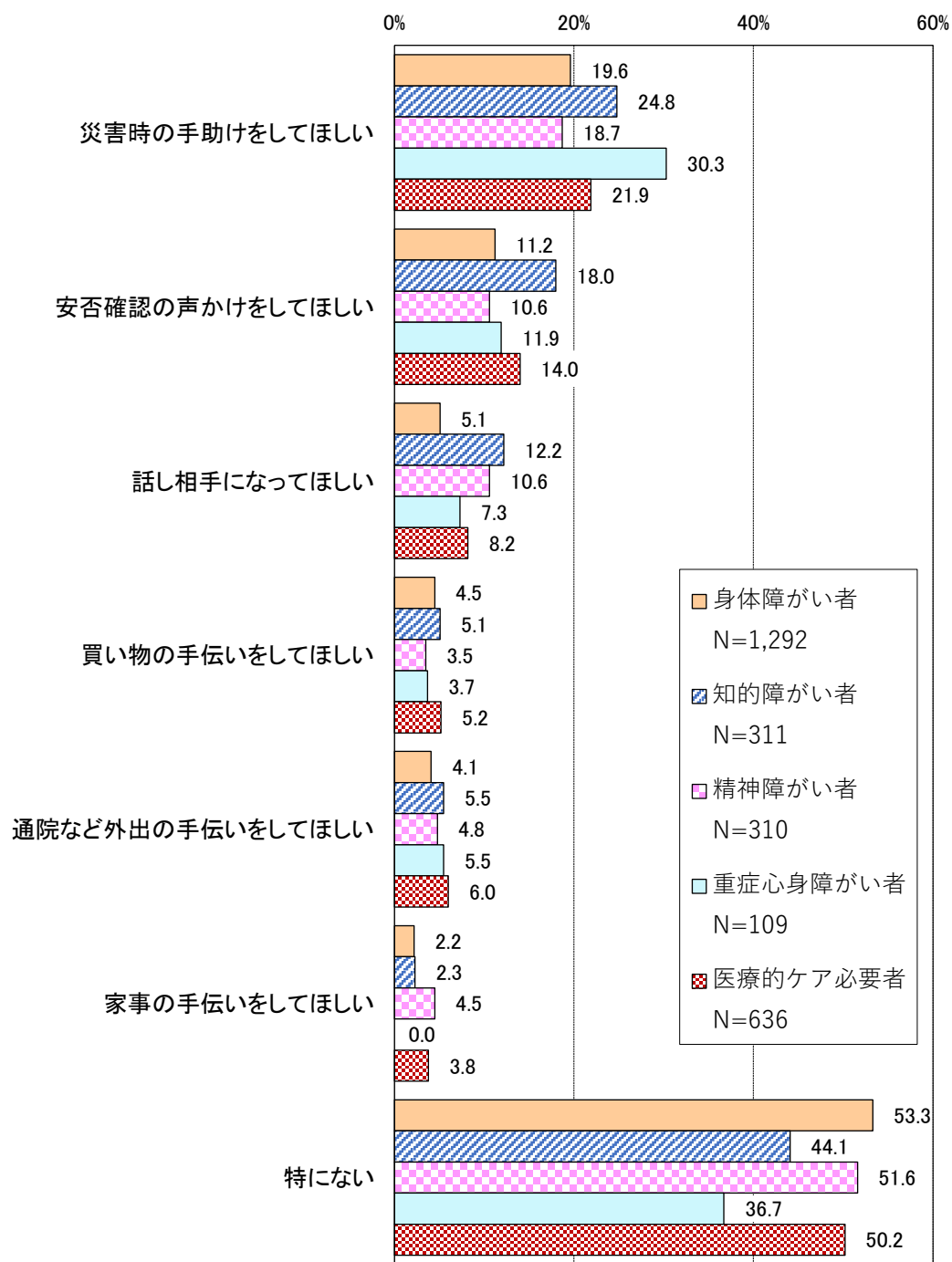
- 近所付き合いについて、「とても親しく付き合っている」「わりと親しく付き合っている」と回答した人の割合は全体の 19.0%で、「付き合いはしているがそれほど親しくはない」「ほとんどもしくは全く付き合っていない」と回答した人の割合 (71.8%) を 52.8 ポイント下回っている。
- 障がい種別に見ると、知的障がい者や精神障がい者については、身体障がい者に比べ「ほとんどもしくは全く付き合っていない」と回答した人の割合が高くなっている (身体: 36.8%、知的: 54.3%、精神: 53.5%)。
- 障がい児についても、身体障がい者と比べると「ほとんどもしくは全く付き合っていない」と回答した人の割合は 9.1 ポイント高くなっているが、知的障がい者や精神障がい者に比べると「わりと親しく付き合っている」と回答した人の割合がやや高くなっている (知的: 10.6%、精神: 14.4%、障がい児: 23.2%)。

問29 あなたは、地域で手助けしてほしいと思うことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

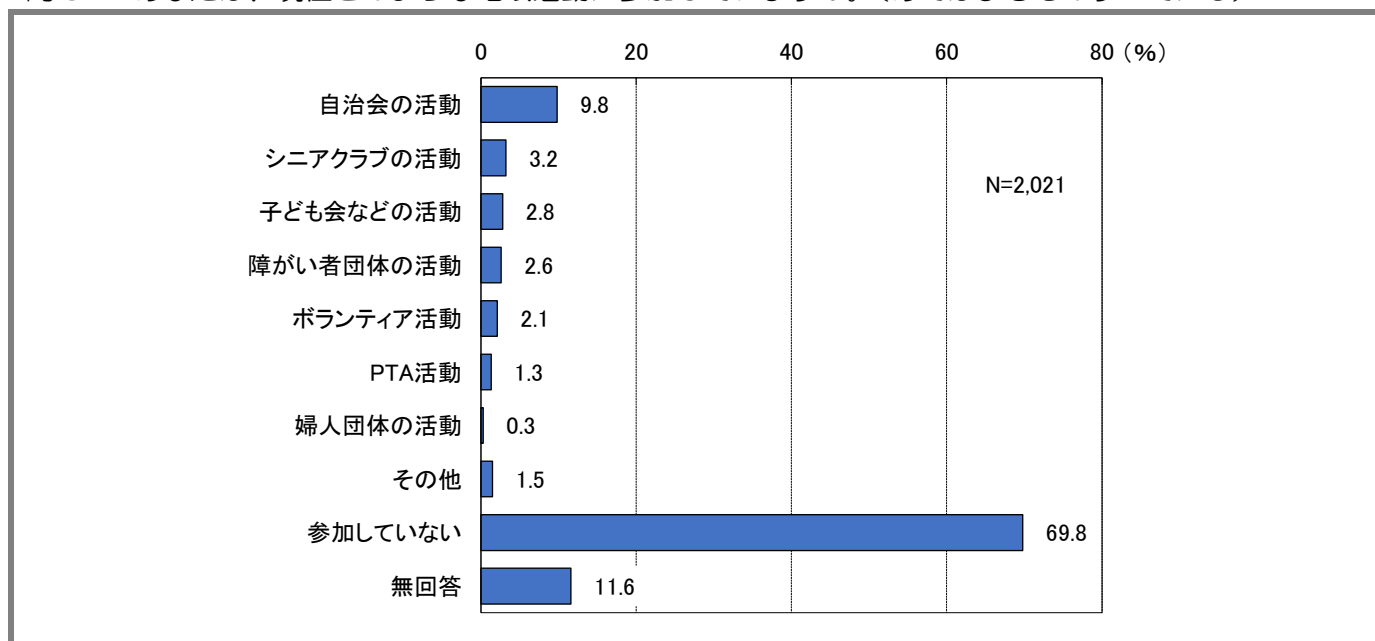


- 地域で手助けしてほしいと思うことがあるか尋ねたところ、「特にない」が全体の52.7%と最も多くなっているが、「災害時の手助けをしてほしい」(18.7%)、「安否確認の声かけをしてほしい」(11.9%)、「話し相手になってほしい」(7.0%)など、手助けを求める回答も少なくない。
- 障がい属性別に見ても、回答割合の順位に大きな差異は見られなかった(次ページのグラフ参照)。

【属性別クロス集計結果】

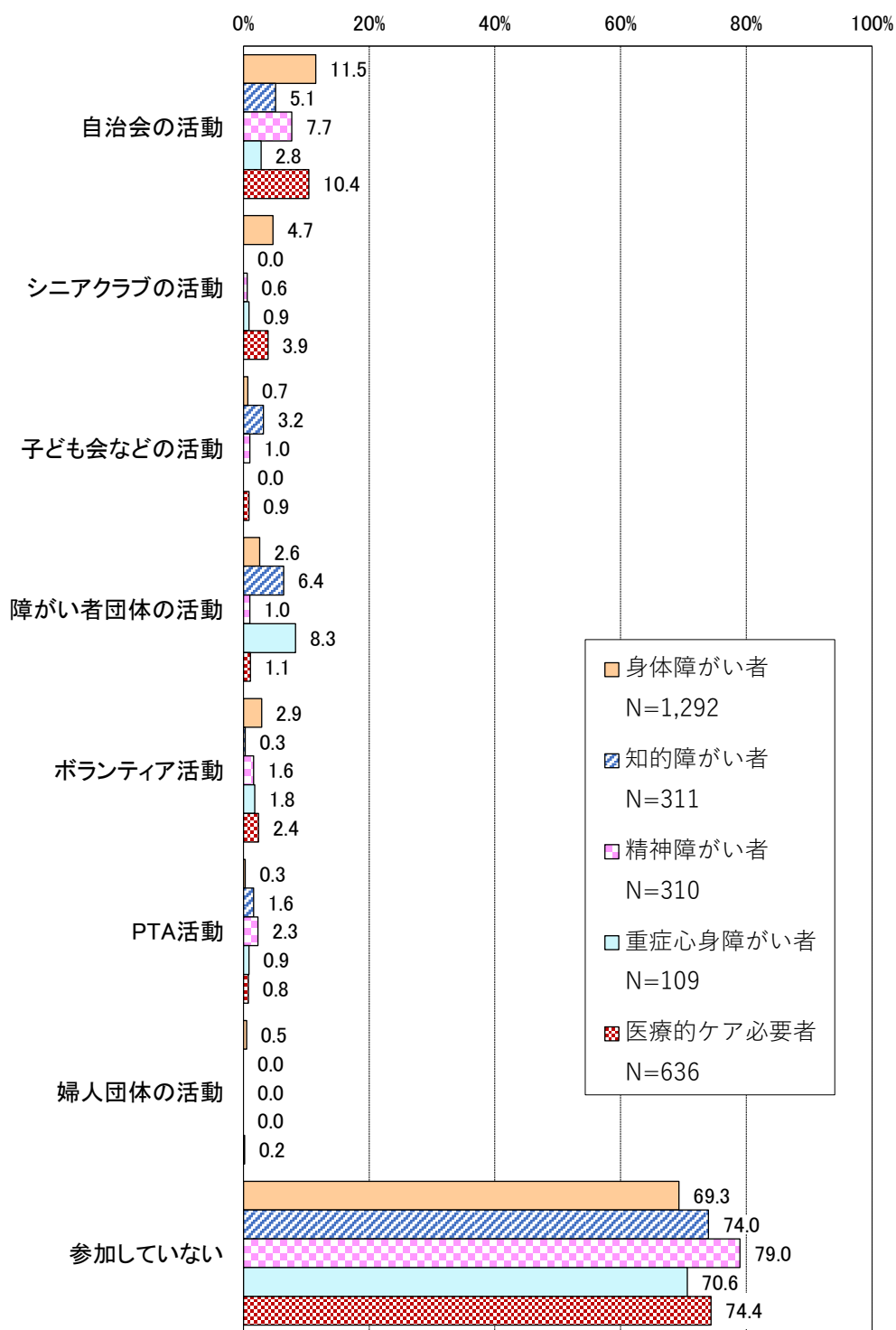


問30 あなたは、現在どのような地域活動に参加していますか。(あてはまるものすべてに○)

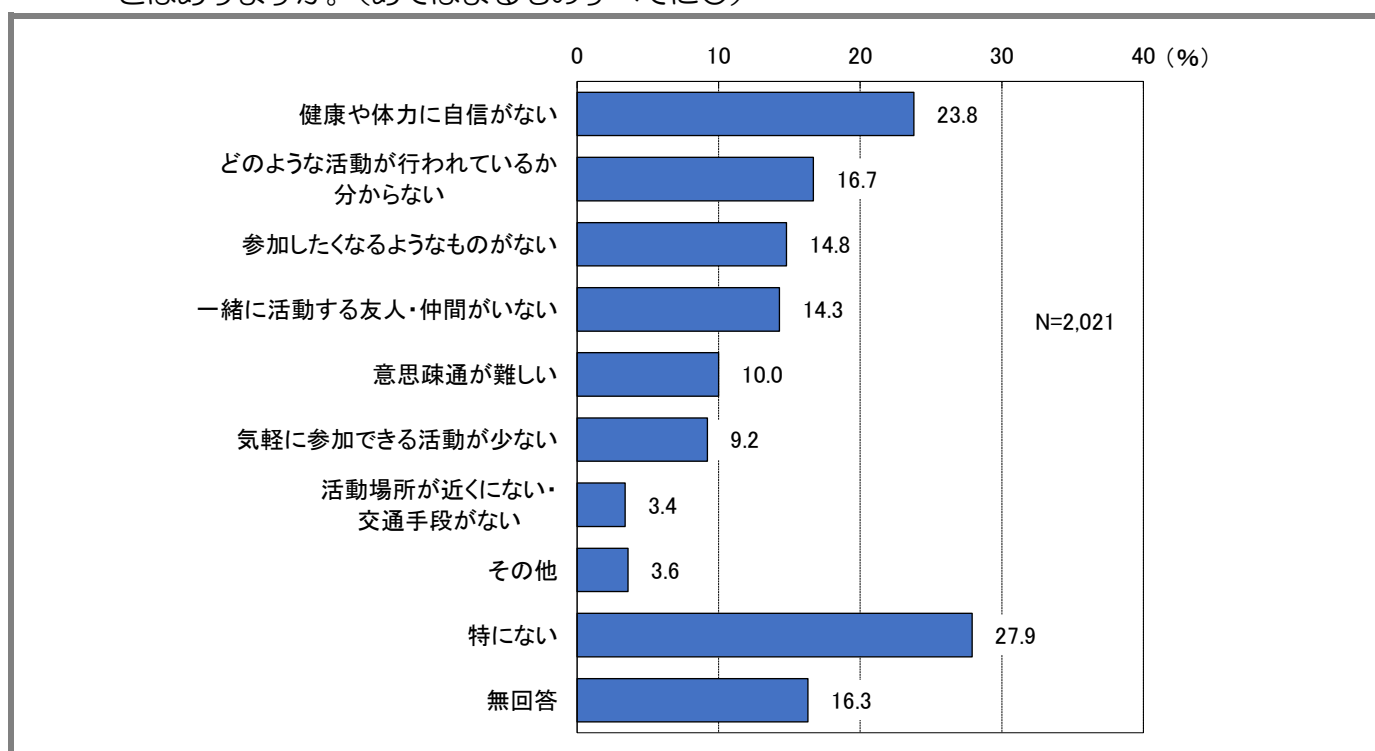


- 現在、地域活動に「参加していない」と回答した人の割合は全体の69.8%で、これと無回答を除く、何らかの地域活動に参加している人の割合は全体の18.6%となっている。
- 障がい属性別に見ても、回答傾向に大きな差異は見られなかった（次ページのグラフ参照）。

【属性別クロス集計結果】

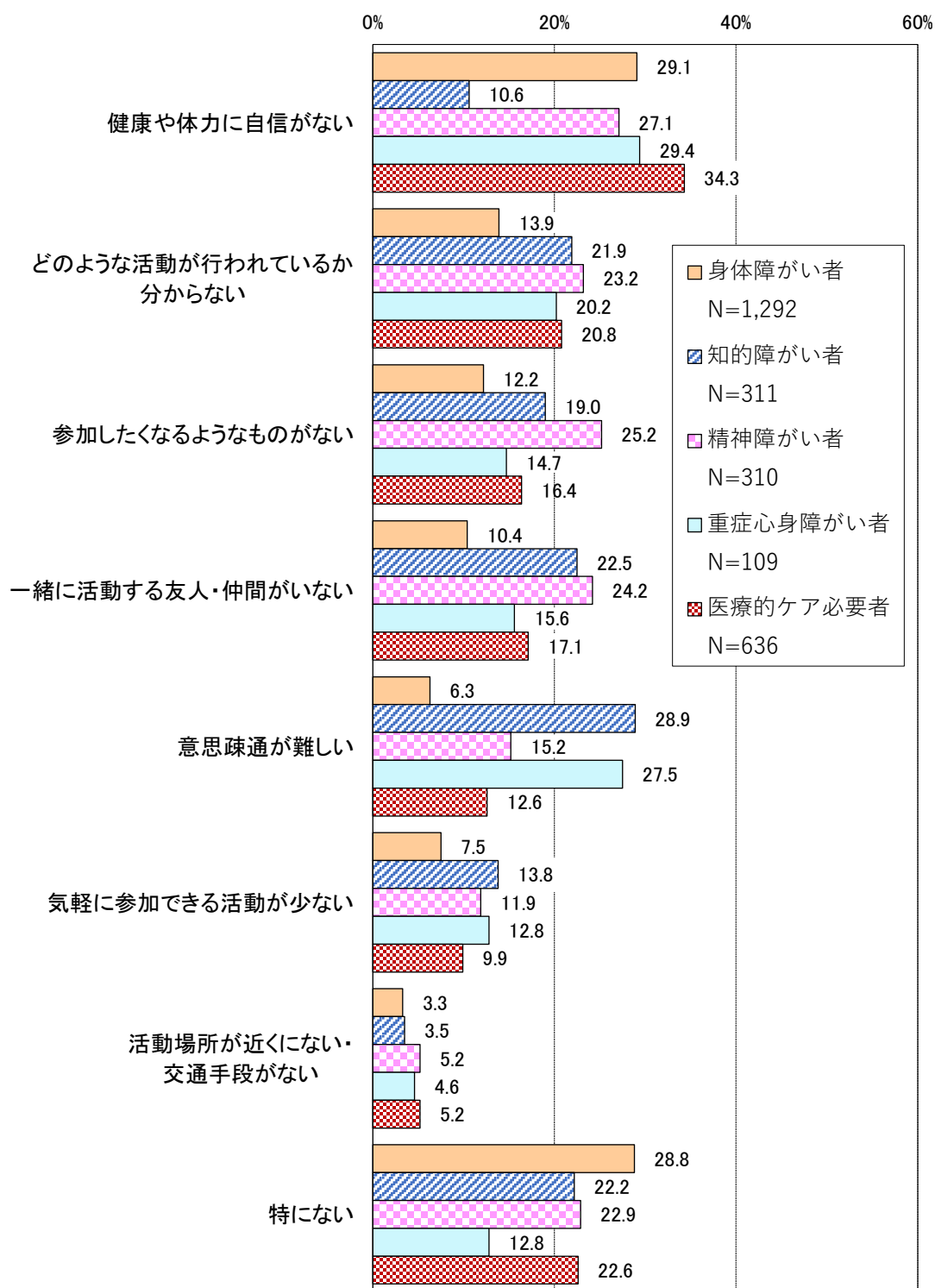


問 31 あなたが地域で行われる行事や余暇活動に参加しようとした場合、そのさまたげになることはありますか。(あてはまるものすべてに○)



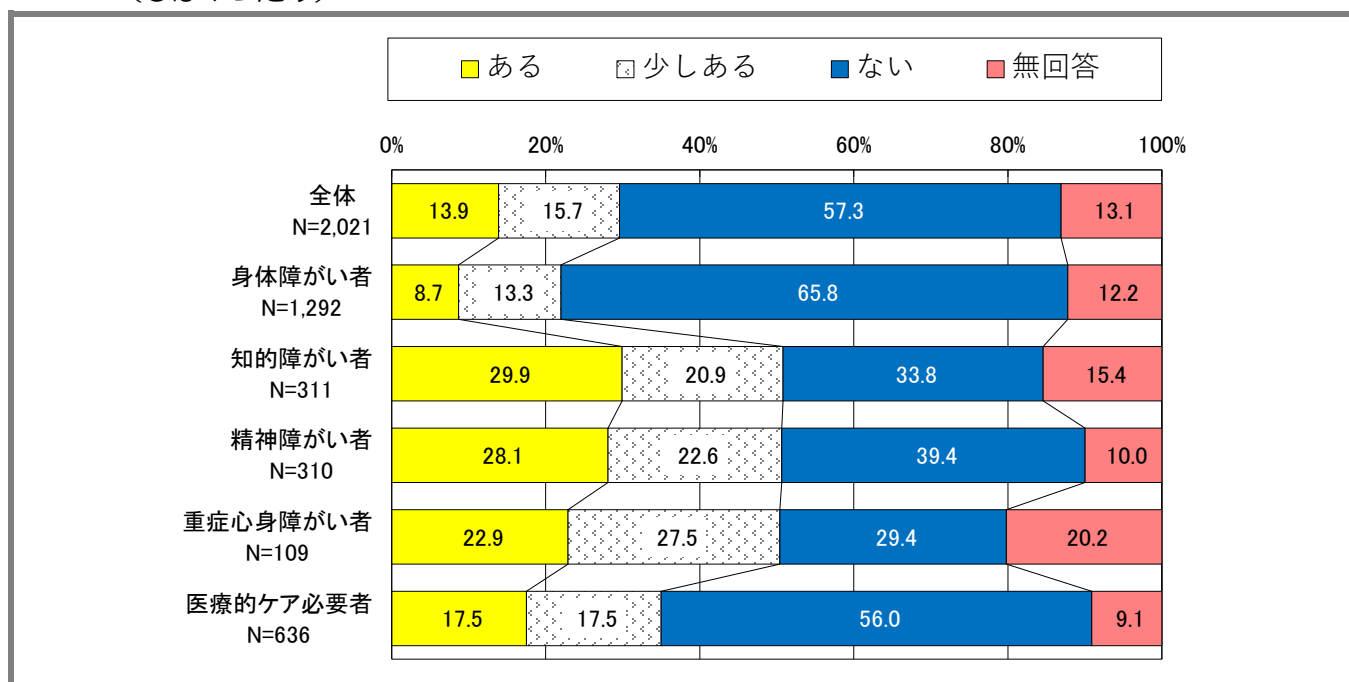
- 地域行事や余暇活動に参加しようとした場合、その妨げとなることについては、「健康や体力に自信がない」が全体の23.8%と最も多く、以下、「どのような活動が行われているか分からない」(16.7%)、「参加したくなるようなものがない」(14.8%)、「一緒に活動する友人・仲間がない」(14.3%)と続いている。
- 障がい属性別に見ると、知的障がい者については「意思疎通が難しい」という回答が28.9%と最も高い回答割合となっている(次ページのグラフ参照)。

【属性別クロス集計結果】



VIII 権利擁護について

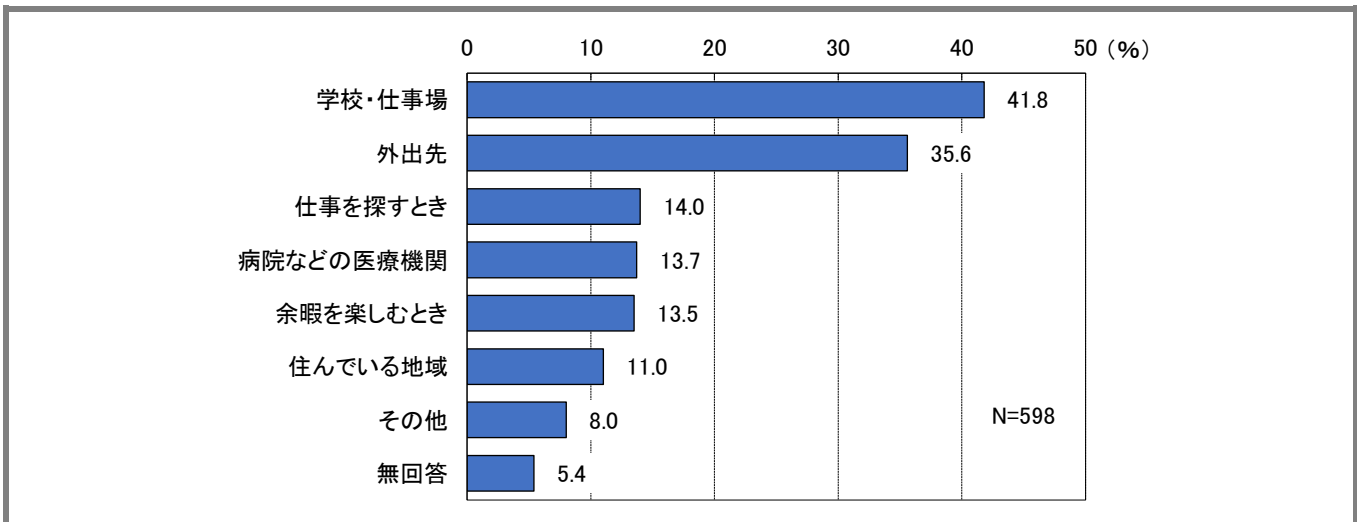
問32 あなたは、障がいがあることで差別や嫌な思いをする（した）ことがありますか。
（〇は1つだけ）



- 障がいがあることで差別や嫌な思いをする（した）ことが「ある」「少しある」と回答した人の割合は全体の29.6%となっている。
- 障がい属性別に見ると、知的障がい者や精神障がい者、重症心身障がい者については、身体障がい者に比べると、差別や嫌な思いをする（した）ことが「ある」「少しある」と回答した人の割合が高く、いずれも半数を超えている。

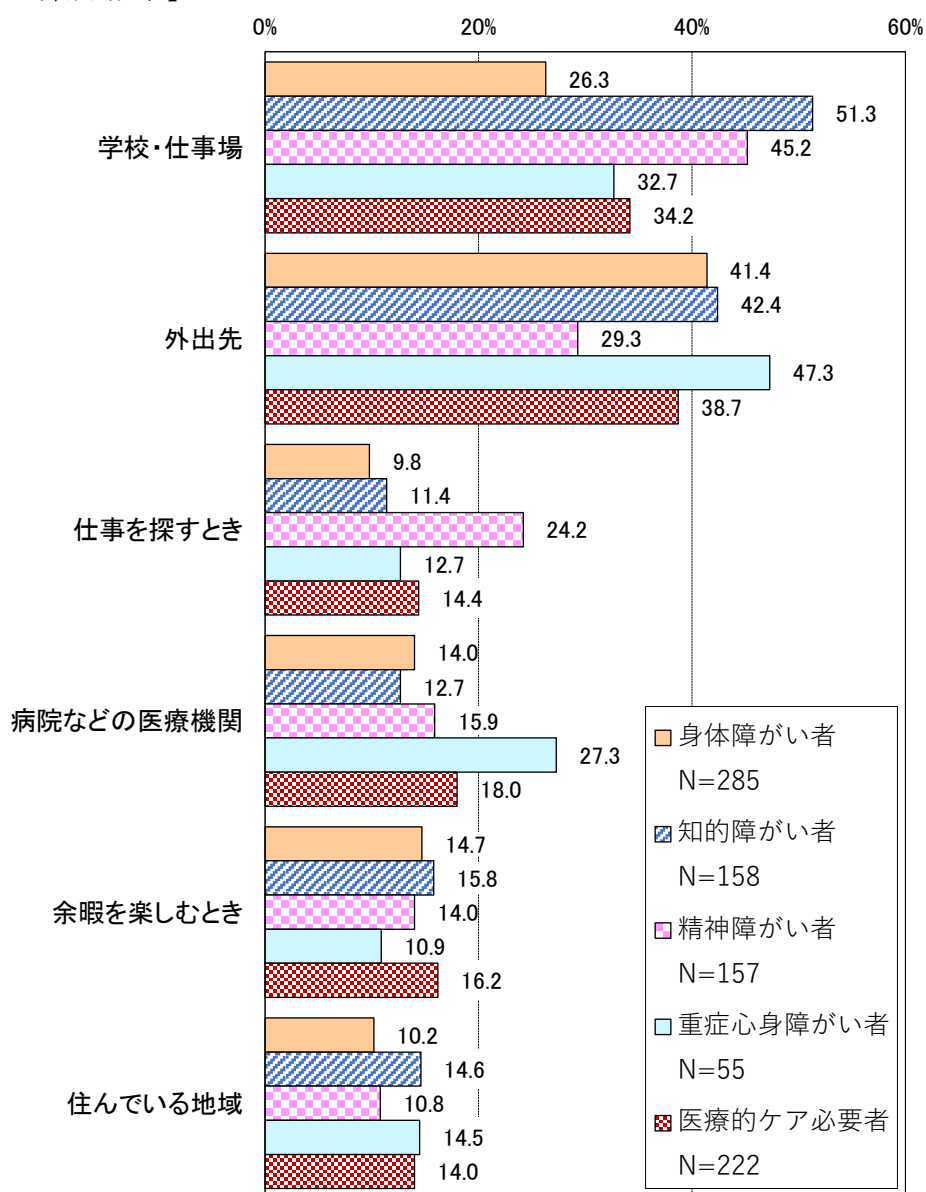
【問32で「1. ある」または「2. 少しある」に○をつけた人のみお答えください】

問32-1 どのような場所で差別や嫌な思いをしましたか。(あてはまるものすべてに○)

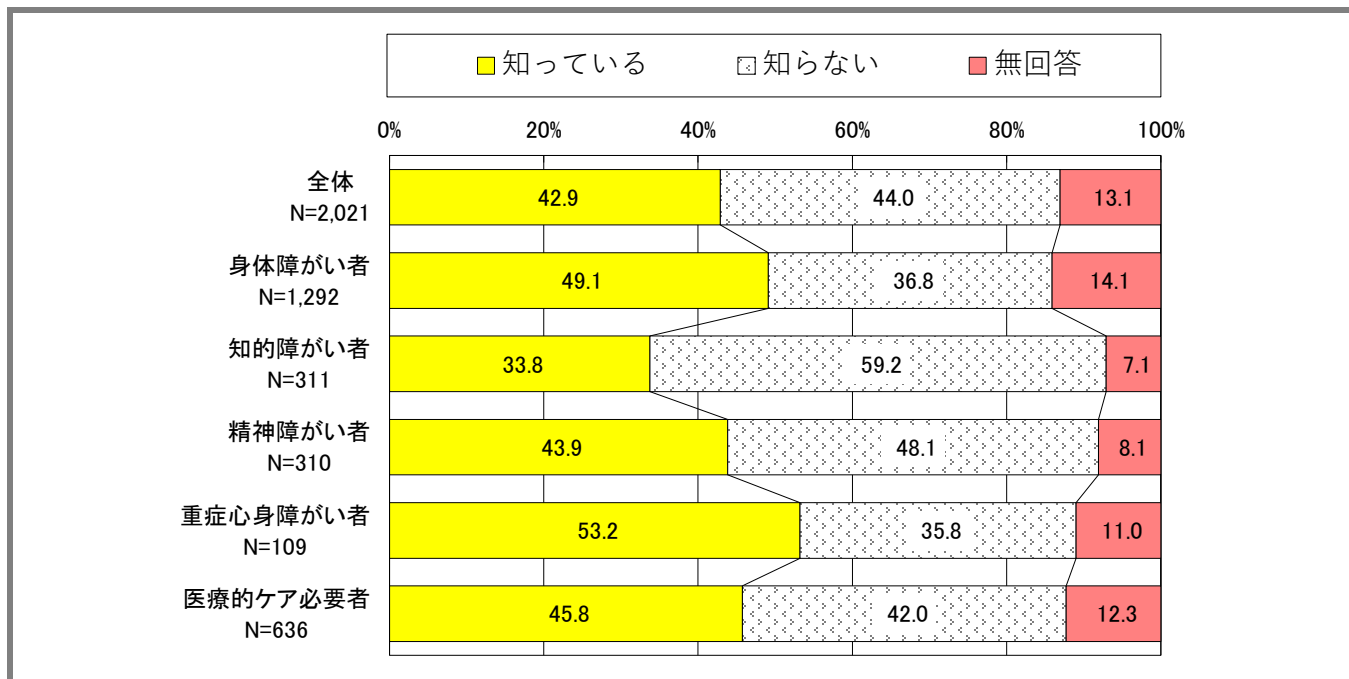


- 問32で差別や嫌な思いをする(した)ことが「ある」「少しある」と回答した人に、その場所を尋ねたところ、「学校・仕事場」が全体の41.8%と最も多く、「外出先」が35.6%でそれに続いている。
- 障がい属性別に見ても、上位2項目は変わらないが、精神障がい者では「仕事を探すとき」(24.2%)、重症心身障がい者では「病院などの医療機関」(27.3%)も比較的高い割合となっている(次ページのグラフ参照)。

【属性別クロス集計結果】



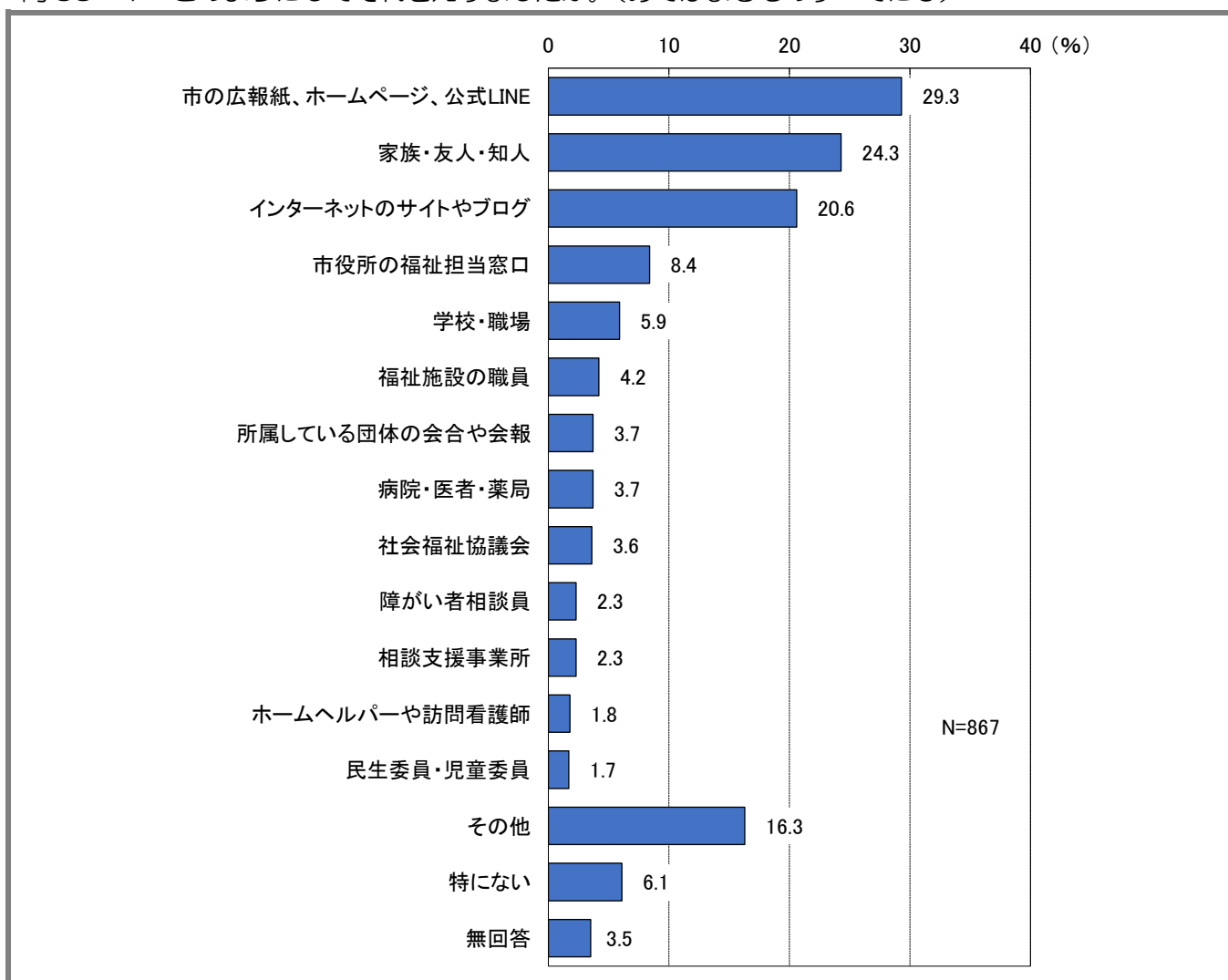
問33 あなたは、成年後見制度を知っていますか。(〇は1つだけ)



- 成年後見制度を「知っている」と回答した人の割合は全体の42.9%で、「知らない」と回答した人の割合をやや下回っている。
- 障がい属性別に見ると、知的障がい者の認知度が低いことが分かる。

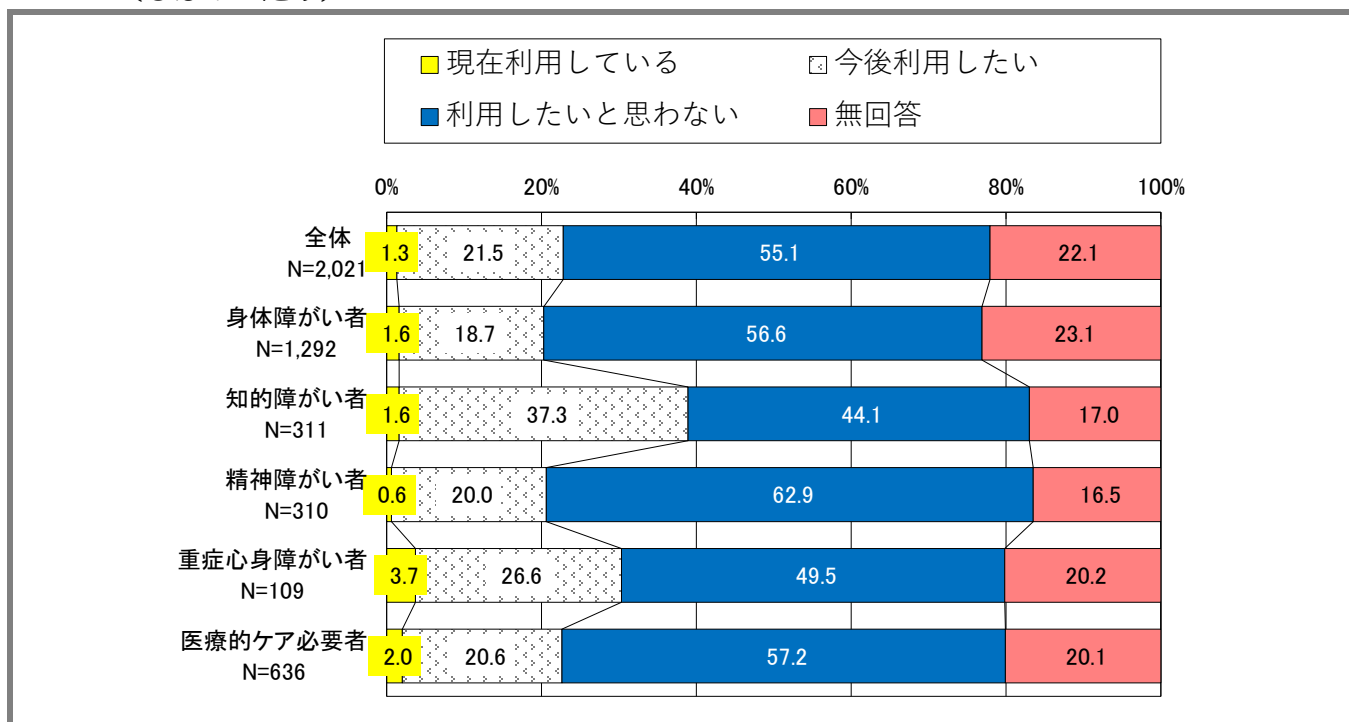
【問33で「1. 知っている」に○をつけた方のみお答えください】

問33-1 どのようにしてそれを知りましたか。(あてはまるものすべてに○)



- 問33で成年後見制度を「知っている」と回答した人に、どのようにしてそれを知ったか尋ねたところ、「市の広報紙、ホームページ、公式LINE」と回答した人の割合が全体の29.3%と最も高く、次いで、「家族・友人・知人」が24.3%、「インターネットのサイトやブログ」が20.6%で、それに続いている。

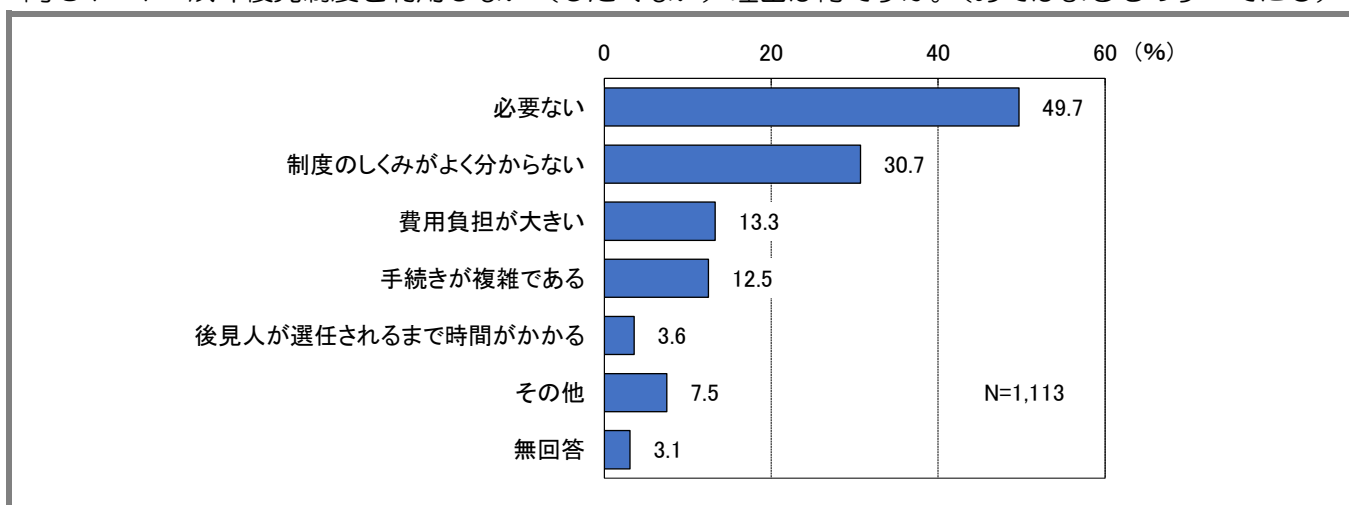
問34 あなたは、今後の状況によっては、成年後見制度を利用しますか。(利用する予定ですか。)
(〇は1つだけ)



- 成年後見制度の利用意向について、「今後利用したい」と回答した人の割合は全体の21.5%となっている。
- 障がい属性別に見ると、「今後利用したい」と回答した人の割合が最も高かったのは知的障がい者で、37.3%となっている。

【問34で「3. 利用したいと思わない」に○をつけた人のみお答えください】

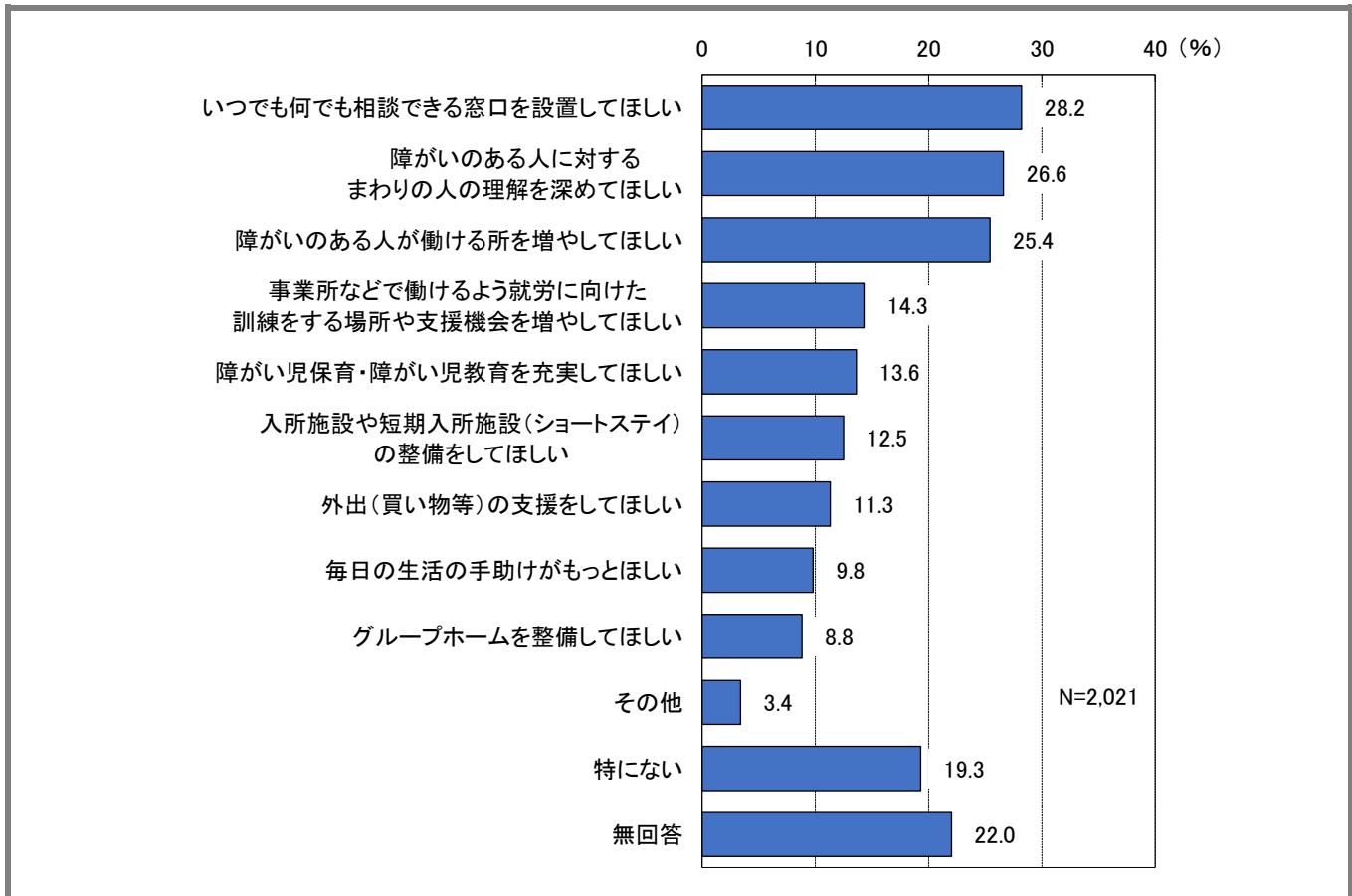
問34-1 成年後見制度を利用しない（したくない）理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）



- 問34で成年後見制度を「利用したいと思わない」と回答した人にその理由を尋ねたところ、「必要ない」という回答が49.7%とほぼ半数を占めているが、「制度のしくみがよく分からない」という回答も30.7%と多くなっている。

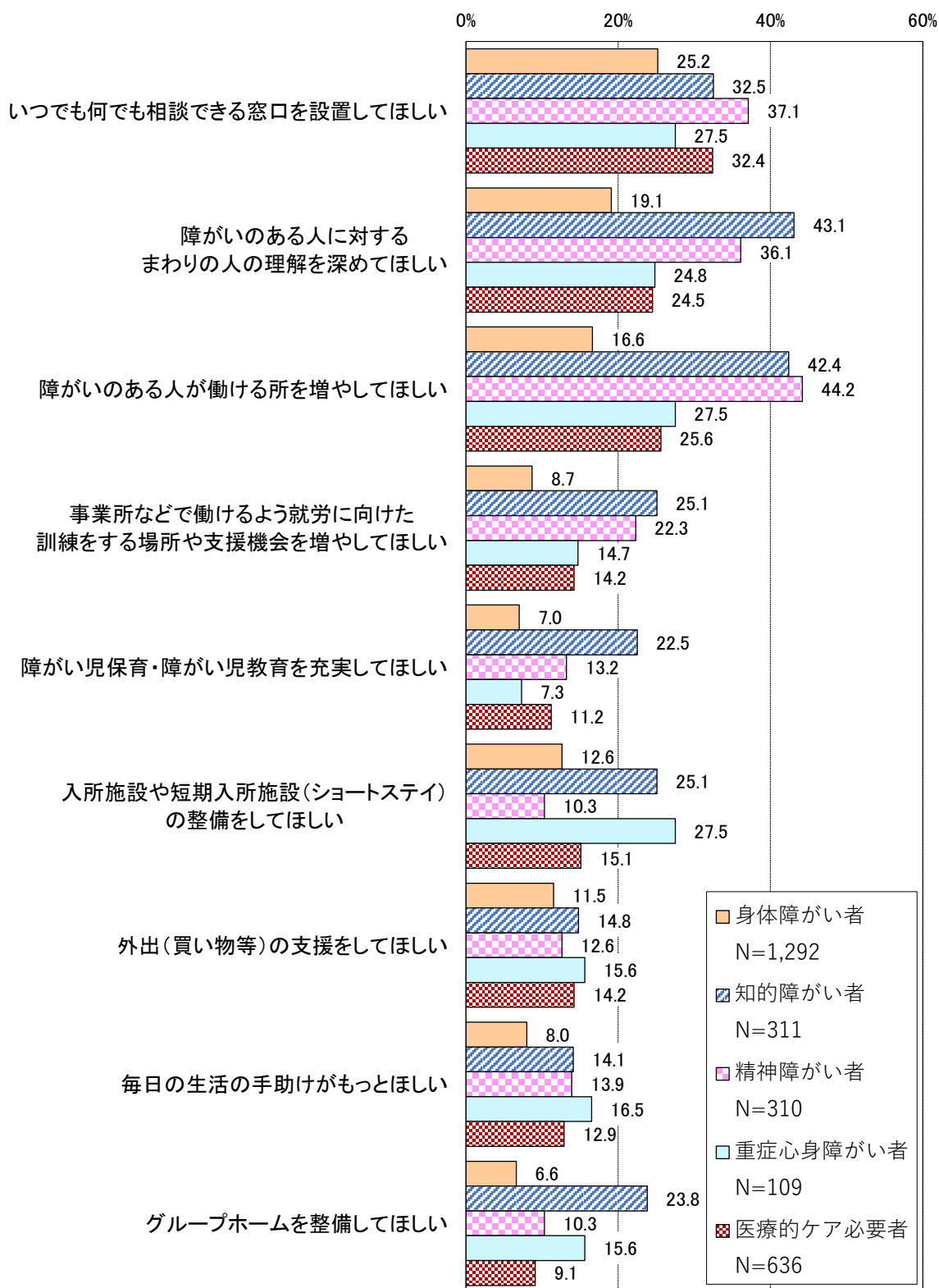
IX 福祉全般について

問35 障がい者（児）に対する支援として、どのようなことを充実すべきだと思いますか。
（5つまでに○）



- 障がい者（児）に対する支援として充実すべきだと思うことについては、「いつでも何でも相談できる窓口を設置してほしい」という回答が全体の28.2%と最も多く、以下、「障がいのある人に対するまわりの人の理解を深めてほしい」（26.6%）、「障がいのある人が働ける所を増やしてほしい」（25.4%）と続いている。
- 障がい種別に見ると、身体障がい者と医療的ケア必要者については「いつでも何でも相談できる窓口を設置してほしい」（身体：25.2%、医療的ケア：32.4%）、知的障がい者については「障がいのある人に対するまわりの人の理解を深めてほしい」（43.1%）、精神障がい者については「障がいのある人が働ける所を増やしてほしい」（44.2%）、重症心身障がい者については「いつでも何でも相談できる窓口を設置してほしい」「障がいのある人が働ける所を増やしてほしい」「入所施設や短期入所施設（ショートステイ）の整備をしてほしい」（ともに27.5%）が、それぞれ最上位にあがっている（次ページのグラフ参照）。

【属性別クロス集計結果】



問 36 市の障がい者（児）支援策に対する意見や、地域やボランティアの支援の中で、よかったことや助かったことがあれば、お書きください。

No.	属性	内 容
1	身体	ETC が半額で使えるのは助かる。交通系 IC カードが半額になるのだが、西鉄、JR、地下鉄、それぞれのカードをもたねばならず、1枚のカードで済まない。
2	身体	NHK が無料になったこと
3	身体	Toquidoki を週1回、体力の許す範囲で参加させてもらっていることをありがたいと思っています。
4	身体	このアンケートでどのような施策に過去使われたのか？あまりにも複雑多岐に渡っていて、焦点を絞って実施した方がいい。障がい者といっても幅が広い。きめ細かなアンケートは各種、病気や年齢、男女でも異なるからもっと分類を狭めて実施すべきです。
5	身体	このようなアンケートを作成して下さったことが春日市の障がい福祉を大切に思っていると感じます。ありがとうございます。知らない事が多いのでこれから知っていこうと思います。
6	身体	ストマ装具の無償支給、助かっています。
7	身体	そういう場面に合うことがなくわからない。
8	身体	タクシーチケットの利用は助かる。駐車場がいっぱいの際、障がい者用スペースが空いていて助かった。
9	身体	ボランティア（いきいきプラザにある）初級講座に参加してよかった。
10	身体	以前住んでいた長崎市は交通費助成がありました。大きな金額ではなかったけれどもありがたかった。
11	身体	医療、保険、介護保険、社会福祉協議会など色々ありすぎて何がなんだかわかりにくい。すみわけばかりではなく、トータルでケアできるようなシステムが必要。
12	身体	外出先でのトイレがかなりあるので車いすで利用でき助かっている
13	身体	経済的に大変な時に、市の障がい者担当の方が NHK 受信料軽減できるか、書類を作成していただき助かりました。
14	身体	玄関前に手すりをつけて頂いた。
15	身体	現状ではまだ全て自分でできる、家族もいてくれる。今後の事に対する想定はできない。
16	身体	交通機関の割引、ただし JR の場合は近くの乗車は割引がないのが残念。タクシー券。
17	身体	交通切符をもらいたいがタクシー代が高いので行けない。
18	身体	今の所とても満足して暮らせています。
19	身体	困ったことがあれば相談しやすく、丁寧に教えて下さいます。特に今は利用していません。
20	身体	左右の股関節が悪く人工関節で治療しています。紙一枚の重さに耐えられない時がありました。掃除や生活の支援を受け、自宅での生活ができるようになり頑張っています。
21	身体	妻が病気の時、訪問看護等を利用できた事。自宅で過ごせたこと。
22	身体	子どものいる家ばかり国は援助している。級の小さい人でも国からの援助をしてほしい。毎月2、3万とか。
23	身体	自治会に要支援申込を出した所、年2回程丁寧に会合を開き、支援者と要支援者とのつながりを持ってくれて大いに助かっています。
24	身体	自宅の玄関先に手すりを取り付けしてもらった

No.	属性	内 容
25	身体	週2回の支援（清掃）を受けていて便利です。
26	身体	春日市ではなく太宰府市に居住していた時、ボランティアの方が月1~2回、病院受診や観光地見学、買い物等に車にて対応して頂く制度があり、利用していて大変有難く感謝していましたが、春日市ではその制度がなく残念でした。
27	身体	障がい者になり支援策があることを初めて知り、非常に助かり有難く思っています。
28	身体	障がい者手当、タクシー券、西鉄半額、障がい者医療、色々な支援を頂いて感謝しております。市の財政も大変だと思います、ありがとうございます。高齢者と障がい者に優しい春日市の市民で良かったと思っております。
29	身体	障害手帳でバス、電車が半額になる、タクシーが1割引になるのが大変助かります。JRはその点不満あり。
30	身体	身障者手帳を申請した時、係りの人から様々な制度があることを説明してもらい、役立ちました。
31	身体	身体障がい者への住宅改修補助があり助かった。
32	身体	窓口（市、県）まで行くのは時間がかかるが親切に分かりやすく対応して頂ける。
33	身体	退院したばかりの時、手帳もまだできていない時にボランティアセンターの方が週1日お掃除を助けて下さいました。本当にありがたかったです。
34	身体	難聴で耳鼻科に通院していましたが、聴力が悪いので補聴器を勧められました。その際、補聴器が市の補助で安く買えたのですごく助かりました。高速道路も半額で利用できますので助かっています。
35	身体	日常生活用具給付
36	身体	悩み事を相談し、聞いて頂き、アドバイスを提案してもらった時。
37	身体	病院などへ手話通訳の派遣をしてもらえる。
38	身体	包括支援センターから用具の紹介、設置業者の紹介。
39	身体	民生委員さんに頭が下がります。
40	身体、知的	障がい者水泳教室を長年使わせてもらっているが、年間開催回数や時間が短くなったので以前のように戻してほしい。
41	身体、知的	同情で戸惑います。感謝します。
42	身体、知的	福祉課での福祉サービスはとても良い。タクシーチケットの使い方が変わったこともいいと思います。放課後等デイサービス、就労のパンフレットが置いてあるのも助かります。障がい者デイの時にドリップコーヒーをもらえた。小さな気遣いがありがたい。
43	身体、知的、重症心身	家族と相談して心療内科を受診しました。
44	身体、知的、重症心身	今はなくなりましたが、18歳まで夏休みや冬休みに利用できた「タイムケア」制度の年齢制限を撤廃して復活してほしい。
45	身体、知的、重症心身	施設内のボランティアの協力に感謝。
46	身体、知的、重症心身	装置、装具を作りたいときになぜ必要なか確認した上で、必要な時は迅速に対応して頂けること。
47	身体、知的、重症心身	良かったと思ったことも助かったと思ったことも一度もない。市役所の障がい児福祉課で年1回の聞き取りで障がい児の情報を得ているのだから、その障がい児に必要なだろうと思われる情報を提供してほしい。聞き取りで得た情報をもっと有効に活用してほしい。支援策も何もわかりやすい提供の仕方をしないと無意味だと思う。

No.	属性	内 容
48	身体、知的、重症心身	相談支援員の方が親身になって相談にのってくれる。放課後等デイサービスで障がいにあった支援をうけることができる。
49	身体、知的、医療的ケア	市→様々な質問に対し、詳しく説明いただいている所。 地域、ボランティア→特に感じたことはない。
50	身体、精神	車の税金が安いこと。
51	身体、精神、医療的ケア	地域支援センターの職員の方。よく耳を傾けて下さり、適切な支援をしてくれて助かっております。
52	身体、重症心身	市単位では何ともできないかもしれませんが、1級で元気に歩ける人がタクシー券をもらっていて利用しない人もいるのに2級となるとそれを利用できない（1級の人より歩けない、体力もない）。県に言っても等級が、と言われます。そのせいで他の科への受診を諦めています。タクシーに乗れば良いのですが、お金がもったいないです。100円バスまで歩くのに2回立ち止まらないとバス停まで着けない。
53	身体、重症心身	車で買い物に行っているが障がい者駐車場が少ないと思う。もっと増やしてほしい。
54	身体、重症心身	電車に乗るときに身体がくずれた時に後ろの人が手助けしてくれました。
55	身体、重症心身	福祉支援課は親切に相談に対応してくれ、方向性を示して援助してくれる。
56	身体、重症心身、医療的ケア	着替えがしやすいように肌着、上着の補正をボランティアでお願いしている。市販のものでは合う衣服がないため助かっている。楽器の生演奏、リハビリの手伝いのボランティア。
57	身体、医療的ケア	100%満足のいく支援は困難だと思いますが、できる限りの支援をお願いします。年々よくなっていくことに感謝します。
58	身体、医療的ケア	2年前にストマが必要となり、パウチの補助があることを知り、助かりました。
59	身体、医療的ケア	ストーマ用具の支援は非常にありがたく感謝しています。
60	身体、医療的ケア	タクシーの利用券、交通の割引、医療の割引
61	身体、医療的ケア	ヘルパーセンター（協議会）の利用
62	身体、医療的ケア	一人で外出中、警備の方に事情を話し、トイレに向かっていたら車椅子を持って来てくれました。本当に嬉しかった。
63	身体、医療的ケア	何かの場合にご支援していただくことのできる施設があることが大きな支えになります。
64	身体、医療的ケア	家の取っ手や階段を作って頂いた。
65	身体、医療的ケア	好意を感じたこと。バッグにいつも障がい者がつける手伝いステッカーをつけて外出しています。一人の女性が困ったことはありませんか、と声かけがありました。とてもうれしく思いました。
66	身体、医療的ケア	市の障がい者の窓口では親切に対応してもらっています。
67	身体、医療的ケア	市の担当者の対応は早く、嫌な思いはない。

No.	属性	内 容
68	身体、 医療的ケア	支援策を包括的に理解し、調整してくれる部署があると助かる。「このことはあの部署で」と言われ、縦割行政だなと感じることがある。またほとんどの申請において診断書が求められ制度を利用したくても診断書料がネックとなり利用をためらってしまう。
69	身体、 医療的ケア	支援窓口の職員の方々の対応が優しく接してくれるのでほっとしています。
70	身体、 医療的ケア	実家に帰る時の交通費が大変助かりました。
71	身体、 医療的ケア	春日市の制度は充実しているし、よくやっていると思う。今後とも現状を維持拡大して下さい。
72	身体、 医療的ケア	電動シニアカーで JR の踏切を走行中、踏切りが閉まっていたのですが、付近にいた人が遮断棒を持ち上げて助けてくれた。
73	身体、 医療的ケア	福祉用具の購入の相談について詳しく教えて頂きました。
74	身体、 医療的ケア	分からない事があった場合、電話で聞いてもいつも丁寧に対応して頂いて助かります。
75	身体、 医療的ケア	歩行障がいに加え、老人性難聴のため会話が難しくグループホーム等の参加が難しい。
76	身体、 医療的ケア	補助金を増してほしい。
77	身体、 医療的ケア	毎年の更新手続きのデジタル化。
78	身体、 医療的ケア	民生委員の方に何かあれば相談しやすいので助かっています。
79	知的	おやじの会が楽しかった。
80	知的	おやじの会が良かった。
81	知的	くれよんクラブの先生たちに気軽に相談できるのがありがたいので、そういった専門の療育や相談ができる機会を増やしてほしい。
82	知的	クレヨンクラブの先生方に本人も私もすぐお世話になりました。息子の発達を楽しく親身になって促して下さい、感謝しています。母の話も寄り添って聞いて下さり精神的に助けて頂きました、感謝しております。現在通園しているすみれ園の先生方も皆、息子の発達を楽しませながら促して下さい、非常に有難く思っています。
83	知的	ヘルプカード
84	知的	ボランティアさんには団体行事の時など助けられることが多いです。本人のことをよくわかって頂けて嬉しいです。
85	知的	関わりがない。
86	知的	子どもの3才児検診時ドクターの判断で知的障がい、自閉症と診断され、療育を勧められました。ありがとうございました。
87	知的	市からの支援策で良かったと思ったことはあまりないが、育成会等の公報や話し合いで色んな事を教わることが多い。まだまだ分からない事が多いのでこれからも参加していきたい。
88	知的	市役所窓口で相談させていただいたことがあり助かりました（親）。
89	知的	児童発達支援事業所が本人にあっていようで楽しんで行っている。利用回数が足りず、保育園を利用する日が月に数回あるのが残念。保育園は本人が好まない。

No.	属性	内 容
90	知的	社会福祉協議会のポッチャ大会
91	知的	春日市の療育施設に通所させてもらい、発達（ことばや運動）が飛躍的に伸びました。また、心のよりどころでもあり、障がいや特性について理解して下さる方々に大変支えられてきました。
92	知的	小中学生のころ、同じ障がいを持つ子ども達と勉強や遊びを週1回してくれる場所を作って頂けたことはありがたかったです。簡単な勉強しか出来ませんでした。ボランティアの方が一生懸命教えてくださいました。
93	知的	障がい者相談員の方がいること
94	知的	知的障がい者も重度訪問介護をもっと利用できるようにしてほしい。
95	知的	地域で行われている「ご近所のつながり活動」に登録しています。誕生月に自治会の方、中学生がお花を届けてくれます。大変喜んでます。公民館でお茶の教室があり、お稽古に通っています。先生やお稽古の仲間、公民館の方々によくしてもらっています。考えてみると本人にとってこの地域は大変暮らしやすい地域のようなのです。
96	知的	通所受給者証の申請をできるのか、今後通級か支援級に在籍していることが条件になるという話を聞きました。基準が変わるのなら早めに正確な情報を告知してほしい。
97	知的	福岡市の支援策を参考に障がい児にも市として予算を配分してほしい。
98	知的	母の負担軽減。
99	知的	放デイの補助金はとても助かります。
100	知的	放課後等デイサービスを利用するにあたり、支援員さんが手続きを速やかにしてくれました。
101	知的、精神、医療的ケア	クレヨンクラブに通えたこと。通級指導を受けられたこと。
102	知的、重症心身	市役所での面談で直接分からないことを教えてもらったり、困ったことを聞いてもらったりすることが助かるのもっと機会を増やしてほしい。
103	知的、重症心身	就労移行支援及び就労定着支援を利用させていただき、就労先への理解もあり就労することができました。グループホームにも入所でき、本人の理解を深めていただき、ご支援いただきありがとうございます。
104	知的、医療的ケア	昨年より春日市に住み始めました。支援していただく内容も手続きのやり方もとても良いと感じています。市役所の方々がとても親切で助かります。重度の障がい者と暮らすのに春日市はとても環境が良いと感じています。
105	知的、医療的ケア	放課後等デイサービスはとても有難いです。職員の方々もとても親切で本人も自分らしくいられる場所があり、支えになります。
106	精神	医療支援、交通費支援、美術館の補助。
107	精神	家の近くにA型の事業所があってとても助かりました。いい人たちに恵まれてとても感謝しています。もっとA型の事業所がふえたらいいな、と思います。
108	精神	更生訓練費の制度は助かっています。
109	精神	市役所の手続きはとても難しく手間がかかるように感じます。また障がいという言葉も嫌いです。誰しも病気になり、動けなくなることはあるわけで、それも治ることもあるという事が加味されていません。病気になり障がいを持つことは誰でもあるのです。
110	精神	市役所の福祉支援課の方が直接対面以外の方法で柔軟に相談にのってくれたり、適切な支援につなげてくれたりしてよかった。
111	精神	自立支援の金額内で訪問看護が受けられたこと。

No.	属性	内 容
112	精神	就学支援をしていただいて就職できたこと。
113	精神	就労移行支援を利用していますが、交通費、訓練の再生訓練費支給がすごく有難い。
114	精神	障害者手帳の更新時期が近づいたら郵便なり何なりで通知をしてほしい。「2年」なんて長期間、忘れずに手帳を管理できるような人はそもそも手帳などに頼らずに生きていけるわけでしょうから。
115	精神	生活保護にならないように生きてきたけれど社協や弁護士、社労士さんに相談したうえで窓口で相談するのはしんどい。色々な場所に行かないといけないし、いざ申請しようとした時にいい顔されないのはメンタルが碎け散るかと思った。生活保護になるとますますハードルが上がるのだろうなと思うと一人で準備するのはしんどい。半端な知識しかない人を頼ると自分が不利になっていく。全部自分で調べないといけないのがつらい。
116	精神	精神障害者保健福祉手帳及び、通院の自立支援医療受給者証には本当に助けられています。手帳を持ち始めてから外出意欲が増しました。市役所の福祉課窓口の方にも丁寧に対応頂き、ありがたかった。福祉課コーナーの場所や作りも考えられていて助かりました。またこういったアンケート企画を行ってくださることもありがたいです。ネットで回答できたらなお良いだろうなと思いました。
117	精神	通所施設に受け入れられていると感じること。
118	精神	転勤族で異動先全てを調べたが、市の療育、民間療法、小学校に必ずある支援級など恵まれています。春日市の皆さまありがとうございます。「療育機能が停止している」とぼやかれた地元の職員さんや発達外来の病院では療育格差問題を聞いており、今祖父母と同居はしていないが、全ての関係機関の皆さんのお陰で、コロナで2年半親族の支援がない中、小学校入学までたどりつきました。
119	精神	電話の対応がよい。
120	精神	働く意欲はありますが、起立性障害等、朝からスタート、毎日通うということが難しい時があります。A型とB型の差が大きいのでその中間のような制度があればいいなと思います。A型は厳しいしB型では物足りないようです。
121	精神	目先の事しか考えていなくて将来の事までは考えていないと思う。
122	精神、重症心身	就労移行支援で学んで、とても助かりました。早くから行きたかった（知らなかった）。
123	精神、医療的ケア	「つくしぴあ」という施設に行っていましたが、私にとっては本当に無意味な施設だと思いました。障がい者といっても様々な段階の方がいらっしゃると思います。それなのに全員を同一の対応で応じるのは何か理由があるのでしょうか。利用している方も正直言って60歳を超えているような方はともかく、その他の方で働こうという方向に動いているようには感じませんでしたし、働くまではいかなくとも何かしら、社会で役に立つような事を支援していることもありませんでした。家事もできる様子もなかったですし、何の施設なのでしょう、謎です。自分と同じような人がいるという安心感を得たいのでしょうか。私には不愉快でした。
124	精神、医療的ケア	1級の時にはタクシーチケットがあったので外出していたが、3級になってからは歩きで仕事に行くだけ。
125	精神、医療的ケア	グループホームがあること。支援事業所があり働けること。B型支援所の基本給をもう少し上げてくれること。
126	精神、医療的ケア	そもそも地域やボランティア支援が何かが分かりません。

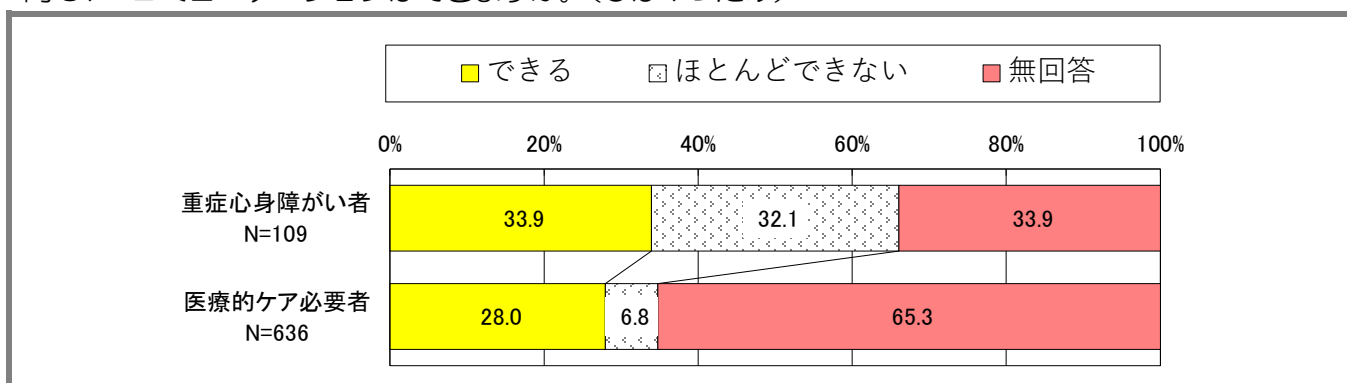
No.	属性	内 容
127	精神、 医療的ケア	もっと精神障がい者が自由に話ができる場所があればよい。大野城駅前にもセンターみたいな箱ものがありますが、利用してみるとあれこれ喋るなど人権等がない。施設内はみんな抑圧されて血が通わない人形みたい。
128	精神、 医療的ケア	医療自立支援は本当にありがたい。私のように後天的な障がい者にはこれだけでも十分です。
129	精神、 医療的ケア	市というより国の福祉に対して希望があります。A型事業所はその理念から、通勤して仕事をする事になっていますが、コロナを経験して、世の中の企業は在宅ワーク、テレワークを勧めています。A型事業所も在宅ワークを選択できてもいいのではないのでしょうか。障がい者にとって病気の症状も軽くなり、仕事もやりやすいです。仕事をできる状況、環境が生きる糧となります。また先の人生を考えられます。
130	精神、 医療的ケア	市役所の手続きをする際にいつも対応が丁寧で迅速にさせていただいて助かっています。
131	精神、 医療的ケア	市役所の福祉支援課の方には親切に相談にのっていただけましたが、対応には限界があるようですね。でも感謝しています。
132	精神、 医療的ケア	支援などが早く受けられて助かっています。医療は特に家計に負担がかかっていたので本当にありがたいです。
133	精神、 医療的ケア	私は軽い障がいで済んでいます。母とおじの障がいが高く、親戚は理解がなく離れてしまい、支援者が少なく私にのしかかってきます。障がい者内、親戚内でも少子高齢化が起きている。
134	精神、 医療的ケア	手帳取得による医療費軽減や交通費の軽減はとても助かっています。
135	精神、 医療的ケア	就業支援センターにお世話になっています。コロナ前は交流会など企画して下さり、楽しく参加させて頂いておりました。障がいをオープンにできる横のつながりが作れる居場所がもっと増えたら嬉しいです。
136	精神、 医療的ケア	就労に向けた支援を行ってくれる機関（私の場合は障がい者就業・生活支援センターちくし）の存在は大きな助けになりました。
137	精神、 医療的ケア	春日市は日本の特別支援学級の運営についてどのようにお考えですか。国連、世界基準からは、日本の特別支援教育＝分離教育＝障がい児への差別と判断されています。差別だと分らず、拡大していく日本。春日市としての見解をぜひ聞いてみたいものです。学校は分けたがる。なぜならその方が教育は取り扱いやすいから。それはその教育は子どものためなのか、先生が楽をするためなのか、未来の子どもたちのことを本気で考える大人が増えることを祈っています。
138	精神、 医療的ケア	障害年金で助かっています。
139	精神、 医療的ケア	色々な支援が充実していることをこのアンケートで知ることができました。
140	精神、 医療的ケア	親はいないので兄弟と一緒に住んでいます。私たちが先に亡くなったらどうしたらいいか、市の障がい者の所へ行き、先々入居する所を丁寧に説明頂き、安心しました。年金で入居費と少しの小遣いになるくらいの値段になればと思いました。
141	精神、 医療的ケア	地域活動支援センターを使わせて頂いていた時、友達や話し相手が出来て良かった。クローバープラザ等、ジムやプールを障がい者は無料で健康管理ができて良かった。
142	精神、 医療的ケア	通所しているA型作業所がとてもよい所で助かっている。

No.	属性	内 容
143	精神、 医療的ケア	電車、タクシーの割引
144	医療的ケア	コロナ禍でも的確な対応をしてくれた事。特にワクチン接種など。
145	医療的ケア	子どもが知的な遅れのない発達障がいのため、情緒支援級を希望したが、当時居住していた福岡市の校区にはなかったため、春日市に転居しました。現在は小学校でとても手厚い支援を受けることができ、大変ありがたく思っています。
146	医療的ケア	子ども発達支援で大変助かった。
147	医療的ケア	受けられる支援は全て受けたい気持ちがあるので全て案内してほしい。事業所の利用はとても助かっているが、人数に制限があったり、お弁当の持参等をなくして、給食等にしてほしい（食育）。
148	医療的ケア	春日市発達支援課の職員さんは、娘の相談に付き合っ娘の心の中まで理解をしていただいている、すごく助かっています。ただ相談員が少なく相談の日程に時間がかかるので職員さんを増員、もしくは土日祝も相談できる体制を取ってもらうと助かります。
149	不明	いきいきプラザに別の目的で月1で通っていた時に、付き添わせていた息子の行動を見て、困っている私を見て、声をかけて頂いたのがきっかけです。通園前の間、めだかくらぶに通えたのはありがたかった。そこから療育への手続きがスムーズだったので。園に入る前は誰にも相談しにくい。息子のようにグレーゾーンの子は育てにくいのか、ただ子どもはそんなものなのか、最初の子なので分からなかった。2人目が生まれて育ててみてやはり息子はかなり大変だったのだと納得できています。いきいきプラザの先生方に感謝しています。
150	不明	クレヨンクラブに通えたこと
151	不明	クレヨンクラブ以外の支援策を知りません。
152	不明	ハート相談からくれよんクラブへ通所し、現在は小学校の支援学級でお世話になっています。どの場所も子どものことや親のフォローまで手厚くして頂いており、感謝ばかりです。親身になって話を聞いて頂いたことで心が救われたことも多くありました。おかげ様で小学校へ入学し、息子は支援級に居場所があることで安心して毎日登校でき、楽しそうに過ごせています。
153	不明	ひとり親なのでデイサービスの利用を無料で支援してもらえる事。
154	不明	一人親なのでデイサービスの利用が無料で支援してもらえて助かっています。
155	不明	学校で問題があったときに相談支援事業所の相談員さんが話し合いの場を設けてくれた時にとっても助かりました。学校側、家庭側、放デイ側との情報共有ができてよかったです。
156	不明	昨年より児童相談支援を利用していますが、それまでそんな方がいることも知らず、発達支援事業所を利用することも知りませんでした。もっと早く教えてもらえればよかったのと思います。そんな方も多いと思うのでもう少し検診時などに教えてもらえるといいなと思います。
157	不明	市に相談に行った時に支援事業所の一覧を頂いたのですが、情報が古く、更新されていないもので、無くなっている事業所や移転している事業所などがあり、大変困りました。以後市からの情報は古いかもしれないので、自分で直接電話をして確認を取るようになっています。
158	不明	支援につながるまでは大変だが、通い始めると担当者が親身になって子どもの成長に必要なと思われるアドバイスをしてくれて助かった（くれよんクラブ、通級、放デイ）。

No.	属性	内 容
159	不明	受給者証の利用日数が20日以上支給してもらえるのはとてもありがたい。道路に右折、左折で赤、青の色付けされているのはとても分かりやすくして良い。
160	不明	受給者証を頂けたおかげで子どもに合った支援や同じような子たちとの交流を持てたことが本当にありがたく思っています。放デイを探し始める時期が役所の方の案内の通りだと遅すぎて入れないところでした。幸い療育の先生に早めに教えてもらえて入れました。
161	不明	少ない負担で放課後等デイサービスを利用できたこと。
162	不明	診断をもらっていないく、受給者証のみの児童をひとくくりに障がい児をまとめるのはどうなのか。親にとって申請するのも心折れることもある。障がい児ではなく療育児に名称を変えた方が気軽に申請しやすいのではないか。
163	不明	声かけ
164	不明	地域の子育てサロンで困りごとを聞いて頂き、発達支援のグループ、こめだかくらぶ、めだかくらぶへ参加できたこと。
165	不明	福祉施設の職員の方が沢山相談にのって下さいました。
166	不明	保育園から子どもの発達について市に相談してみてもは？と言われ、スムーズに市の相談窓口につながれた事、窓口で子どもの様子や親への声かけのアドバイス等を頂けたことはとても助かりました。また障がい児向けのプール教室もとても助かっています。
167	不明	放課後等デイサービスの先生と相談支援事業所の先生が親切です。
168	不明	放課後等デイサービスを利用する際、補助金があり助かった。
169	不明	放課後等デイサービスを利用できてうれしい。居場所ができた。
170	不明	未就学児から就学児に変わると援助がぐっと減るように思います。小学生になっても専門家のアドバイスを直接聞く機会を頂きたい。
171	不明	利用している放課後等デイサービスのスタッフが良くしてくれる。

X 重症心身障がいの人、医療的ケアが必要な人への質問について

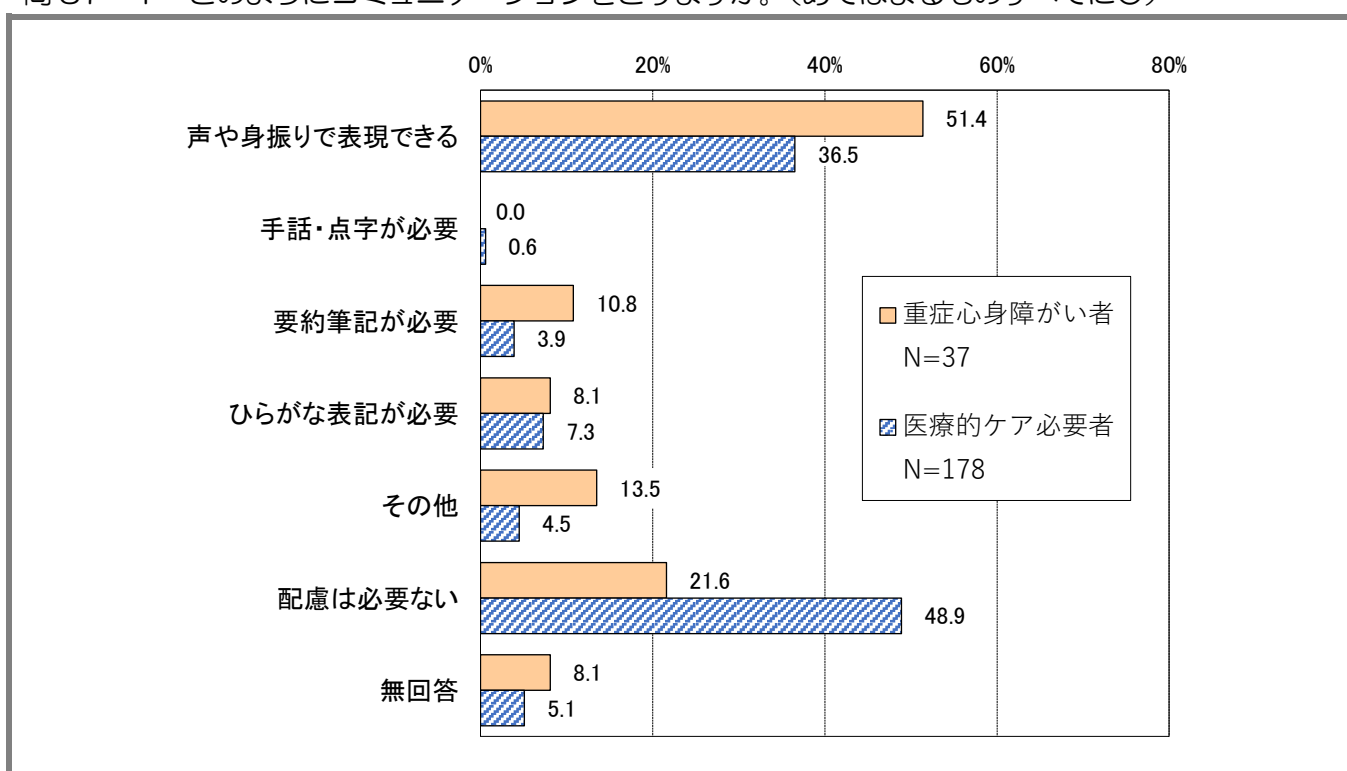
問37 コミュニケーションはできますか。(〇は1つだけ)



- コミュニケーションが「ほとんどできない」と回答した人の割合は、重症心身障がい者で32.1%、医療的ケア必要者で6.8%となっている。

【問37で「1. できる」に〇をつけた人のみお答えください】

問37-1 どのようにコミュニケーションをとりますか。(あてはまるものすべてに〇)

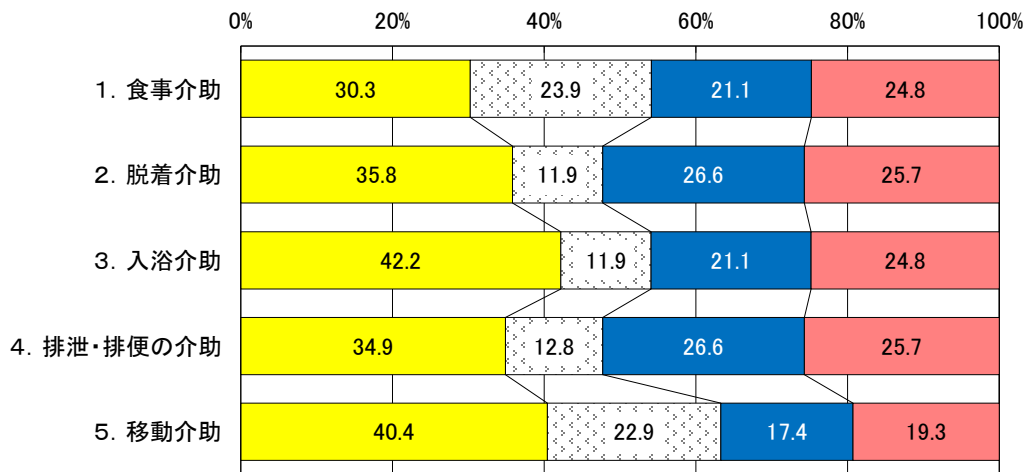


- 問37でコミュニケーションが「できる」と回答した人に、コミュニケーションの取り方を尋ねたところ、重症心身障がい者の21.6%、医療的ケア必要者の48.9%は、「配慮は必要ない」と回答しており、「声や身振りで表現できる」と回答した人も重症心身障がい者で51.4%、医療的ケア必要者で36.5%となっている。

問38 日常生活においてどれくらい介助が必要ですか。(あてはまるもの○)

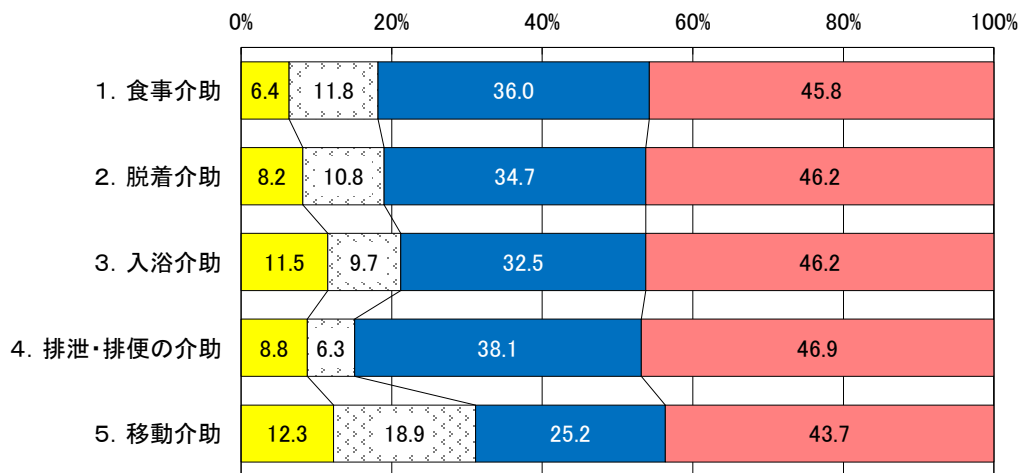
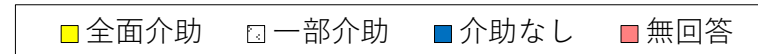
【重症心身障がい者】

N=109



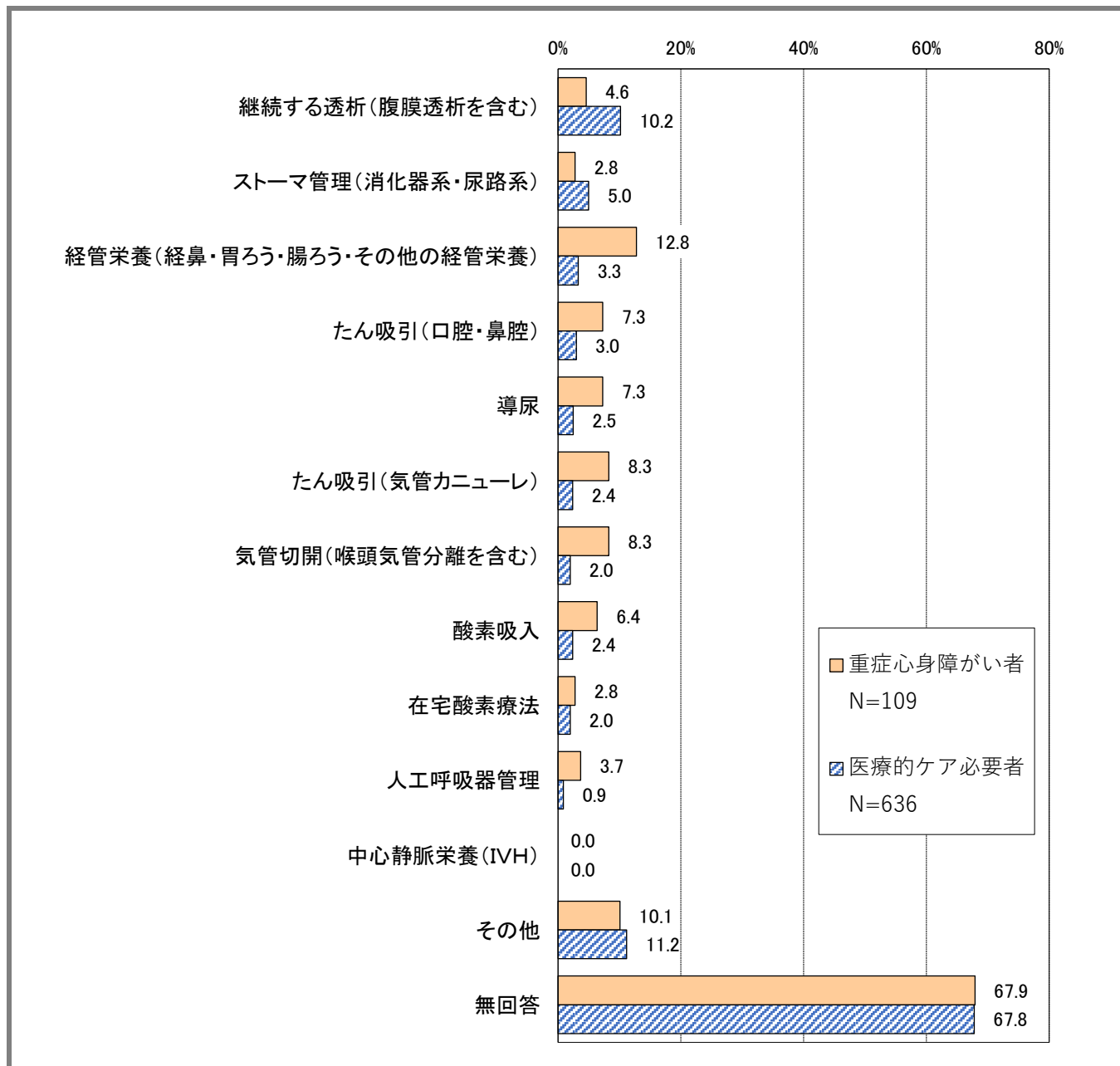
【医療的ケア必要者】

N=636



- 日常生活における介助の必要度合いについては上のおおりで、重症心身障がい者では、入浴介助を筆頭に「全面介助」の必要な人が多くなっている。

問39 あなたが現在受けている医療的ケアを教えてください。(あてはまるものすべてに○)



- 現在受けている医療的ケアとして回答割合が高かったのは、重症心身障がい者では「経管栄養(経鼻・胃ろう・腸ろう・その他の経管栄養)」(12.8%)、医療的ケア必要者では「継続する透析(腹膜透析を含む)」(10.2%)となっている。

春日市障がい福祉に関するアンケート調査結果報告書

令和6年2月

発行 福岡県春日市
企画・編集 春日市地域共生部福祉支援課

〒816-8501 福岡県春日市原町3丁目1番地5
TEL (092) 584-1111
FAX (092) 584-1154
